ドットインパクトプリンター

fit3250-H

プリンター装置

オンラインマニュアル

富士通アイソテック株式会社

はじめに

このたびは、fit3250-H プリンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書は、プリンターの取り扱い方法や正しい操作方法などについて説明したものです。
ご使用いただく前に、必ず最後までお読みください。

■重要なお知らせ

・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
・ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
・ 本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
・ 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■規制、対策などについて

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

●電源の瞬時電圧低下対策について
落雷等による電源の瞬時電圧低下対策に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●高調波ガイドライン適合について
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正-第 3-2 部：限度値-高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標値レベルに適合して設計・製造した製品です。

●輸出管理規制について
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について
本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

●保守用部品について
本プリンターの保守用部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

© 2017-2026 富士通アイソテック株式会社

プリンターを安全にお使いいただくために

●安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。

・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

●シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

⚠ 警告　これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います

⚠ 注意　これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意　これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例 2】分解禁止

⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

●操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

●自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

⚠警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭
万一異常が発生した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

ケースカバーの取り外し
ケースカバーを取り外さないでください。内部に高電圧の部分があり、触れると感電の原因になります。

アース線の接続
感電防止のために、アース付きのコンセントに接続してください。接続しないと感電するおそれがあります。
・コンセントのＮ線がアースに接続されていることを確認の上接続してください。
・アース線は専門業者の施工したコンセントのアース端子に接続してください。

プリンター内部への異物の混入
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

電源コードの扱い
電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。
・ものを載せない
・引っ張らない
・押しつけない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・束ねない

プリンターの上に物を置く
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

電源プラグの抜き差し
・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
・電源プラグは根本までしっかり差し込んでください。
・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布なので拭き取ってから、差し込んでください。
・グラグラしないコンセントを使ってください。

落下などによる衝撃
落下させたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

使用する電源
使用できる電源は交流１００Ｖです。それ以外では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

⚠警告

修理・改造・分解
本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。
特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。

日本国外での使用
本プリンターは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、本プリンターは適合していません。

タコ足配線
同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

温度差のある場所への移動
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

通気孔
通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。
内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

揮発性液体の近くでの使用
マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、プリンターの近くで使わないでください。プリンターの中に入って引火すると火災の原因になります。

オプションの接続
オプション接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をプリンターから外してください。
また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記されたオプションを使用してください。それ以外のオプションを使用すると、接続仕様の違いによる故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

ポリ袋の取り扱い
ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

⚠注意

プリンター内部品への接触
使用直後のプリンターの印字機構部は、高温になっています。冷めるまで待ってください。触れるとやけどの原因になります。

アルミ電解コンデンサーについて
このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、月２００時間使用で約５年です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では５年より寿命は短くなります。

金属などの端面への接触
移動するなどで鉄板やプラスチックなどの端面に触れる必要がある場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。

不安定な場所での使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。印刷中のプリンターは強い振動を発生するため、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
また、トップカバーをあけて消耗品の交換などを行っている時に、トップカバーが閉じてけがをするおそれがあります。

目的以外での使用
踏み台など目的以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

ケーブルの接続
ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがをするおそれがあります。

接続端子への接触
ネットワークケーブルのコネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。

注意

動作中のカバーの開閉
プリンターのカバーは動作中に開けないでください。けがの原因になります。

電波障害について
ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

屋外での使用
屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

プリンターの廃棄
プリンターを廃棄するときには、廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

警告マークについて

この取扱説明書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して、一目で分かるように配慮しています。
使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。

高温注意

高温による傷害の危険性について記述していることを示します。

発火注意

発火する危険性について記述していることを示します。

接触禁止

触れる事によって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。

分解禁止

機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。

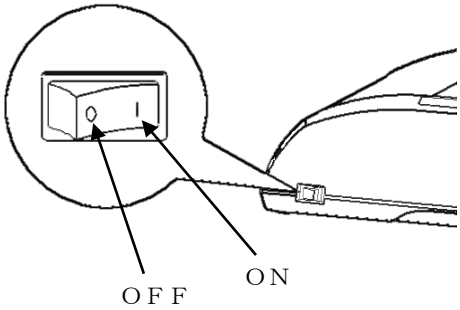
一般的禁止

一般的な禁止事項を記述していることを示します。

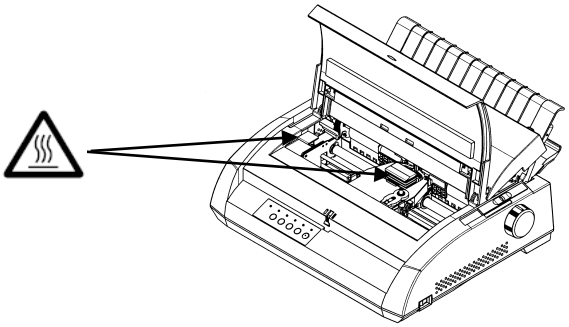
装置上のマークについて

本製品には、注意ラベル、警告ラベルが貼ってあります。
内容をご覧になり、安全にお使いください。
注意ラベル、警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

●電源スイッチ
　プリンターの電源を ON(印刷可能状態)／OFF(印刷不可能状態)にします。



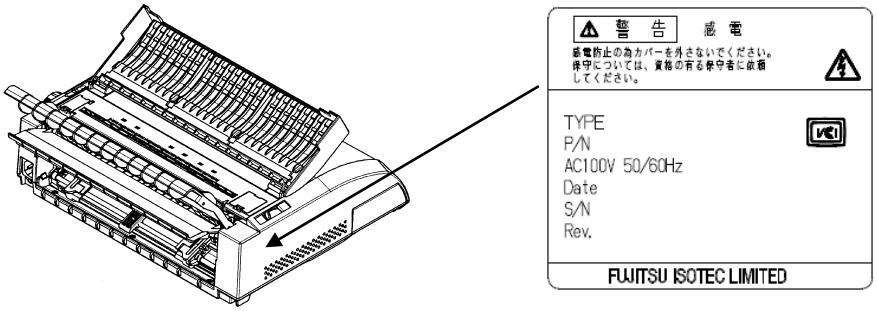
●高温注意：印字ヘッド／駆動モーター
　使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンター内部が高温になります。
　温度が下がるまで印字ヘッドやプリンター内部に触れないでください。
　けがややけどの原因となることがあります。



●警告表示

安全のため、カバーを外さないでください。

けがややけど、感電の原因となることがあります。



■取扱説明書の表記方法

●商標・略称について

・Microsoft® Windows®11 Operating System (Windows11)

・Microsoft® Windows®10 Operating System (Windows10)

・Microsoft® Windows Server®2025 Operating System (Windows Server2025)

・Microsoft® Windows Server®2022 Operating System (Windows Server2022)

・Microsoft® Windows Server®2019 Operating System (Windows Server2019)

・Microsoft® Windows Server®2016 Operating System (Windows Server2016)

・その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

● プリンターの操作方法などについてのお問い合わせ

操作および機能についてのご不明な点や、修理につきましては、当社相談窓口に問い合わせお願いします。

●受付窓口　　富士通アイソテック株式会社
●E-mail　　fit-hansui@cs.jp.fujitsu.com

● 故障や保守サービスについてのお問い合わせ

トラブルが発生した場合は、まず、取扱説明書(本書)をご確認ください。
故障と判断される場合は販売会社、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

目　次

プリンターを安全にお使いいただくために

第１章　お使いになる前に

製品の内容 1-2
使用上のご注意 1-3
　設置場所について 1-3
　電源について 1-4
　使用方法について 1-5
各部の名称とはたらき 1-6
　各部の名称 1-6
プリンターを設置する 1-9
　設置手順 1-9
　輸送用固定材の取外し 1-10
　リアカバーの取り付け・取り外し 1-11
　パソコンとの接続 1-12
　電源コードの接続 1-13
電源の投入と切断 1-14
リボンカセットの取り付け 1-15
オプションの取り付け 1-18
　オートシートフィーダーの取り付け 1-19
　オートシートフィーダーの取り外し 1-22
　LANボードを取り付ける 1-23
　LANボード PR-LN1-H を取り付ける 1-24

第２章　ソフトウェアの設定

ソフトウエアの概要 2-2
表記について 2-2
ソフトウエアの動作環境 2-2
ソフトウエアのインストール 2-3
プリンタードライバーの設定 2-5
拡張ドライバーの設定 2-6
通常ドライバーの設定 2-16
印刷設定可能範囲について 2-29
用紙サイズ 2-29
印刷設定可能範囲 2-31
用紙の印刷方向 2-34
ユーティリティーの設定 2-35
ユーティリティーを使用するために 2-35
ステータスモニター 2-36
リモートパネル 2-39

第３章　プリンターの機能とその使い方

操作パネルの機能 3-2
操作パネルランプ 3-3
操作パネルスイッチ 3-4
動作環境の設定 3-6
メニュー設定の変更方法 3-6
メニュー設定項目 3-10
メニュー設定初期化方法 3-16

第４章　用紙のセット

用紙をセットする....4-2
連続用紙をセットする....4-2
連続用紙をカット位置に送る....4-9
単票用紙をセットする....4-10
用紙厚を調整する....4-12
印字位置を微調整する....4-14
印字開始位置を微調整する....4-14

第５章　用紙について

使用できる用紙について....5-2
手差しで使用する単票用紙....5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙....5-8
連続帳票用紙....5-15
とじ穴の開けかた....5-30
プレプリント用紙を使用するとき....5-31
取り扱い上のご注意....5-33
再生紙の利用について....5-36
使用できない用紙....5-38
帳票設計時のご注意....5-41

第６章　保守と点検

リボンカセットの交換 6-2
リボンカセットの種類 6-2
リボンカセットの交換方法 6-3
用紙づまりのとき 6-5
連続用紙がつまったとき 6-5
単票用紙がつまったとき 6-9
プリンターがうまく動かないとき 6-11
用紙なしランプが点滅している 6-11
こんなときには 6-12
保守機能 6-15
調整値変更メニュー 6-16
調整値変更メニュー設定項目 6-20
テスト印字 6-23
水平印字補正 6-24
HEXダンプ（16進ダンプ）印字をする 6-26
清掃のしかた 6-27
プリンターを輸送するとき 6-28
アフターサービス 6-29

付録

プリンターの概略仕様 A-2
印字品質 A-3
外観図 A-4
標準外観図 A-4
オートシートフィーダー取付け時の外観図 A-5
インターフェイス仕様 A-6
パラレルインターフェイス A-6
USBインターフェイス A-9
ネットワーク接続 A-10
自動検出機能 A-11
専用コマンド A-13
制限事項 A-15
消耗品の廃棄について A-17
有償交換部品のご案内 A-18

第 1 章

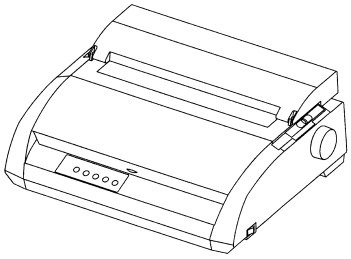
お使いになる前に

この章では、プリンターの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置方法、リボンカセットの取り付け、電源の投入／切断について説明します。

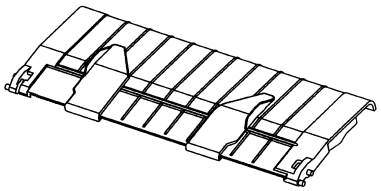
製品の内容 1-2
使用上のご注意 1-3
設置場所について 1-3
電源について 1-4
使用方法について 1-5
各部の名称とはたらき 1-6
各部の名称 1-6
プリンターを設置する 1-9
設置手順 1-9
輸送用固定材の取外し 1-10
リアカバーの取り付け・取り外し 1-11
パソコンとの接続 1-12
電源コードの接続 1-13
電源の投入と切断 1-14
リボンカセットの取り付け 1-15
オプションの取り付け 1-18
オートシートフィーダーの取り付け 1-19
オートシートフィーダーの取り外し 1-22
LANボードを取り付ける 1-23
LANボード PR-LN1-H を取り付ける 1-24

製品の内容

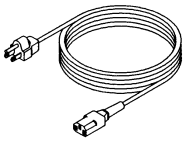
お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。
なお、プリンターが入っていた箱や輸送用固定材は、プリンターの保管・輸送の際に必要になりますので、捨てずに保管することをお勧めします。



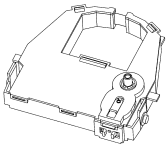
プリンター本体



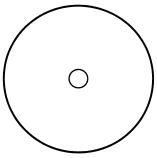
リアカバー



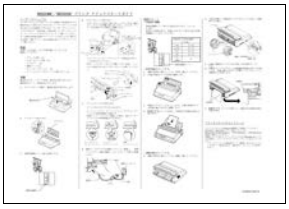
電源コード
（１本）



リボンカセット
（黒、１個）



ＣＤ－ＲＯＭ（１枚）
（プリンタードライバー、
ユーティリティ）



クイックスタートガイド

保証書

お願い

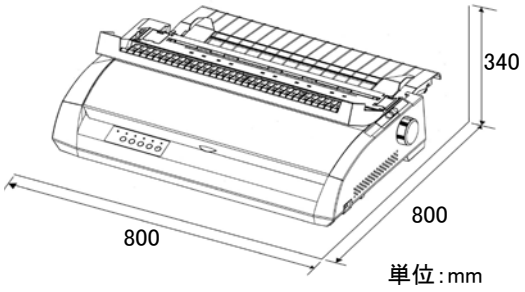
- 本プリンターにプリンターケーブルおよび USB ケーブルは含まれていません。プリンターケーブル(FMV-CBL716)、または USB ケーブル(XL-CBLU2G)を、別途用意してください。
- 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- 保証書は大切に保管してください。

使用上のご注意

このプリンターを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。
不明な点については、お買い上げの販売店にご相談ください。

設置場所について

⚠警告

	湿気やほこりの多い場所での使用 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
 一般的禁止	・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。 温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。 周囲温度:5℃～35℃ 周囲湿度:35%～80%(結露しないこと) ・水平で安定した場所に設置してください。 ・通風口をふさがないでください。 ・振動のある場所には設置しないでください。 ・落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。 ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。 ・磁石はもちろん、テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。 ・紙など燃えやすいものの上に設置しないでください。
 お願い	プリンターを設置するときに必要なスペースは、右図のとおりです。十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある水平な設置場所を確保してください。 

電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を利用してください。

・電源電圧:AC100V±10%

・電源周波数:50/60Hz,±1Hz

警告

万一、プリンターから発熱・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断した上で、お買い上げの販売店へご連絡ください。
感電や発火・発煙のおそれがあります。

使用方法について

⚠警告

一般的禁止

・プリンターの上に物を置かないでください。
・長時間プリンターを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
・万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
　入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
　印字ヘッドやプラテンが傷みます。

⚠注意

高温注意

印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
　火傷・怪我のおそれがあります。

⚠注意

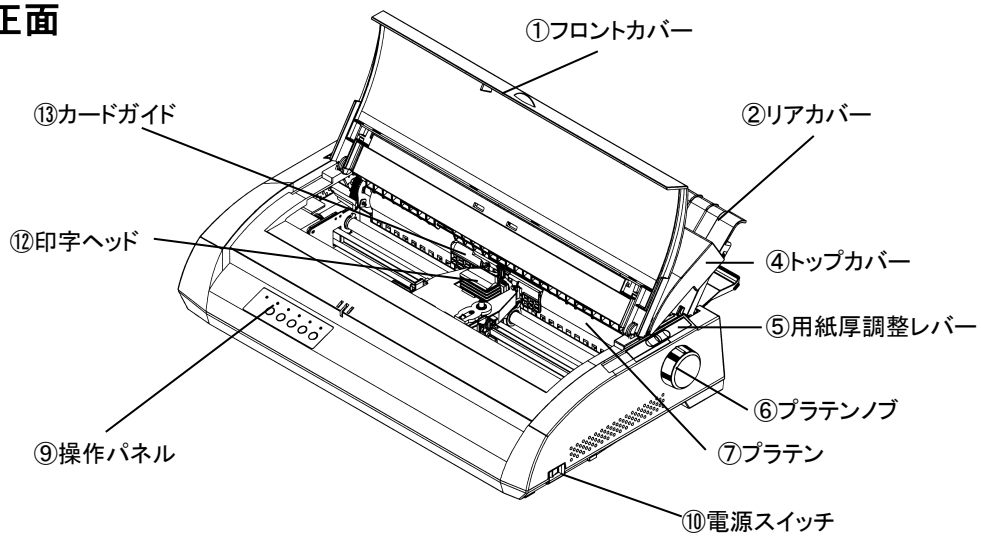
接触禁止

・プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。
　火傷・怪我のおそれがあります。

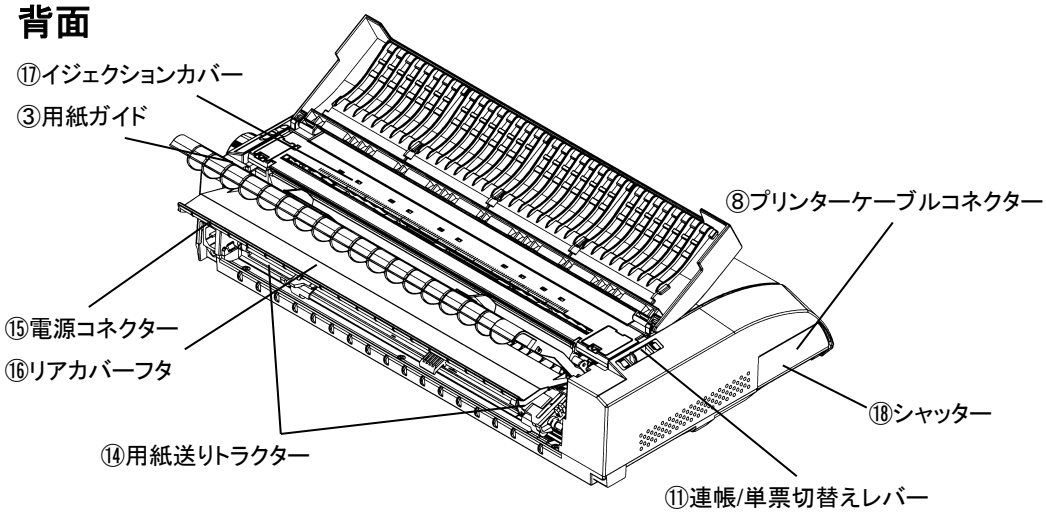
各部の名称とはたらき

各部の名称

正面



背面



各部のはたらき

各部の名称	はたらき
①フロントカバー	印字ヘッドをホコリやチリから守ります。 印字動作中にフロントカバーを開けると、印字動作が一時停止します。
②リアカバー	単票用紙の送りを支えます。
③用紙ガイド	印字する用紙の幅に合わせてセットします。
④トップカバー	動作音を低減するためのカバーです。
⑤用紙厚調整レバー	使用する用紙の厚さおよび枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を変えます。
⑥プラテンノブ	プラテンをまわすノブです。
⑦プラテン	用紙を支えたり、送ったりします。
⑧プリンターケーブルコネクター	シャッター(⑱)を開け、プリンターとパソコンをつなぐケーブルを、接続します。
⑨操作パネル	プリンターの状態を示すランプ、プリンターを操作するための各種スイッチがあります。
⑩電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑪連帳／単票切替えレバー	連続帳票用紙か単票用紙かを選択します。
⑫印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑬カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上のリブは、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑭用紙送りトラクター	連続帳票用紙をプリンター内部へ送ります。
⑮電源コネクター	電源コードを接続します。
⑯リアカバーフタ	印字音および動作音を抑えます。 連続帳票用紙を使うときは、下に閉じて使います。
⑰イジェクションカバー	用紙の送りを支え、用紙の排出をガイドします。 刻印されている目盛りは、印字できる範囲を表しています。
⑱シャッター	インターフェイスコネクター部を保護するカバーです。

⚠注意

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、フロントカバーを開けないでください。
フロントカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下する事が有ります。
・プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
機器の破壊、怪我のおそれがあります。

⚠注意

印字直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
火傷、怪我のおそれがあります。

プリンターを設置する

プリンターが届いたら、箱から出して輸送用梱包材を取り外し、リアカバーを取り付けてパソコンや電源と接続します。

設置手順

プリンターは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

2 カバー、部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

3 フロントカバーを開けて輸送用固定材を外す

4 リアカバーを取り付ける

5 電源コードを接続する

6 リボンカセットを取り付ける

7 必要に応じて設定を変更する

8 パソコンと接続する

9 プリンタードライバーをインストールする

輸送用固定材の取外し

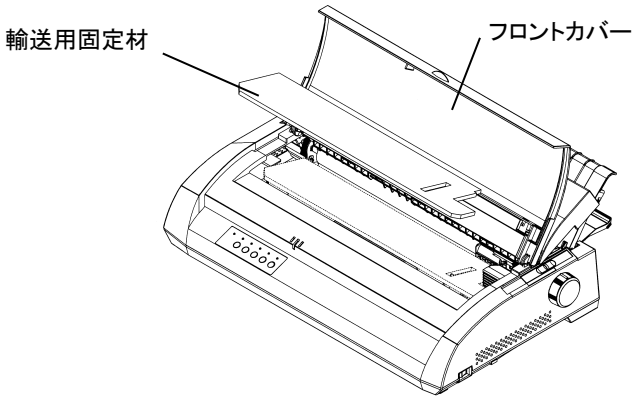
輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンターを使用する前に、必ず取り外してください。

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンターを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

警告

ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

フロントカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を上に抜き取ります。



警告

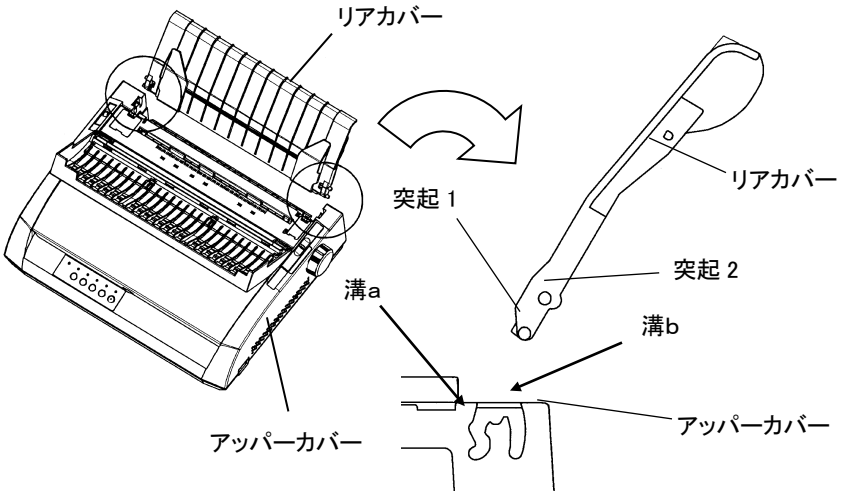
プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、オプションを取り付けるなど必要な場合を除いて取り外さないでください。
　内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

リアカバーの取り付け・取り外し

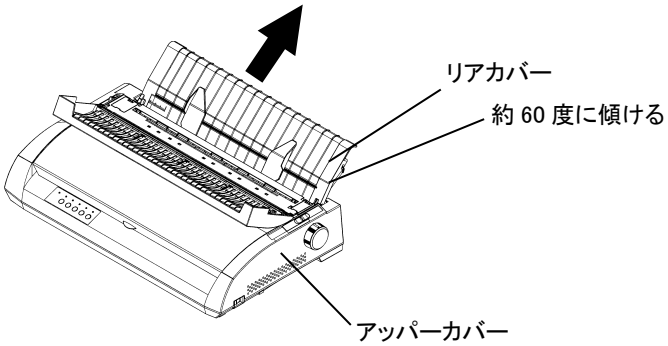
リアカバーの取り付け、取り外しは、次の手順で行ないます。

1 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約 60 度に傾けた状態で、リアカバーの突起1をアッパーカバーの溝a に入れます。次に、リアカバーの突起 2 がアッパーカバーの溝 b に完全に落ちるまで、軽く押し込みます。



リアカバーを取り外す場合は、リアカバーを手前側におこし、矢印の方向にリアカバーを外します。



パソコンとの接続

このプリンターは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェイスと、USB2.0 インターフェイスを備えています。プリンターケーブルは、添付されていませんので、別途用意してください。

⚠警告

パラレルケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

注意

一般的禁止

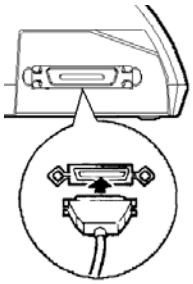
プリンターケーブルの接続は間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンター本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

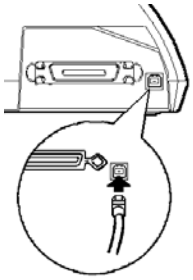
1　プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンター左側のシャッターを開いて、プリンターケーブルの一方を、コネクターに差し込みます。



◆パラレルインターフェイス



◆USBインターフェイス

お願い

・USB インターフェイスで接続した場合、パラレルインターフェイスとの同時接続はできません。
・USB インターフェイスは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。

電源コードの接続

警告

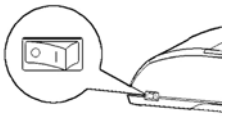
発火注意

・表示された電源電圧以外のコンセントは使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電のおそれがあります。
・必ずアース付きのコンセントを使用してください。
アース接続を行なわないで、万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。なお、アース接続出来ない場合は、販売会社または保守会社にご相談ください。
上位装置または他の機器のサービスコンセントは使用しないでください。装置の故障や火災の原因となります。
・電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。
・電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続は、次の手順で行ないます。

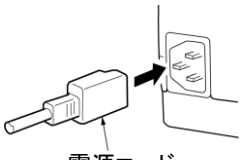
1　プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

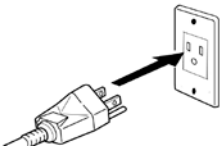


2　プリンターに電源コードを差し込む

プリンター背面の電源コネクターに電源コードを接続します。



3　電源コードのプラグをコンセントに接続する



電源の投入と切断

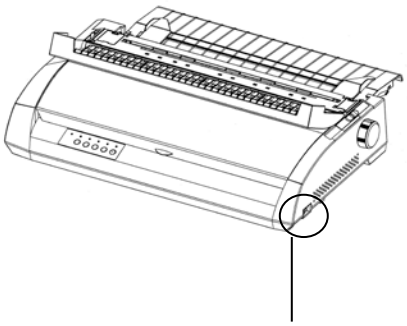
プリンターの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

⚠注意

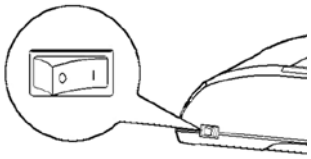
購入後初めてプリンターに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
・輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
・電源コンセントの電源電圧が 100V、15A 周波数が 50 または 60Hz であること

・電源の切断は、緊急の場合を除いて必ず電源スイッチで行ってください。
電源プラグを電源コンセントから抜いて電源を切ると、プリンター内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
・電源を切った後、再び電源を入れる場合は4秒以上待ってください。
間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

プリンター前面右側の電源スイッチにより、電源のON、OFFを行ないます。

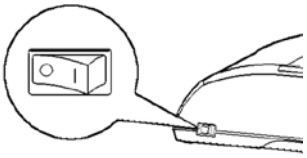


電源ON



「｜」側に倒れている状態

電源OFF



「○」側に倒れている状態

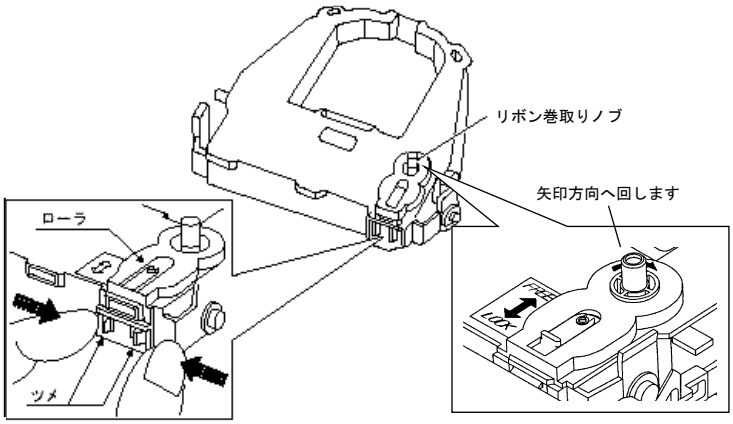
リボンカセットの取り付け

リボンカセットの取付けは、次の手順で行います。

1　リボンカセットのローラー離反ツメロックを外す

リボンカセット側面にロックしてある2個のグレーのツメを内側に押し外し、ローラーを「FREE」側にします。

次にリボン巻取りノブを時計回りに回し、リボンのたるみを取ります。

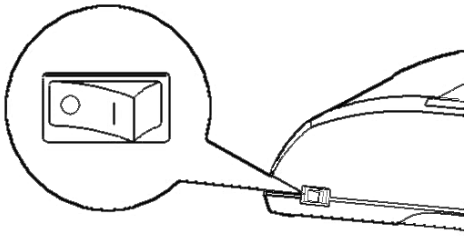


お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

2　プリンターの電源を切る

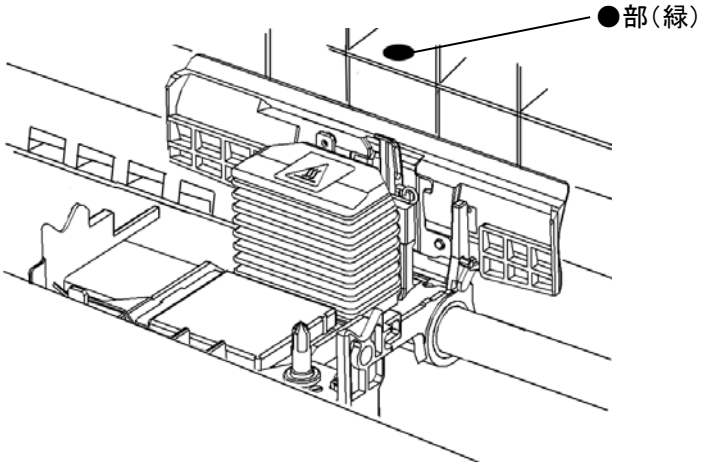
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



3 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

4 フロントカバーを開ける

5 印字ヘッドをプリンターのイジェクションカバーの●部（緑）に移動する。

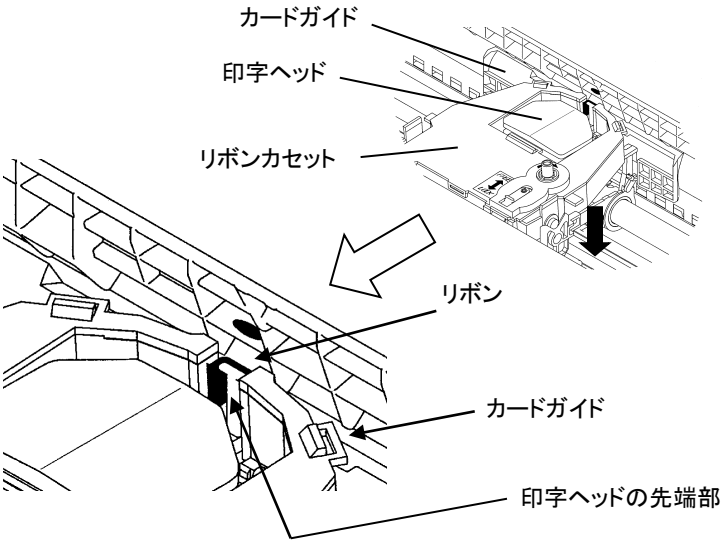


注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまでさわらないでください。
火傷のおそれがあります。

6 リボンカセットを静かに押し込む

印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットを静かに押し込みます。
（リボン巻取りノブが上になるようにセットしてください。）



7 リボン巻取りノブを時計回りに回して、リボンのたるみを取る

8 リボンカセットの取り付け完了後、使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

オプションの取り付け

本プリンターには、次のオプションがあります。

オートシートフィーダー

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンターの後部に取り付けて使用します。

ＬＡＮボード

本プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合に接続します。

警告

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。

オートシートフィーダーの取り付け

オートシートフィーダーは、プリンターの後部に取り付けて使用します。
取り付けを行う前に、オートシートフィーダーの付属品が揃っていることを確認してください。
オートシートフィーダーFIT3250CSF には、シートスタッカー（2 個）、ホッパーワイヤー（2 個）、センターサポート（1 個）が添付されています。

警告

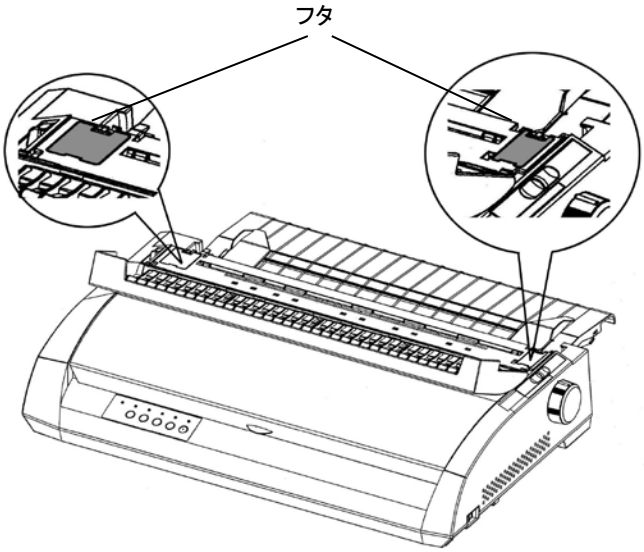
オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

1　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

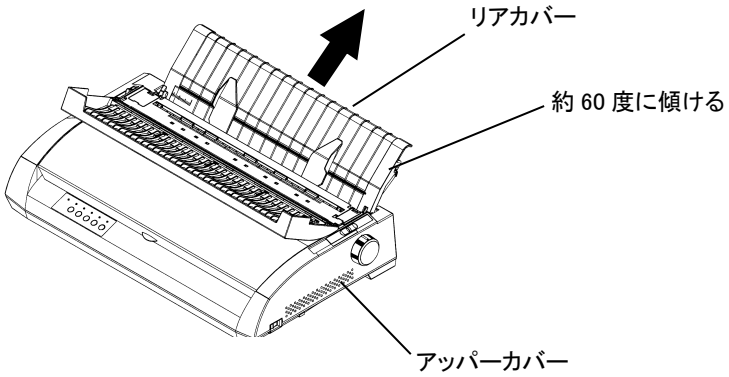
2　トップカバーを開き、接続部のフタを外す

トップカバーを開き、プリンターの左右にあるオートシートフィーダー接続部のフタを取り外します。



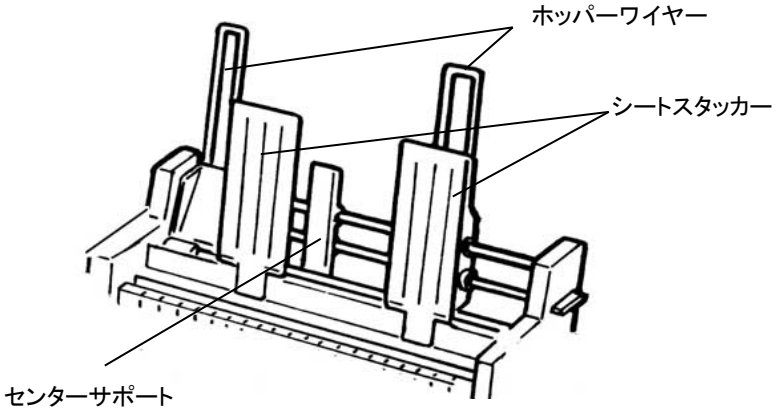
3　リアカバーを外す

リアカバーを手前に起こし、矢印の方向に外します。



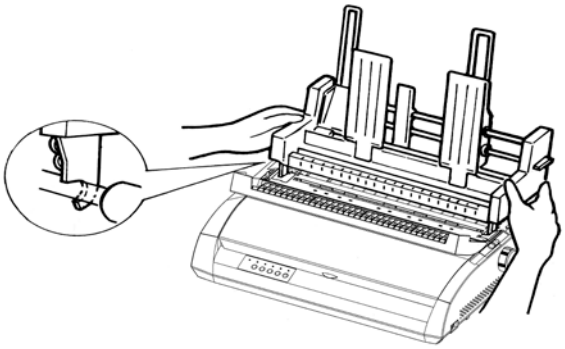
4　オートシートフィーダーに付属品を取り付ける

センターサポート、ホッパーワイヤー、シートスタッカーを取り付けます。

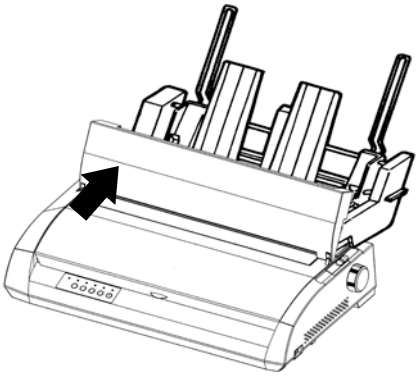


5　オートシートフィーダーを取り付ける

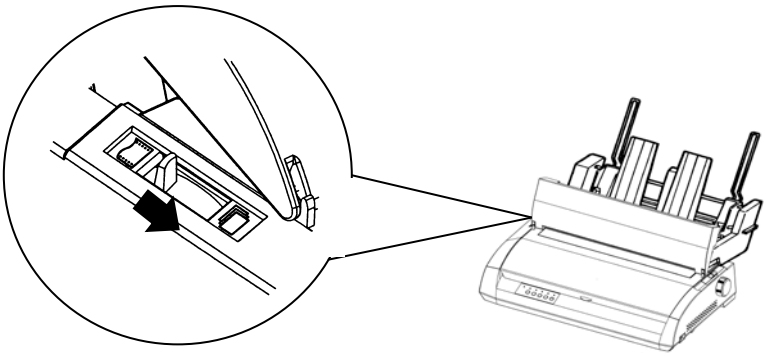
オートシートフィーダーの両側にある U 溝を、プリンターの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



6　トップカバーを閉じる



7　連帳／単票切り替えレバーを「単票」側にセットする



お願い	トップカバーは、閉じた状態でご使用ください。

オートシートフィーダーの取り外し

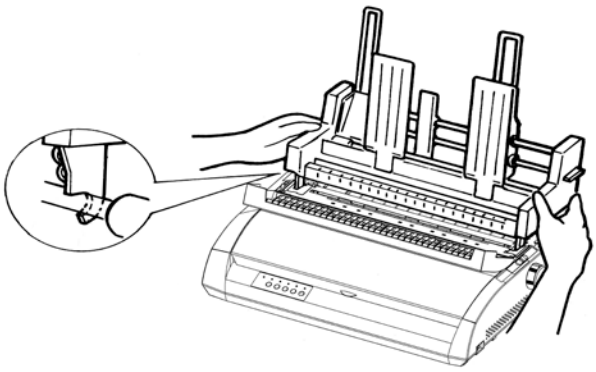
オートシートフィーダーの取り外しは、取付けの逆手順で行います。

1　プリンターの電源を切る

2　オートシートフィーダーを取り外す

⚠警告

オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。



ＬＡＮボードを取り付ける

LANボードは、次に示す手順をご確認の上、取り付け作業を行ってください。

また、ネットワークの設定については、LANボードの取扱説明書を参照してください。

警告

内蔵LANボードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ネットワークケーブルを外したあとに行ってください。感電の原因となります。

メモ

インターフェイスは排他制御となります。パラレル接続とネットワーク接続で、同時に印字することはできません。
ご使用になるインターフェイスはプリンターのメニュー設定（「第3章プリンターの機能とその使い方」参照）で選択してください。

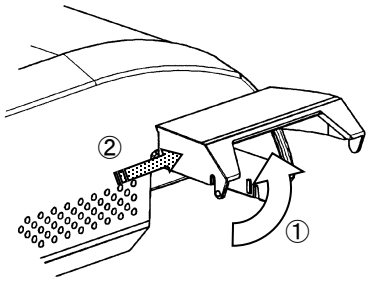
ＬＡＮボード PR-LN1-H を取り付ける

1 プリンターの電源を切る

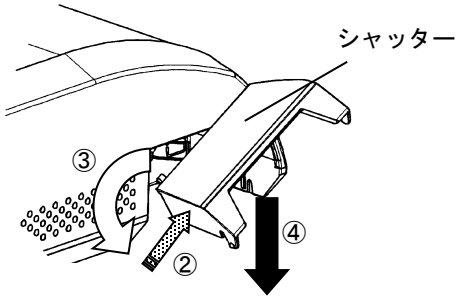
プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 プリンター左側のシャッターを外す

①の方向にシャッターをあけ、②の方向へ軽く押します。



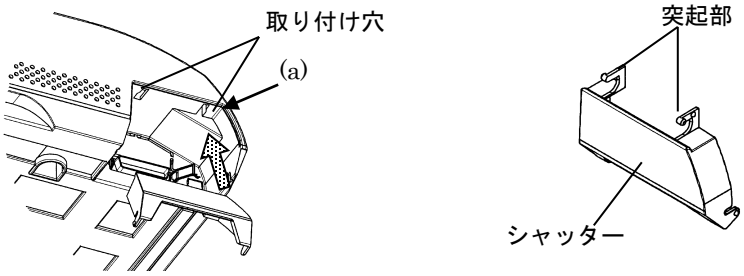
②の状態を保ちながら、③の方向にシャッターを回し、④のシャッターを外します。



シャッターの後側を押す際に、強く押し過ぎないように注意してください。
シャッターの突起部分が破損する場合があります。

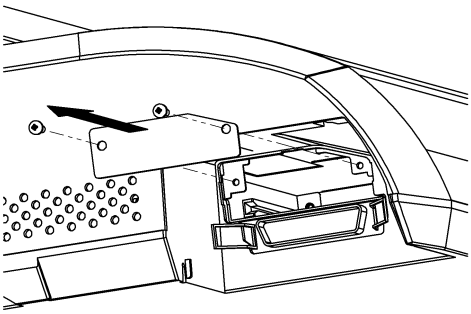
取り外したシャッターは大切に保管してください。

シャッターを取り付ける場合は、シャッターを傾けて片側の突起部から装置の取り付け穴(a)側に入れ、取り外し時の逆の順序で取り付けてください。



3　金属のプレートを取り外す

ネジ(2本)を外し、パラレルポートの上側にある金属のプレートを取り外します。

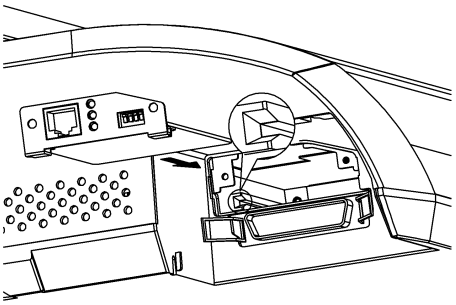


お願い

取り外したプレートは大切に保管してください。

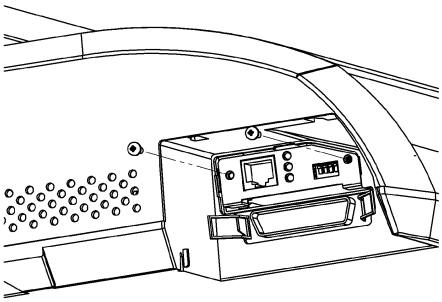
4　ＬＡＮボードを差し込む

左右のガイドレールに合わせて、LANボードを差し込みます。
LANボードは、ゆっくりと 奥まで確実に押し込んでください。



5　ＬＡＮボードを固定する

プレートを固定していたネジ（2本）を使用して、LANボードを固定します。



6　ケーブルを接続する

LANボードの取り付け後、ネットワークケーブル、プリンターの電源プラグの順に接続します。

LANボードの設定は、LANボード付属の取扱説明書を参照してください。

お願い

「第3章 プリンターの機能とその使い方」を参照し、メニュー設定で、設定項目が次の内容になっていることを確認してください。
メニュー設定項目
・『内蔵LANボード』 ー『有効』
・『インタフェース』 ー『内蔵LANボード／受信バッファ無効』
・『TOF 位置での改頁動作』 ー『無効』
調整値変更メニュー設定項目
・『双方向通信』 ー『有効』
また、プリンタードライバーのプロパティの「ポート」タグにて「双方向サポートを有効にする（E）」のチェックボックスのチェックを外して使用してください。

第 2 章

ソフトウエアの設定

この章では、プリンタードライバー、ユーティリティーの概要、インストールの方法、および設定について説明します。

ソフトウエアの概要 2-2
表記について 2-2
ソフトウエアの動作環境 2-2
ソフトウエアのインストール 2-3
プリンタードライバーの設定 2-5
拡張ドライバーの設定 2-6
通常ドライバーの設定 2-16
印刷設定可能範囲について 2-29
用紙サイズ 2-29
印刷設定可能範囲 2-31
用紙の印刷方向 2-34
ユーティリティーの設定 2-35
ユーティリティーを使用するために 2-35
ステータスモニター 2-36
リモートパネル 2-39

ソフトウエアの概要

プリンターに添付されているプリンタードライバーとユーティリティーの基本的なことがらについて説明します。

表記について

・Microsoft® Windows® 11 日本語版
・Microsoft® Windows® 10 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2025 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2022 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2019 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2016 日本語版

本書中では、上記オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 11、Windows 10、Windows Server 2025、Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、と表記しています。

ソフトウエアの動作環境

対象機種	OS
DOS/V 互換機	Windows 11（日本語版） Windows 10（日本語版） Windows Server 2025（日本語版） Windows Server 2022（日本語版） Windows Server 2019（日本語版） Windows Server 2016（日本語版）

ソフトウエアのインストール

プリンタードライバー、ユーティリティーのインストール方法について説明します。

‥ ガイド ‥

プリンタードライバーをインストールした後も、プラグ＆プレイでプリンターが検出される場合は、プラグ＆プレイのウィザードに従って、プリンタードライバーのインストールを行ってください。

1 セットアッププログラムを起動する

セットアップディスクをパソコンの CD または DVD ドライブにセットすると、「このディスクに対して行う操作を選んでください。」などのメッセージ画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、「SETUP.EXE の実行」または「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択して、セットアップディスクの一番上の階層が表示される、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。

2　ソフトウエアをインストールする

「セットアッププログラム」のメニューとガイドに従って、プリンタードライバーやユーティリティーのインストールを行います。

インストール方法の詳細は、「セットアッププログラム」の「インストールガイド」を参照してください。

お願い	ユーティリティーのインストールは、プリンタードライバーをインストールした後に実施してください。プリンタードライバーがインストールされていないとユーティリティーのインストール時にエラーとなります。

※プラグ＆プレイでプリンターが検出された場合

セットアッププログラムからプリンタードライバーをインストールする場合、プラグ＆プレイのプリンター検出画面で「キャンセル」 を選択してください。

プリンタードライバーの設定

ここでは、プリンタードライバーの設定画面について説明します。
本プリンターでは、次の2種類のプリンタードライバーをご利用いただけます。

・拡張ドライバー　　fit3250-HN
・ 通常ドライバー　　fit3250-H

拡張ドライバーとは？

拡張ドライバーは、文字や画像を、より美しく印字することができる Windows 対応のプリンタードライバーです。
紙送り方向で極力分割せずに印字するよう、文字や画像の印字位置にあわせて微少な改行を行い、書き出し位置を調整します。
この動作により、印字ヘッドの高さ（24ドット以内）の文字は、紙送り方向に分割されることなく印字することができ、より美しい印字結果が得られます。また、画像も少ない分割で印字することができます。
高い効果を得るために、文字フォントは印字ヘッドの高さに収まる「9ポ以下」のプレーンテキスト（修飾しない文字）を使用してください。

なお、印字位置をあわせるための微少改行を行うため、印字スループットが低下します。
また、設定項目の表示位置が通常ドライバーとは異なりますので、従来機と同等の操作でご利用になりたい場合は、通常ドライバーをインストールしてください。

拡張ドライバーの設定

拡張ドライバーの設定画面

拡張ドライバーは、Windows 対応のプリンタードライバーです。「ソフトウェアの動作環境」に記載のないオペレーティングシステムでは使用できません。
拡張ドライバーの設定は、「プリンターのプロパティ」で行います。プリンターのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。
プリンターのプロパティの表示方法は Windows によって異なりますので各 Windows の操作に従ってください。

・・ ご注意 ・・

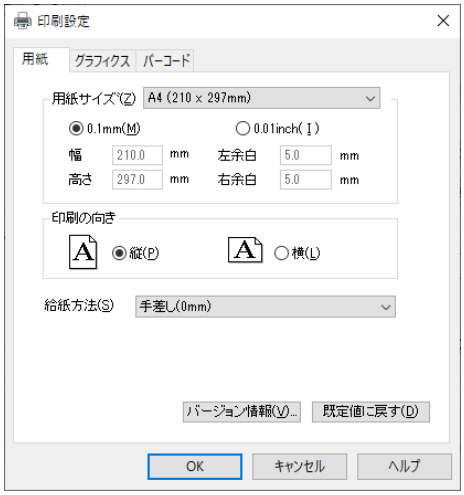
拡張ドライバーを使用する場合は、次の内容にご注意ください。

- 印字する帳票によっては、標準ドライバーと比較してスループットが大きく低下する場合があります。
- 文字フォントは、9ポ以下のプレーンテキスト（修飾しない文字）を使用してください。文字修飾を行った場合は、グラフィクスとして処理され、「文字優先」を選択しても効果がありません。また、9ポ以下のフォントでも 24ドット以上の高さでデザインされている文字では効果がありません。
- アプリケーションによっては、効果がない場合があります。ご使用になるアプリケーションで ご確認をお願いします。

・・ ガイド ・・

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタードライバーの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。
  また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- 新しい用紙を作成する場合は、「プリンターのプロパティ」 の「カスタム用紙」 で作成してください。
  用紙幅は、13．6インチ以内で設定してください。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。印刷時に用紙サイズやグラフィクス設定などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

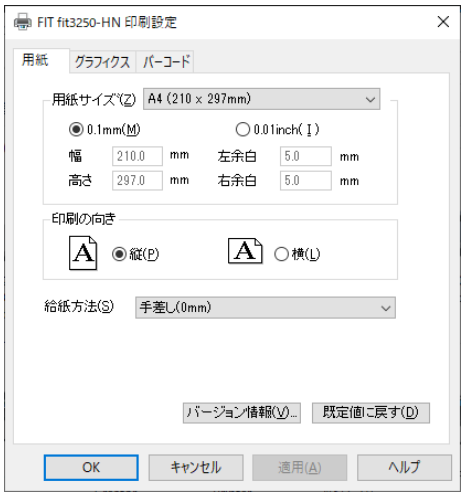
プリンター設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

1　ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔キャンセル〕をクリックすると
　変更した設定を適応しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。
〔OK〕をクリックすると
　変更した設定を保存し、ダイアログボックスを閉じます。
変更した値を初期値に戻す場合は〔既定値に戻す〕をクリックしてください。

〔スタート〕からの設定画面（プリンターのプロパティ）



用紙サイズやグラフィクス設定などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンターの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると
変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。
変更した値を初期値に戻す場合は〔既定値に戻す〕をクリックしてください。

プリンターのプロパティ

プリンタードライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔プリンターのプロパティ〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔プリンターのプロパティ〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると

変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると

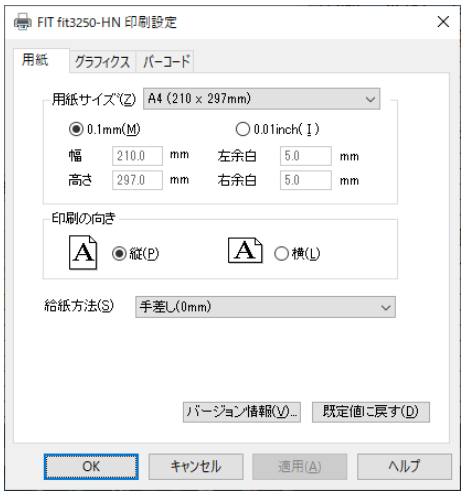
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔適用〕をクリックすると

変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ダイアログ一覧

〔 用紙 〕

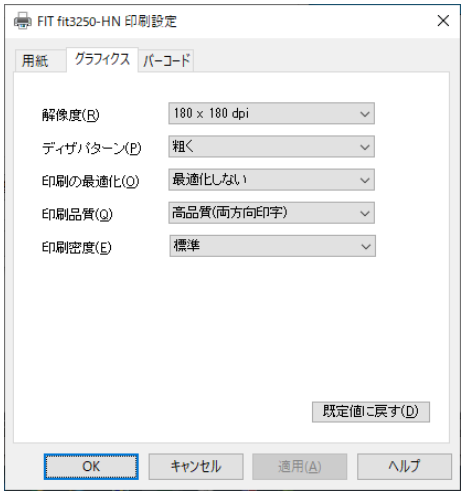


用紙サイズ、印刷の向きなどを選択します。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 チェックボックス（[0.1mm(M)] [0.01inch(I)]）により、表示単位を切り替えることができます。
印刷の向き	印刷用紙の向きを選択します。
給紙方法	給紙方法を選択します。

お願い	用紙サイズの単位を [mm]→[inch]→[mm]と変更した場合、0.1mm の変換誤差が発生し、定義サイズとは異なった表示となる場合があります。 実際の用紙サイズは、定義されているサイズとなり、0.1mm 変更されることはありません。

〔 グラフィクス 〕

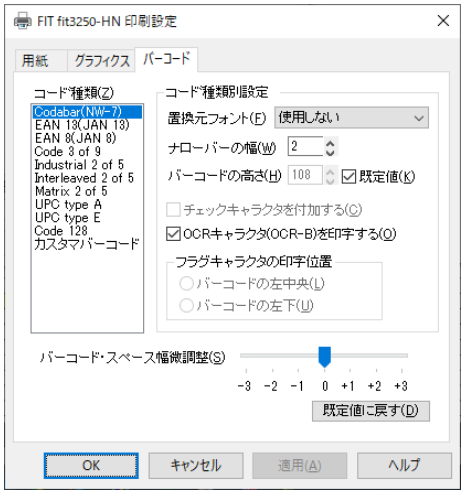


ディザパターン、印刷の最適化などを選択します。

設定項目	内　容
解像度	180×180dpi 固定です。
ディザパターン	ディザパターンを選択します。
印刷の最適化	印刷の最適化について選択します。 ・最適化しない： 通常ドライバーと同じ印字制御となります。 ・文字優先： キャラクタデータに対し、印字パス分割数が最小となるような制御を行います。 ・グラフィクス優先： グラフィクスデータに対し、印字パス分割数が最小となるような制御を行います。
印刷品質	印刷の品位を選択します。
印字密度	印字圧について選択します。

〔 バーコード 〕

拡張ドライバーを使用すると、アプリケーションでデバイスフォントとしてバーコードが選択できるようになります。バーコード印字を行う場合、バーコードとして印字したい文字の書体をアプリケーション上でバーコードに設定する方法と、プリンタードライバーで置換元フォントを指定する方法があります。
置換元フォントで指定したフォント書体は、すべてバーコードとして認識されます。
また、プレビュー画面ではバーコードは表示されませんので、ご注意ください。



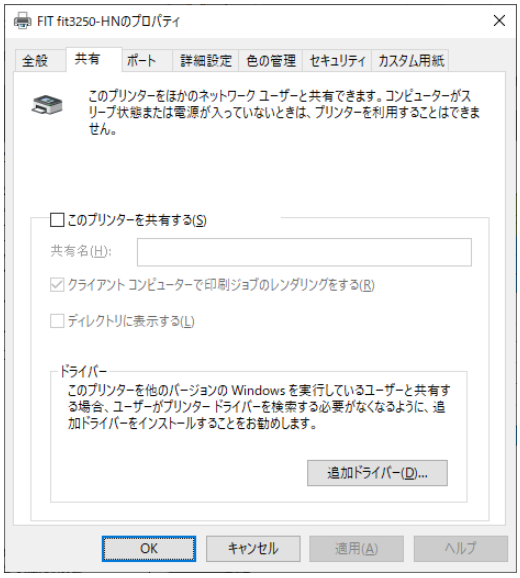
バーコード印刷に関する設定を行います。

設定項目	内　容
コード種類	バーコードの種類を選択します。
コード種類別設定	バーコードの種別ごとに表示される設定可能項目を選択します。 設定項目の詳細は、[ヘルプ]を参照ください。
バーコードスペース幅微調整	バーコードのスペース幅の調整値を指定(1/360 インチ単位)します。この設定値は、各バーコード共通の設定となります。

〔 全般 〕

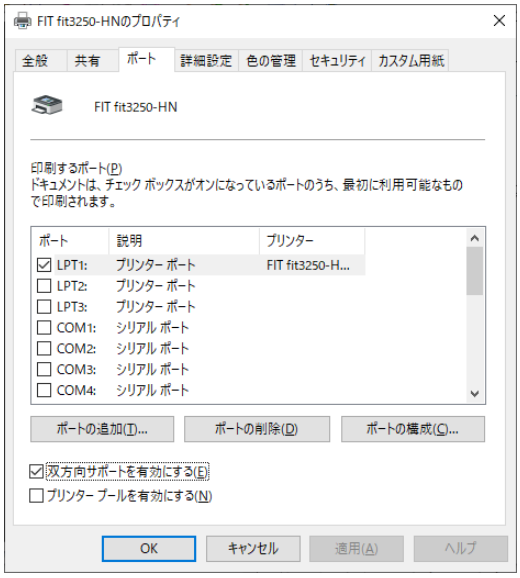
プリンターの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔 共有 〕



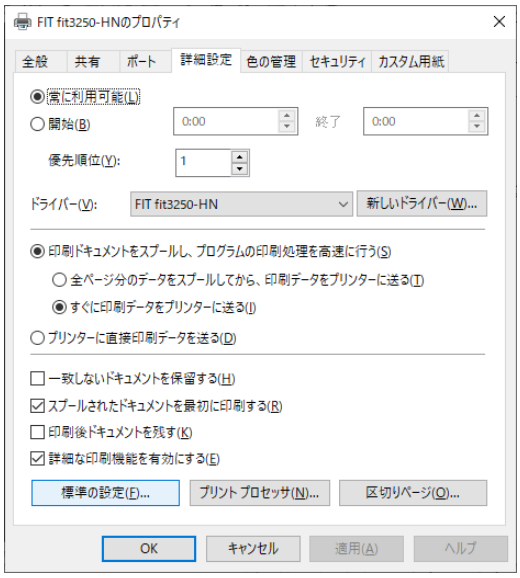
プリンターの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。
ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕



プリンターの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

〔カスタム用紙〕

ユーザー定義用紙を作成します。

このダイアログで作成したユーザー定義サイズは、[サーバーのプロパティ]には反映されません。

設定項目	内　容
用紙	作成した用紙の一覧が表示されます。
新しい用紙を作成する	チェックボックスをチェックすると「用紙名(N)」に名称が入力できるようになります。
単位	用紙サイズの単位を切り替えます。
用紙サイズ	作成する用紙サイズを選択します。 プリンターの有効印字幅は、13.6 インチ(345.4mm)です。

お願い

用紙サイズの単位を [mm]→[inch]→[mm]と変更した場合、0.1mm の変換誤差が発生する場合があります。
実際の用紙サイズは、0.1mm の変換誤差を含む値となりますので、ご注意ください。定型用紙のサイズを基準にする場合は、本章の「印刷設定可能範囲について」を参照してください。

通常ドライバーの設定

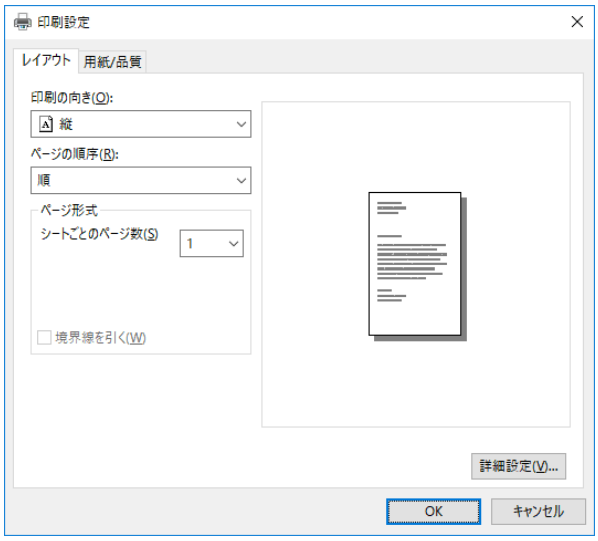
プリンタードライバーの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスで行います。
各ダイアログボックスで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。
プリンターのプロパティの表示方法は Windows によって異なりますので各 Windows の操作に従ってください。

・・ ガイド ・・

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタードライバーの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
・新しい用紙を作成する場合は、「プリンター」のプリンターアイコンをクリックし、ツールバーの「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」タブで作成してください。
用紙幅は、13．6インチ以内で設定してください。

画面は Windows 11 を例に説明しています。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンター設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

1　ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

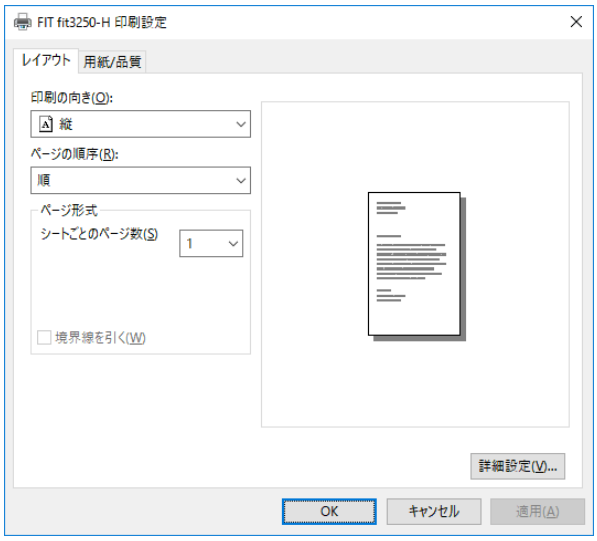
〔OK〕をクリックすると

変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると

変更した設定を適応しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。

アプリケーションソフトで用紙やプリンターの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2　該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると

変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると

変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

〔適用〕をクリックすると

変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

・・ ガイド ・・

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の 2 通りの方法があります。

(1) 設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。

(2) 〔詳細設定〕ダイアログの「FIT fit3250-H 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。

ただし、「レイアウト」「用紙／品質」「詳細設定」は個別に設定変更が必要です。

プリンターのプロパティ

プリンタードライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると

変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると

変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔適用〕をクリックすると

変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

・・ ガイド ・・

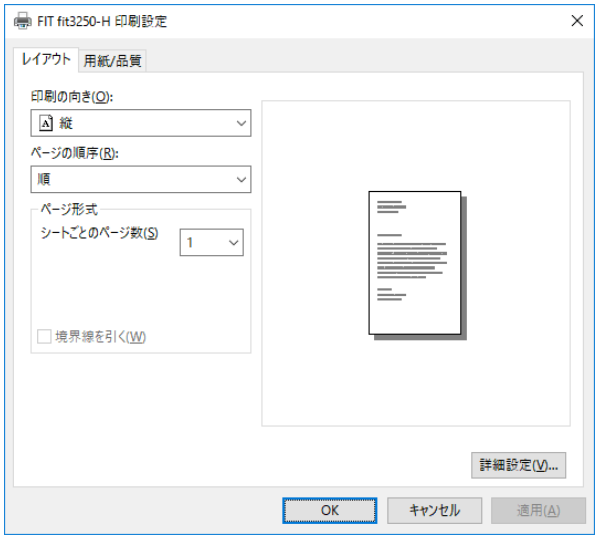
変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。(〔デバイスの設定〕タブのみ有効)

設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FIT fit3250-H デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。

ダイアログ一覧

(注 1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
(注 2)とあるダイアログは「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

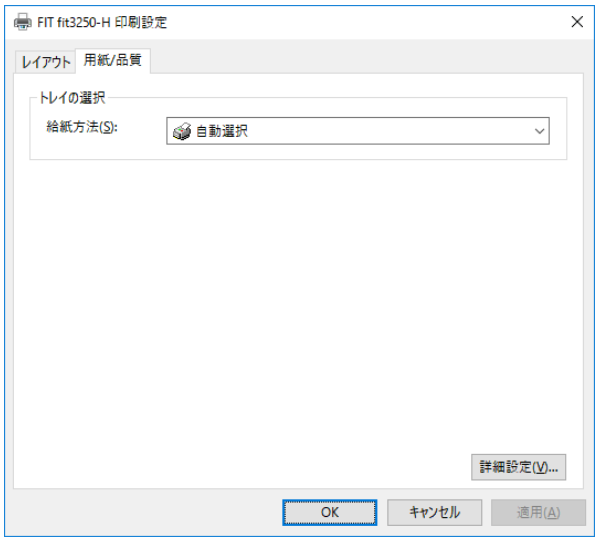
〔レイアウト〕　(注 1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

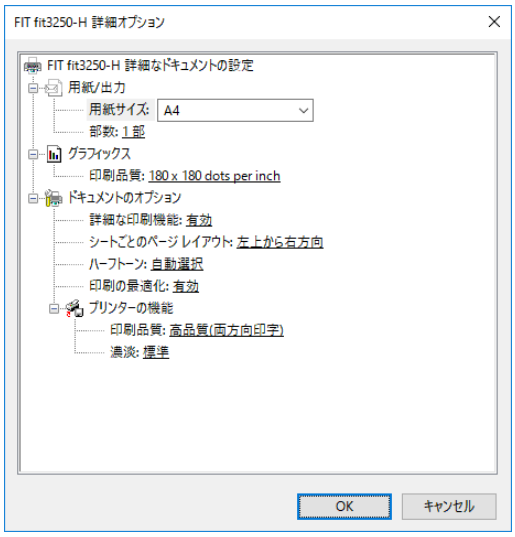
〔用紙/品質〕　（注 1）



給紙方法に関する設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。

〔詳細〕　（注 1）



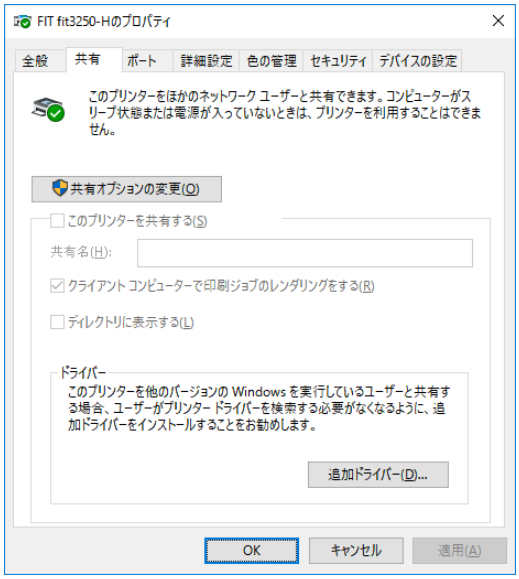
次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容		備　考
用紙/出力	用紙サイズ		用紙サイズを選択します。
	部数		印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質		解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能		印刷機能の設定を有効にするか、しないかを設定します。 有効 ：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効 ：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効（初期値）になります。
	ハーフトーン		ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化		印刷の最適化を有効にするか、しないかを設定します。
	プリンターの機能	印刷品質	印刷の品位を設定します。
		濃淡	印刷の圧力を設定します。

〔全般〕　（注 2）

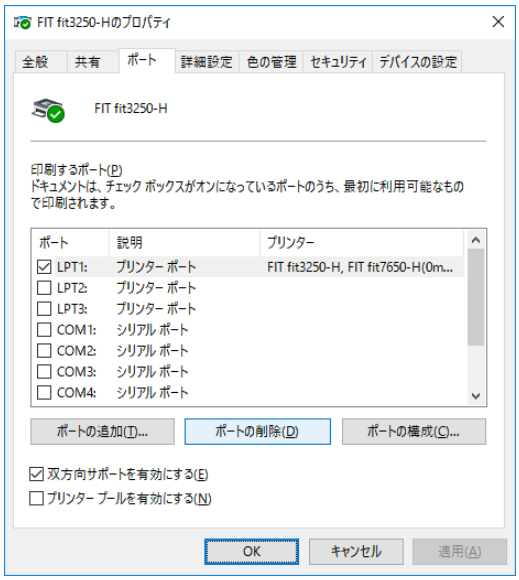
プリンターの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕　（注 2）



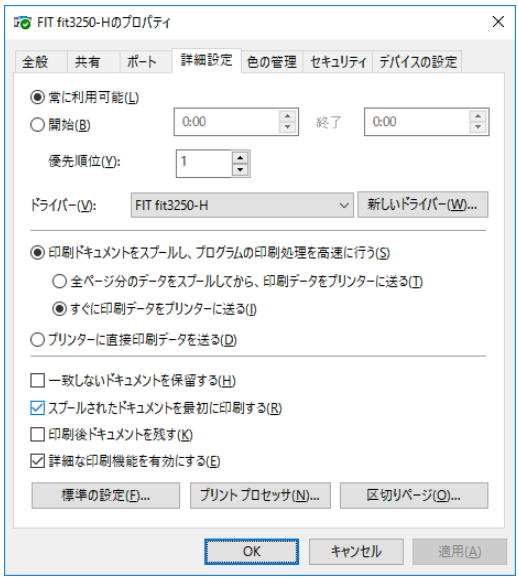
プリンターの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。
ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕　（注 2）



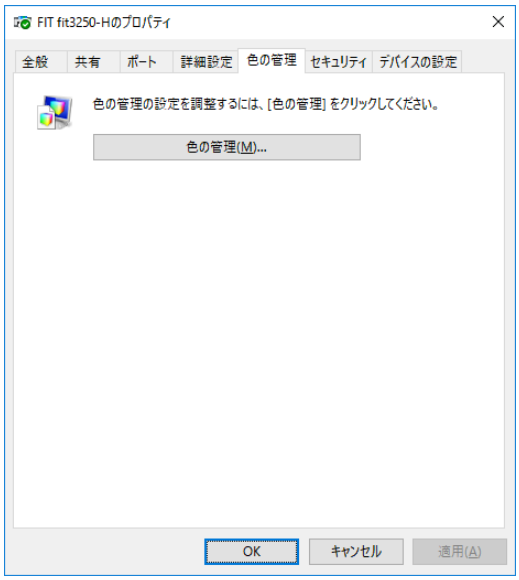
印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕　（注 2）



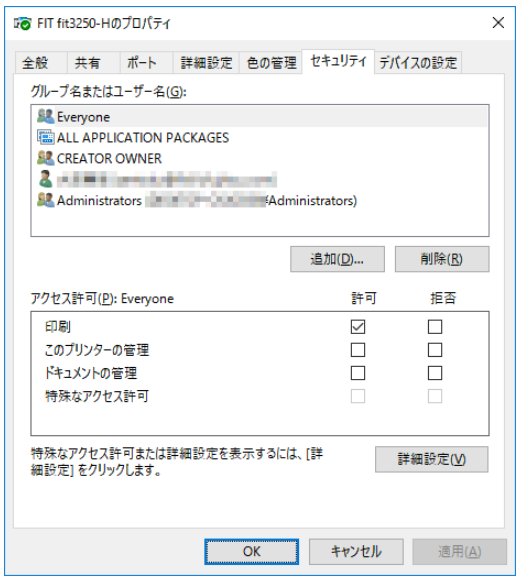
プリンターの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

〔色の管理〕　（注 2）



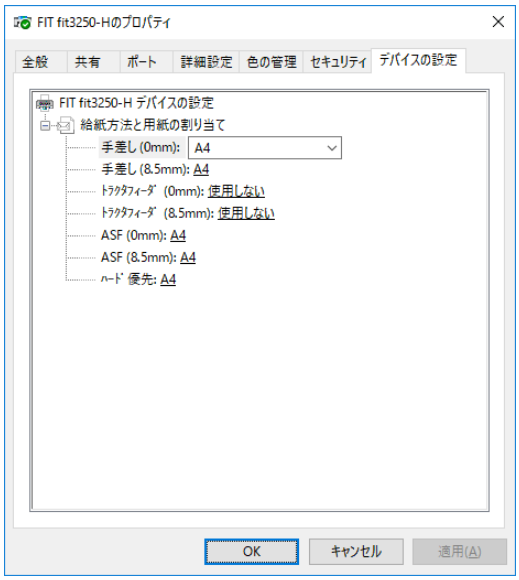
プリンターの色の管理に関する設定を行います。

〔セキュリティ〕　（注 2）



プリンターのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕　（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と 用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

印刷設定可能範囲について

このプリンタードライバーで使用できる用紙サイズおよび印刷設定可能範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

‥ ガイド ‥

下表の用紙サイズが表示されない場合は、プリンターフォルダーを開き、「プリントサーバーのプロパティ」、または「サーバーのプロパティ」で作成してください。

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
Letter	215.90	279.40	－	－
Legal	215.90	355.60	－	－
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	－	－	148.00	200.00
封筒（長形 4 号）横	90.00	205.00	－	－
封筒（長形 3 号）横	120.00	235.00	－	－
封筒（角形 3 号）横	216.00	277.00	－	－
封筒（角形 2 号）横	240.00	332.00	－	－
連続紙　10×11inch	254.00	279.40	－	－
連続紙　12×11inch	304.80	279.40	－	－
連続紙　15×11inch	381.00	279.40	－	－
連続紙　3inch	381.00	76.20	－	－
連続紙　4inch	381.00	101.60	－	－
連続紙　4.5inch	381.00	114.30	－	－
連続紙　4 2/3inch	381.00	118.53	－	－
連続紙　5inch	381.00	127.00	－	－
連続紙　5.5inch	381.00	139.70	－	－

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
連続紙　5 2/3inch	381.00	143.93	－	－
連続紙　6inch	381.00	152.40	－	－
連続紙　6.5inch	381.00	165.10	－	－
連続紙　6 2/3inch	381.00	169.33	－	－
連続紙　7inch	381.00	177.80	－	－
連続紙　7.5inch	381.00	190.50	－	－
連続紙　8inch	381.00	203.20	－	－
連続紙　8.5inch	381.00	215.90	－	－
連続紙　9inch	381.00	228.60	－	－
連続紙　9.5inch	381.00	241.30	－	－
連続紙　10inch	381.00	254.00	－	－
連続紙　10.5inch	381.00	266.70	－	－
連続紙　10inch(3 等分)	381.00	84.66	－	－
連続紙　10inch(4 等分)	381.00	63.50	－	－
連続紙　11inch	381.00	279.40	－	－
連続紙　11.5inch	381.00	292.10	－	－
連続紙　11inch(3 等分)	381.00	93.13	－	－
連続紙　11inch(4 等分)	381.00	69.85	－	－
連続紙　11inch(5 等分)	381.00	55.88	－	－
連続紙　11inch(6 等分)	381.00	46.56	－	－
連続紙　12inch	381.00	304.80	－	－
連続紙　12.5inch	381.00	317.50	－	－
連続紙　12inch(4 等分)	381.00	76.20	－	－
連続紙　13inch	381.00	330.20	－	－
連続紙　13.5inch	381.00	342.90	－	－
連続紙　13inch(4 等分)	381.00	82.55	－	－
連続紙　14inch	381.00	355.60	－	－
ユーザー定義サイズ（注）	101.60	76.00	－	－

注）この値はデフォルト値です。設定可能範囲（mm）は、用紙幅が 101.60～420.00 で、用紙長が 76.00～420.00 です。

・・ ガイド ・・

ユーザー定義サイズは、プリンターにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、本取扱説明書の用紙規格を参照して、印刷可能範囲内で使用してください。

印刷設定可能範囲

単位：mm

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙</th><th colspan="4">余白</th></tr>
<tr><th>上端</th><th>下端</th><th>左端</th><th>右端</th></tr>
<tr><td>A4,A4 横</td><td colspan="2" rowspan="28">給紙方法別 上・下端値 参照</td><td rowspan="2">5.08</td><td rowspan="2">5.08</td></tr>
<tr><td>A3</td></tr>
<tr><td>A3 横</td><td>33.16</td><td>41.49</td></tr>
<tr><td>A5,A5 横</td><td colspan="2" rowspan="12">5.08</td><td colspan="2" rowspan="12">5.08</td></tr>
<tr><td>A6,A6 横</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>B4 横</td></tr>
<tr><td>B5,B5 横</td></tr>
<tr><td>Letter</td></tr>
<tr><td>Legal</td></tr>
<tr><td>はがき,はがき横</td></tr>
<tr><td>往復はがき,往復はがき横</td></tr>
<tr><td>封筒(長形 4 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(長形 3 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(角形 3 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(角形 2 号)横</td></tr>
<tr><td>連続紙　10×11inch</td><td colspan="2" rowspan="16">0</td><td colspan="2">25.40</td></tr>
<tr><td>連続紙　12×11inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　15×11inch</td><td colspan="2" rowspan="14">35.56</td></tr>
<tr><td>連続紙　3inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　4inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　4.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　4 2/3inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　5.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　5 2/3inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　6inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　6.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　6 2/3inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　7inch</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙</th><th colspan="4">余白</th></tr>
<tr><th>上端</th><th>下端</th><th>左端</th><th>右端</th></tr>
<tr><td>連続紙　7.5inch</td><td colspan="2" rowspan="22">給紙方法別 上・下端値　参照</td><td colspan="2" rowspan="21">0</td><td colspan="2" rowspan="21">35.56</td></tr>
<tr><td>連続紙　8inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　8.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　9inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　9.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　10inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　10.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　10inch(3 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　10inch(4 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　11inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　11.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　11inch(3 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　11inch(4 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　11inch(5 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　11inch(6 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　12inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　12.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　12inch(4 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　13inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　13.5inch</td></tr>
<tr><td>連続紙　13inch(4 等分)</td></tr>
<tr><td>連続紙　14inch</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ（注）</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">5.08</td><td colspan="2">5.08</td></tr>
</table>

給紙方法別 上・下端値　　単位：mm

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">給紙方法</th><th colspan="2">マージン（既定値）</th></tr>
<tr><th>上端</th><th>下端</th></tr>
<tr><td rowspan="2">手差し</td><td>8.5mm</td><td>8.47</td><td>4.23</td></tr>
<tr><td>0mm</td><td>0.00</td><td>4.23</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連帳</td><td>8.5mm</td><td>8.47</td><td>0.00</td></tr>
<tr><td>0mm</td><td>0.00</td><td>0.00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オートシートフィーダー</td><td>8.5mm</td><td>8.47</td><td>423</td></tr>
<tr><td>0mm</td><td>0.00</td><td>4.23</td></tr>
</table>

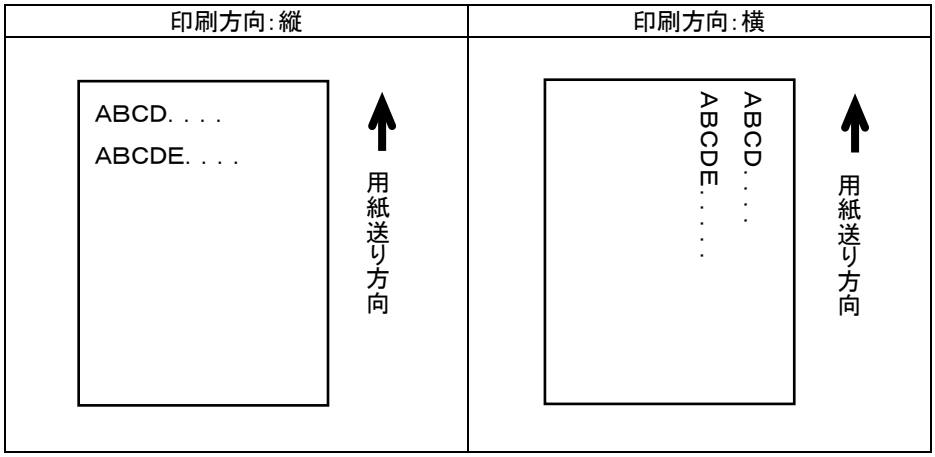
‥ ガイド ‥

・封筒を使用する場合のマージン値については、「第 5 章　使用できる用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。

・「連続紙　縦 3inch」～「連続紙　縦 14inch」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用する場合には「第 5 章　使用できる用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端マージンを適宜設定してください。
また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダー、フッターの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダー、フッダーの位置を調節して印刷してください。

用紙の印刷方向

印刷方向は、プリンタドライバーの設定画面の「印刷の向き」の設定により、次のようになります。



・・ ガイド ・・

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

ユーティリティーの設定

プリンターに付属しているユーティリティー（ステータスモニター、リモートパネル）は、fit3250-H 用プリンタードライバー専用のユーティリティーですので、他製品のプリンタードライバーと組み合わせて使用することはできません。

■ ステータスモニターは、ローカル（パラレル、USB）接続専用です。

■ リモートパネルは、ローカル、ネットワーク接続で使用できます。
ネットワーク接続で使用する場合は、LAN ボード PR-LN1-H と LAN ボード添付の PR Port Monitor で作成したポートを使用してください。

ユーティリティーを使用するために

ステータスモニター、リモートパネルは、プリンターと双方向の通信を行います。
次の各設定が、双方向を行う設定になっていることを確認してください。

- **パソコンのBIOS設定**
  パソコンのBIOS設定が「Bidirectional」になっていることを確認してください。
  BIOSの設定については、パソコンのマニュアルを参照してください。

- **プリンタードライバーの双方サポート**
  ローカル接続で使用する場合、プリンタードライバーのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックボックス選択した状態で使用してください。
  ネットワーク環境で使用する場合は、選択しない状態で使用してください。インストール時の初期値では、有効に設定されています。

- **プリンターの調整値変更メニュー項目[双方向通信]**
  初期値では、有効に設定されています。ユーティリティーを使用する場合は、変更せずにご使用ください。詳細は、本書「第6章 調整値変更メニュー」を参照してください。

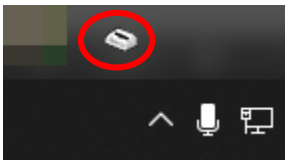
ステータスモニター

ステータスモニターは、印刷実行時にエラーが発生した場合、プリンターの状態と対処方法をポップアップウィンドウで表示する常駐型のソフトウエアです。

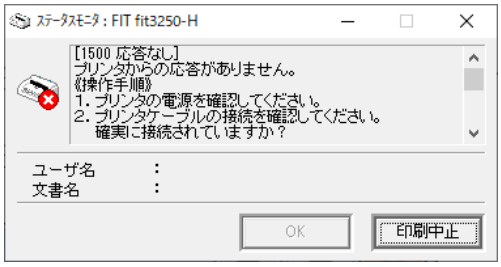
お願い

ステータスモニターは、ローカル（パラレル、USB）接続専用のユーティリティーです。使用する場合は、FIT fit3250-H を「通常使うプリンター」に設定し、ローカルポート（パラレルまたは USB）を選択してください。

ステータスモニターは、インストール後にスタートアップフォルダーに登録され、タスクバーに表示されます。

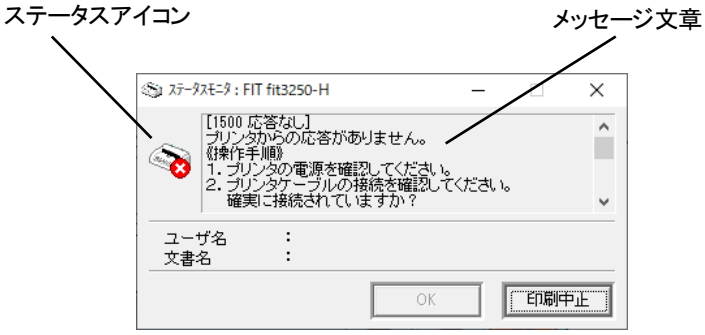


ステータスモニターは、印刷実行時にエラーが発生すると、ポップアップウィンドウを表示し、状態と対応方法を通知します。



印刷実行時以外で、プリンターの状態を確認したい場合は、タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックすることで、プリンターの状態が表示されます。

ステータス表示ウィンドウ



ステータスアイコンについて

ステータスアイコン	状　　態
	印刷中、または印刷可能状態を示します。 （エラー無し状態）
	印刷中、または印刷可能状態を示します。 （ワーニングメッセージ有り）
	エラー発生状態を示します。 （復旧可能なエラー）
	エラー発生状態を示します。 （復旧不可能なエラー）
	エラー発生状態を示します。 （ハードエラー）

メッセージ文章について

メッセージ文章には、ステータス番号、プリンター状態、プリンター状態の説明、対処方法が表示されます。

プリンターにエラーが発生した場合は、対処方法に従って、処置を行ってください。

［ステータス番号　プリンター状態］
プリンター状態の説明
対処方法

ユーザー名について

印刷要求を行ったユーザー名を示します。

ユーザー名　：（ユーザー名）

文書名について

印刷を行う文書名（印刷ジョブ名）を示します。

文書名　：（文書名）

応答ボタンについて

応答ボタンの種類を以下に示します。

［OK］　本ボタンをクリックすることにより、ポップアップウィンドウを最小化しタスクトレイ内にアイコンとして格納します。

［印刷中止］　ステータス表示中の印刷ジョブの処理を中止する場合にクリックします。本ボタンをクリックすることにより、該当印刷ジョブの処理を中止し、ポップアップウィンドウを最小化しタスクトレイ内にアイコンとして格納します。

リモートパネル

リモートパネルは、プリンターの操作パネルで設定する項目を、パソコンから設定することができるユーティリティーです。
設定項目の詳細はユーティリティーのヘルプまたは、本書の第3章を参照してください。

メモ

リモートパネルでは、メニュー設定項目、調整値変更メニューの全ての設定を変更することはできません。表示されない項目を変更する場合はプリンター本体で変更を行ってください。

お願い

リモートパネルをネットワーク経由で使用する場合は、内蔵 LAN ボード PR-LN1-H が必要です。
また、ネットワークポートは、LAN ボード付属のユーティリティー PR Port Monitor で作成したポートを使用してください。
（Standard TCP/IP Port、LPR Port 等のポートでは、リモートパネルを使用することはできません。）

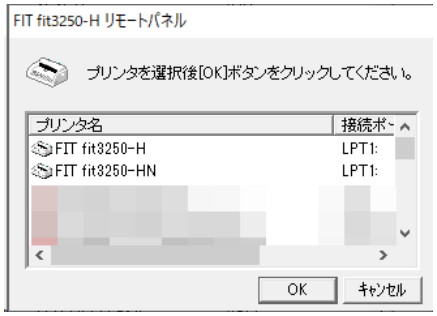
・・ ガイド ・・

[メニュー設定 1]-[帳票 PE 検出位置]で「80mm」を選択した場合、[メニュー設定 2]-[帳票 PE 検出位置微調整]は、選択できません。

リモートパネルの起動について

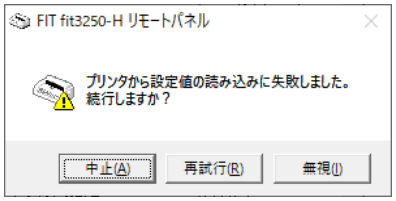
リモートパネルを起動すると、次のようにプリンターを選択する画面が表示されます。

設定を変更する FIT fit3250-H を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



プリンターがオンライン状態になっていない場合は、次のようなエラーメッセージが表示されます。

プリンターがオンライン状態になったことを確認し、[再試行]を行ってください。



設定値の変更について

リモートパネルを起動すると次のように、設定可能な項目の一覧が表示されます。

応答ボタン

［読込］　　プリンターと通信を行い、現在の設定値を読み込み、表示します。

［確定］　　変更した設定値をプリンターに書き込みます。

［終了］　　リモートパネルを終了します。

設定値の初期化

設定値を工場出荷時の初期値に戻す場合は、［ファイル］-［初期値読込み］を選択します。各項目に初期値が読み込まれますので、［確定］ボタンを押すと、プリンターに初期値が書き込まれます。

設定値の保存

変更した設定値の組み合わせを保存しておきたい場合は、［ファイル］-［設定ファイルの保存］を選択します。保存した設定値の組み合わせは、［ファイル］-［設定ファイルの読み込み］で表示することができます。

第 3 章

プリンターの機能とその使い方

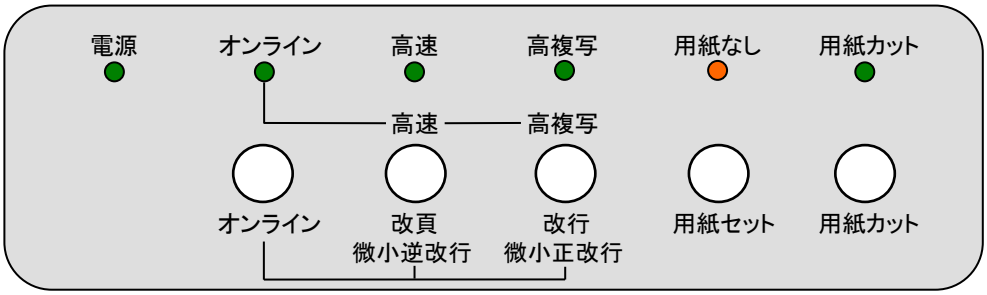
この章では、操作パネルの機能やその使い方について説明します。

操作パネルの機能 3-2
操作パネルランプ 3-3
操作パネルスイッチ 3-4
動作環境の設定 3-6
メニュー設定の変更方法 3-6
メニュー設定項目 3-10
メニュー設定初期化方法 3-16

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンターの状態を示すパネルランプとプリンターの機能や状態を切り替えるスイッチがあります。
また、表示パネルによりプリンターの状態を表示します。

【表示パネル部】



操作パネルランプ

操作パネルランプは、点灯、消灯、点滅でプリンターの状態を表しています。
ランプが示す状態表示は、下表の通りです。

名　　称	点　　灯	消　　灯	点　　滅
電　源 （緑）	電源ＯＮ状態	電源ＯＦＦ状態	－
オンライン （緑）	オンライン状態	オフライン状態	－
高　速 （緑）	高速印字モード	高速モード解除	－
高複写 （緑）	高複写モード コマンドによる高複写モード指定時	高複写モード解除	－
用紙なし （赤）	用紙なし状態	プリンターが 正常な状態	アラーム発生
用紙カット （緑）	用紙カット スイッチが押された時、または、「1 インチカット機能」で用紙送り状態	用紙送り以外の状態	－

操作パネルスイッチ

本プリンターには 5 個のスイッチがあります。
スイッチを押すことで、プリンターの状態や機能が選択でき、操作パネルランプの状態で機能が表示されます。
（スイッチでの切替は、次の電源OFFまで有効です。）
継続して設定を変更したい場合は、メニュー設定で変更を行ってください。

【スイッチ機能一覧】

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th>プリンター状態</th><th rowspan="2">状態</th><th colspan="2">機　能</th></tr>
<tr><th>スイッチ名称</th><th>単票用紙</th><th>連続用紙</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">オンライン</td><td>オフライン</td><td colspan="2">オンライン状態(プリンター準備完)になります。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td colspan="2">オフライン状態(プリンタービジー)になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">高速
改頁
微小逆改行</td><td>オフライン</td><td>・用紙有りの場合
用紙の排出動作を行います。
・用紙無しの場合
メニュー設定の「単票検出モード」の設定に従って動作します。</td><td>改頁動作を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オンライン</td><td colspan="2">「高速ランプ」消灯時にスイッチを押下すると、標準モード→高速モード の切り替えを行います。
「高速ランプ」点灯時にスイッチを押下すると、高速モード→標準モード の切り替えを行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[オンライン]スイッチと同時に押下すると、1 回押下する毎に 1/180 インチの逆方向の微小改行を行います。（スイッチを押し続けることで、連続した微小逆改行が可能です。）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">プリンター状態
スイッチ名称</th><th rowspan="2">状態</th><th colspan="2">機　能</th></tr>
<tr><th>単票用紙</th><th>連続用紙</th></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">高複写
◯
改行
微小正改行</td><td>オフライン</td><td colspan="2">正方向の改行を行います。(スイッチを押し続けることで、連続した改行が可能です。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オンライン</td><td colspan="2">「高複写ランプ」消灯時にスイッチを押下すると、標準モード→高複写モード の切り替えを行います。
「高複写ランプ」点灯時にスイッチを押下すると、高複写モード→標準モード の切り替えを行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[オンライン]スイッチと同時に押下すると、1 回押下する毎に 1/180 インチの正方向の微小改行を行います。(スイッチを押し続けることで、連続した微小改行が可能です。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">◯
用紙セット</td><td>オフライン</td><td>・用紙有りの場合
用紙の排出動作を行います。
・用紙無しの場合
メニュー設定の「単票検出モード」の設定に従って動作します。</td><td>・用紙有りの場合
連帳の後退動作を行います。
・用紙無しの場合
連帳用紙の吸入動作を行います。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>無効</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">◯
用紙カット</td><td>オフライン</td><td>無効</td><td rowspan="2">用紙カットのための用紙送り動作を行います。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>無効</td></tr>
</table>

動作環境の設定

ここでは、プリンターの動作環境の設定について、説明します。
プリンターの動作環境は、操作パネルからメニュー設定を変更することで設定することができます。

メニュー設定の変更方法

お願い

オートシートフィーダー接続時は、メニュー設定変更できませんので、必ずオートシートフィーダーを外してから実施してください。

お願い

メニュー設定は、あらかじめ、連帳用紙（15×11 インチを推奨）、または、単票用紙（A4を推奨）をセットしてください。

1　メニュー設定モードに移行する

用紙セット スイッチを押しながら、電源を投入すると、プリンターは、メニュー設定モードで起動します。
すべてのランプが点灯 → 消灯したことを確認し、用紙セット スイッチから手を離してください。

2 設定内容を確認する

プリンターがメニュー設定モードで起動すると、次に示す印字例のように、現在の設定内容の一覧と先頭の設定項目を印字し、印字結果が見える位置まで用紙を送り出します。

お願い

単票用紙が排出される場合は、用紙をセットし、用紙セット スイッチを押した後、オンライン スイッチを押してください。

【 印字例 】

```
メニュー設定開始
    インタフェース                    自動/受信バッファ有効
    オートＣＲ                        ＣＲ
    単票検出モード                    検出
    帳票ＰＥ検出位置                  ８０ｍｍ
    単票頭出し位置                    ９／１２インチ
    連帳頭出し位置                    １３／１２インチ
    コード表                          カタカナ
    改行量                            ６ＬＰＩ
    帳票頁長                          ６６行
    印字方向指定１                    片方向
    印字方向指定２                    両方向
    ミシン目スキップ設定              なし
    ゼロフォント                      ０
    ＴＯＦ位置での改行動作            有効
        ・                            ・
        ・                            ・
        ・                            ・
        ・                            ・
    インタフェース                    自動/受信バッファ有効
```

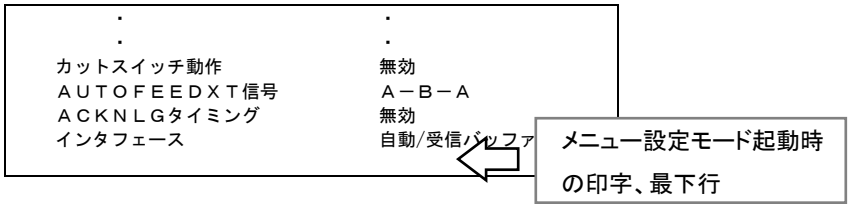
3 設定内容を変更する

設定の変更は、印字結果を確認しながら行います。

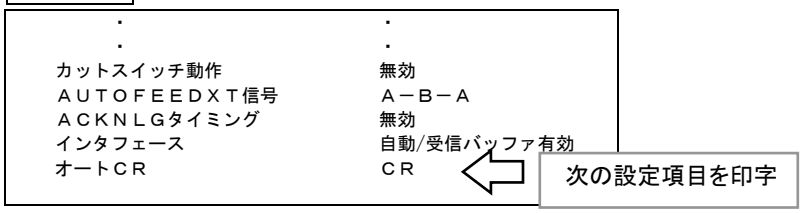
設定内容は、オンライン スイッチ、または 用紙カット スイッチを押すことで、1行づつ順番に印字されます。

オンライン スイッチを押す。

次項の「メニュー設定項目」の順に、一行づつ設定項目が印字されます。

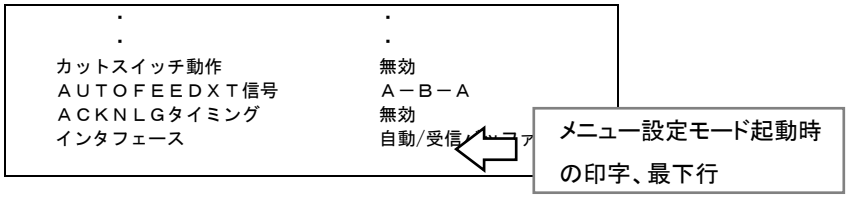


オンライン スイッチを一度押すと、次の設定項目が印刷されます。

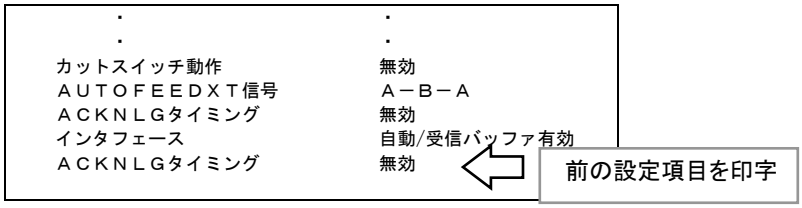


用紙カット スイッチを押す。

次項の「メニュー設定項目」と逆の順に、一行づつ設定項目が印字されます。

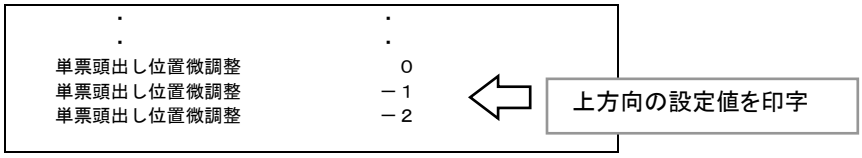


オンライン スイッチを一度押すと、次の設定項目が印刷されます。

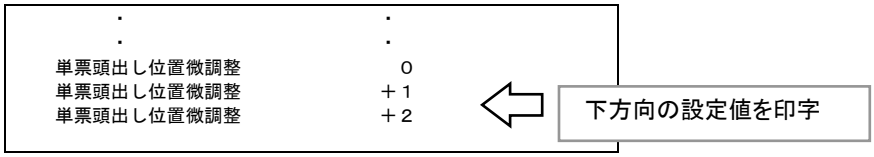


設定の変更は、改　頁スイッチと改　行スイッチで行います。
設定値は、次項の「メニュー設定項目」に記載されている順に遷移します。
改　頁スイッチを押すと上方向、改　行スイッチを押すと下方向の設定値が印字されます。

改　頁スイッチを押すごとに、メニュー設定項目に示す、上方向の設定値が印字されます。



改　行スイッチを押すごとに、メニュー設定項目に示す、下方向の設定値が印字されます。



4　変更した設定値を保存して、メニュー設定モードを終了する

用紙セットスイッチを押すと、変更した設定値を保存し、メニュー設定モードを終了します。
終了時は、「メニュー設定終了」と印字した後、連帳モードの場合は、改頁動作、単票モードの場合は、用紙排出動作を行います。

・メモ

設定を保存せずに、メニュー設定モードを終了する場合は、そのまま電源を切ってください。

お願い

メニュー設定モードの途中で、用紙なしになった場合は、用紙をセットし用紙セットスイッチを押した後、オンラインスイッチを押すことで、継続することができます。

メニュー設定項目

メニュー設定モードで設定が可能な項目は次の通りです。
アンダーラインのある設定値が初期値（工場出荷時の値）です。

設定項目名	設定値名	機　能
内蔵LANボード	有効 無効	内蔵LANボード搭載時のみ表示されます。
インタフェース	自動/受信バッファ有効 セントロ/受信バッファ有効 セントロ(外付け LAN)/ 受信バッファ無効 USB/受信バッファ有効	上位装置と接続可能なインターフェイスおよび受信バッファー（16KB）の使用を設定します。 『自動/受信バッファ有効』の場合、パラレルと USB とで先に受信したインターフェイスを、受信バッファー有効の状態で、自動選択します。 『セントロ/受信バッファ有効』の場合、受信バッファー有効の状態で、パラレルインターフェイス固定となります。 『セントロ（外付け LAN/受信バッファ無効）』の場合、受信バッファー無効の状態で、パラレルインターフェイス（または外付け LAN）固定となります。 『USB/受信バッファ有効』の場合、受信バッファー有効の状態で、USB インターフェイス固定となります。 （注 1）
	内蔵 LAN ﾎﾞｰﾄﾞ/ 受信ﾊﾞｯﾌｧ無効 内蔵 LAN ﾎﾞｰﾄﾞ/ 受信ﾊﾞｯﾌｧ有効	内蔵LANボード搭載時には設定値が追加表示され、設定値が変更されます。
オートCR	CR CR+LF	CR（0Dh）コマンド受信時の動作を設定します。 『CR』の場合、CR 動作のみ行います。『CR+LF』の場合、CRとLF 動作を行います。
単票検出モード	検出 無検出	『検出』の場合、以下の単票用紙制御を行います。 a. ペーパーエンド検出 b. ペーパージャム検出 ASF 搭載時は、常に検出モードとなります。

注 1）受信バッファが有効となるインターフェイスを選択した場合、非同期印刷となりますので、アプリケーションと連携したリカバリー印刷が正常に行われない場合があります。
拡張プリンタマネージャなどと連携して、リカバリー印刷を行う場合、受信バッファーが無効となる「セントロ（外付けLAN）」または、「内蔵LAN ボード/受信バッファ無効」を選択してください。

設定項目名	設定値名	機　能
帳票PE検出位置	4.2mm 80mm	連帳モード時の PE 検出位置（下端余白量）を設定します。
単票頭出し位置	0/12 インチ(0mm) 1/12 インチ(2.12mm) 2/12 インチ(4.23mm) ： 9/12 インチ(19.05mm) ： 12/12 インチ(25.40mm) 13/12 インチ(27.52mm)	用紙吸入後の第 1 印字位置（文字中心）から用紙上端までの距離を設定します。 ただし、『4/12 インチ(8.47mm)』の設定値だけは、文字上端から用紙上端までの距離となります。
帳票頭出し位置	1/12 インチ(2.12mm) 2/12 インチ(4.23mm) ： 13/12 インチ(27.52mm) 14/12 インチ(29.63mm) 15/12 インチ(31.75mm)	用紙吸入後の第 1 印字位置（文字中心）から用紙上端までの距離を設定します。 ただし、『4/12 インチ(8.47mm)』の設定値だけは、文字上端から用紙上端までの距離となります。
コード表	カタカナ 拡張グラフィックス	ANK 文字コード表の設定を行います。 『カタカナ』の場合、ANK の 80H～FFh をカタカナコード表として印字を行います。 『拡張グラフィックス』の場合、ANK の 80H～FFh を拡張グラフィックスコード表として印字を行います。
改行量	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	「改行」スイッチを押下した時の紙送り量、及び改行コマンド（0AH）の紙送り量を設定します。 改行ピッチを変更するコマンドを受信した場合、改行コマンド（0AH）の紙送り量はコマンドに従いますが、「改行」スイッチの紙送り量は 調整値変更メニュー設定の『改行スイッチ動作設定』の設定（コマンド優先／メニュー優先）に従います。
帳票頁長（10の桁）	0x 行 ： 6x 行 ： 9x 行	連帳用紙のページ長（10 の桁）を設定します。 帳票頁長（1 の桁）と合わせた行数が、ページ長として設定されます。 『00 行』に設定された場合には、1 行として処理します。
帳票頁長（1の桁）	y0 行 ： y6 行 ： y9 行	連帳用紙のページ長（1 の桁）を設定します。 帳票頁長（10 の桁）と合わせた行数が、ページ長として設定されます。 『00 行』に設定された場合には、1 行として処理します。
印字方向指定1	片方向 両方向	ANK および漢字の縦2倍拡大印字を行う場合の印字方向（片方向/両方向）を設定します。

設定項目名	設定値名	機　能
印字方向指定2	片方向 両方向	ビットイメージおよび拡張グラフィックコード表の B0H～DFH, F4H, F5H の印字方向を設定します。 印字方向指定1および2で『片方向』に設定した場合、印字方向指定(ESC U)の設定に関わらず片方向で印字します。
ミシン目スキップ設定	なし 1インチ	ミシン目スキップ機能を有効とするかどうかを設定します。 『1インチ』の場合、連帳用紙のミシン目部分（ページ長の最後から 1 インチの部分）への印字を行いません。
ゼロフォント	0 Ø（スラッシュ付き）	ANK コード表の「O」の字体を設定します。 『 Ø 』の場合、スラッシュ付きの「O」を印字します。 ただし、以下の場合は通常の「O」（スラッシュ無し）を印字します。 a. サンセリフの 10CPI, 12CPI, プロポーショナル b. OCR-A の 10CPI, 12CPI, プロポーショナル c. OCR-B の 10CPI, 12CPI, プロポーショナル
TOF位置での改頁動作	有効 無効	連帳モード時、TOF 位置で FF(0CH) コマンドを受信した時の動作を設定します。 『有効』の場合、TOF 位置でも FF コマンド受信により改ページ動作を行います。 『無効』の場合、TOF 位置で FF コマンドを受信しても改ページ動作は行いません。
1インチカット機能	手動モード 自動モード	用紙カットのための送り出し動作を、自動（オートティアオフ）で行うかどうかを設定します。 『自動モード』の場合、以下の条件を満たした場合に用紙送り出しを実行します。 a. オンライン状態 b. コマンド実行あるいはバッファーフル印字で TOF 位置に移動した直後、（連帳セット直後、電源投入および*INIT 信号受信直後、カット位置から戻って TOF 位置にある場合は実行しない） c. TOF 位置に移動してから、2 秒以上印字データが送信されていない。
電源投入時の用紙位置	現在位置 カット位置	連帳モード時、電源投入時の用紙位置を設定します。
文字品位	高品位 ドラフト	ANK 文字の文字品位を設定します。

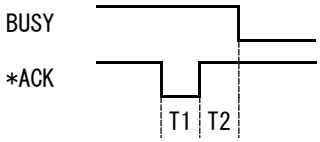
設定項目名	設定値名	機　能
縮小指定	有効 無効	ANK 文字の文字サイズを設定します。 『有効』の場合、ANK 文字は縮小文字サイズとなります。 ※縮小指定コマンド(ESC+SI, SI)による指定時と同じ動作となります。
はがきモード	解除 設定	はがきモードを設定します。 『設定』の場合、はがきモードが設定され、以下の状態となります。 a. 単票上端余白量を 11.5mm とします。 b. はがきモード設定コマンド(ESC+|+02H)は無効となります。
ANKフォント	クーリエ ローマン サンセリフ プレステージ OCR-A OCR-B	ANK 文字の文字フォントを設定します。
漢字フォント	明朝体 ゴシック体	漢字の印字フォントを設定します。
単票自動オンライン	有効 無効	単票(ASF)用紙吸入成功により、自動でオンラインとするかどうかを設定します。
帳票自動オンライン	有効 無効	連帳用紙吸入成功により、自動でオンラインとするかどうかを設定します。
単票頭出し位置微調整	-10 - 9 : 0 : + 9 +10	1/120 インチ(約 0.21mm)単位で用紙吸入位置の微調整を行います。 設定された調整値は、単票手差し、ASF 用紙の用紙吸入量に対して反映されます。 はがきモード設定時の用紙吸入量に対しては、本調整値は反映されません。
帳票頭出し位置微調整	-10 - 9 : 0 : + 9 +10	1/120 インチ(約 0.21mm)単位で用紙吸入位置の微調整を行います。 設定された調整値は、連帳用紙の用紙吸入量に対して反映されます。
帳票PE検出位置微調整	-10 - 9 : 0 : + 9 +10	1/60 インチ(約 0.42mm)単位で連帳用紙 PE 検出位置の微調整を行います。 メニュー設定で『帳票 PE 検出位置:80mm』に設定されている場合、本設定値は無効となります。

設定項目名	設定値名	機　能
カットスイッチ動作	吸入量 ミシン目	「用紙カット」スイッチ押下、またはオートティアオフによる用紙カット送り出し動作を設定します。 『吸入量』の場合、現在位置が TOF 位置にあるものとして、現在位置から用紙カッタ位置までの用紙送り出しを行います。 『ミシン目』の場合、現在位置が TOF 位置以外であれば次のページの TOF 位置まで改ページを行った後、ミシン目が用紙カッタ位置にくるまで用紙を送り出します。
AUTOFEEDXT信号	有効 無効	*AUTOFEED XT 信号を有効とするか無効とするかを設定します。 メニュー設定の『オート CR』および本設定により、CR コードの処理が以下のようになります。

メニューの設定		電源投入時 AUTOFEEDXT の信号状態	CR コードの動作
AUTOFEEDXT 信号	オート CR		
無効	CR	―	自動改行しない
	CR+LF	―	自動改行する
有効	CR	LOW	自動改行する
		HIGH	自動改行しない
	CR+LF	―	自動改行する

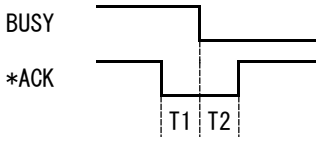
設定項目名	設定値名	機　能
ACKNLGタイミング	A-B-A A-B	*ACKNLG と BUSY 信号のタイミングを設定します。

ａ．「＊ＡＣＫ－ＢＵＳＹタイミング＝Ａ－Ｂ」



T1	T2
4±1μsec	0±1μsec

ｂ．「＊ＡＣＫ－ＢＵＳＹタイミング＝Ａ－Ｂ－Ａ」



T1	T2
4±1μsec	4±1μsec

お願い

添付のプリンタードライバー使用時は、プリンタードライバーの余白が優先されます（頭出し位置の設定は反映されません）ので、アプリケーション側の余白設定にて調整願います。

メニュー設定初期化方法

メニュー設定の初期化を行うことで、メニュー設定項目及び調整値変更メニューの水平印字補正、改行補正以外の変更した設定値の内容を初期値（工場出荷時）に戻すことができます。

1　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　初期化を行う

改 行 スイッチ、用紙セット スイッチ、用紙カット スイッチの3つのスイッチを押しながら、プリンターの電源を入れます。
すべてのランプが、点灯 → 消灯 したことを確認して、各スイッチから手を離してください。（ 約10秒で、すべてのランプが点灯します。）

プリンターが起動したら、初期化の完了です。

第 4 章

用紙のセット

この章では、用紙のセット方法について説明します。

用紙をセットする.....4-2
連続用紙をセットする.....4-2
連続用紙をカット位置に送る.....4-9
単票用紙をセットする.....4-10
用紙厚を調整する.....4-12
印字位置を微調整する.....4-14
印字開始位置を微調整する.....4-14

用紙をセットする

このプリンターでは、連続用紙および単票用紙が使用できます。

連続用紙をセットする

連続用紙のセットは、次の手順で行います。

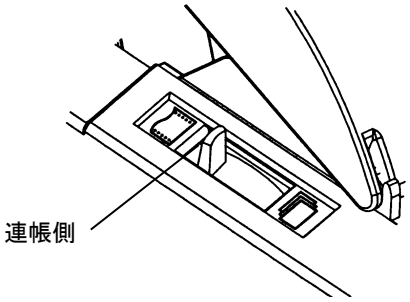
お願い

連続帳票用紙に印刷する場合はリアカバーを取り付けてください。
リアカバーを取り付けない状態で印刷すると、排出した用紙が用紙送りトラクターに巻き込まれて紙詰まりが発生する場合があります。

1 プリンターの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

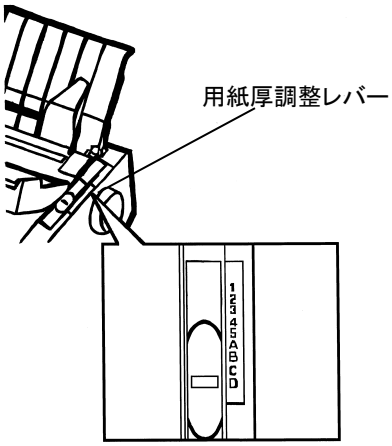
2 連帳/単票切り替えレバーを「連帳」側にセットする。



3 用紙厚レバーをセットする

使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて、用紙厚レバーをセットします。
レバーのセットは次の表を目安にしてください。

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛り
1 枚	①～②
2～3 枚	②～③
4 枚	③～④
5 枚	④～⑤
6 枚	A～C

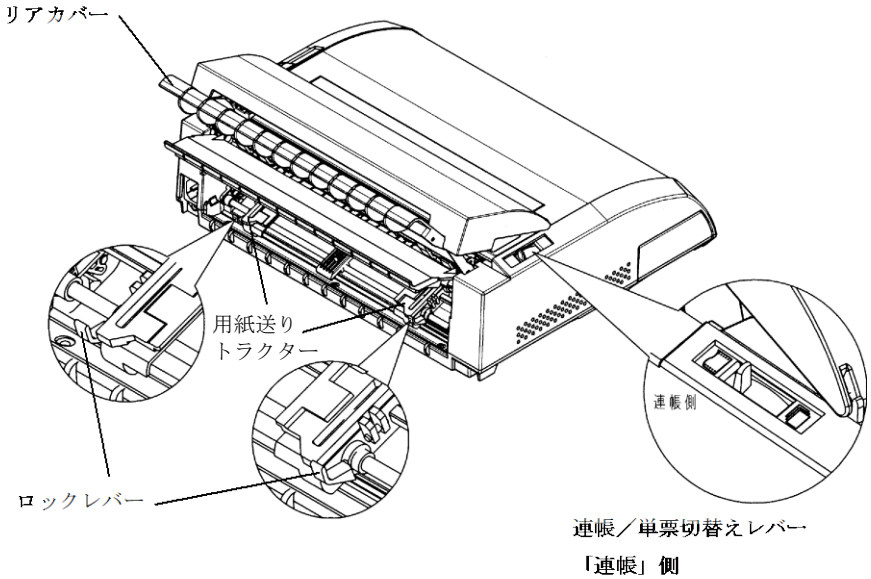


お願い

用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

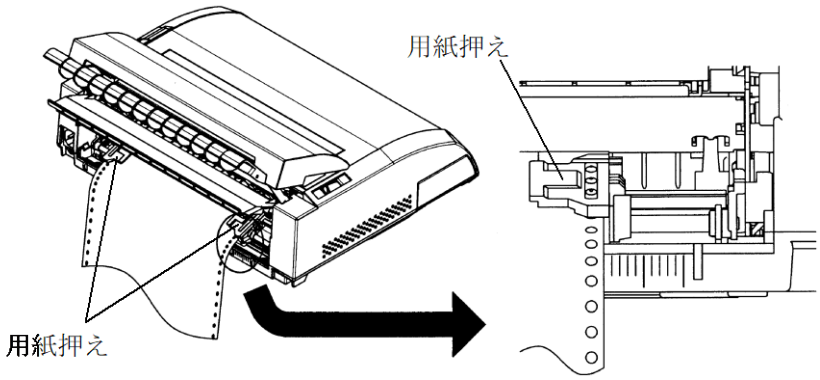
4 用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

リアカバーを開け、用紙送りトラクターのロックレバーをプリンターに向かって押し上げてロックを解除し、トラクターが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き、用紙をセットできる状態にします。

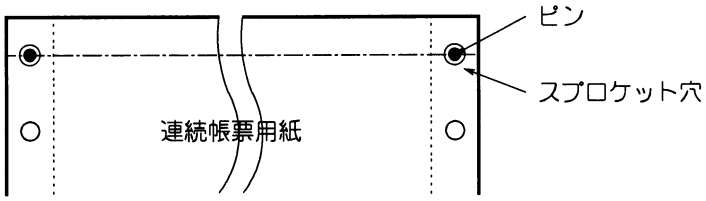


5 用紙送りトラクターに連続帳票用紙をセットする

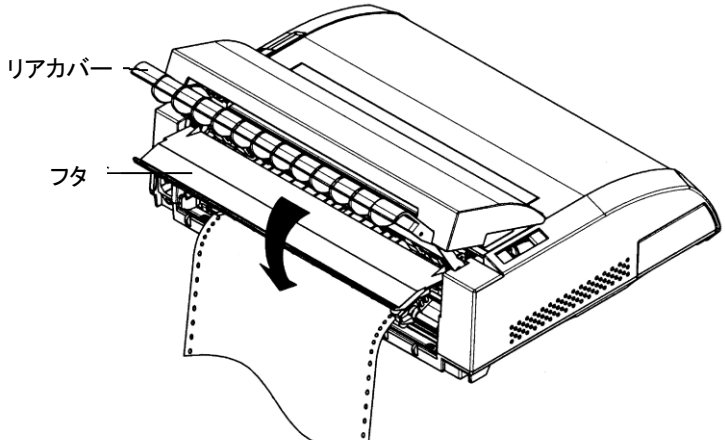
用紙送りトラクターのピンに連続帳票用紙の送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。
右側の用紙送りトラクターを下図に示す位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 11.4mm）となりますので目安にして下さい。（プリンタードライバーを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。
用紙幅が 5 インチ以下の用紙をセットする場合は、必ずトラクター位置をこの位置に合わせて用紙をセットしてください。左側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらいに位置を調整します。



用紙詰まりを防ぐために、次の点に注意してください。用紙を用紙送りトラクターにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクターの幅を調整してください。（用紙送りトラクターのピンと用紙のスプロケット穴の中心が一致するようにします。）



6 リアカバーのフタを閉じる

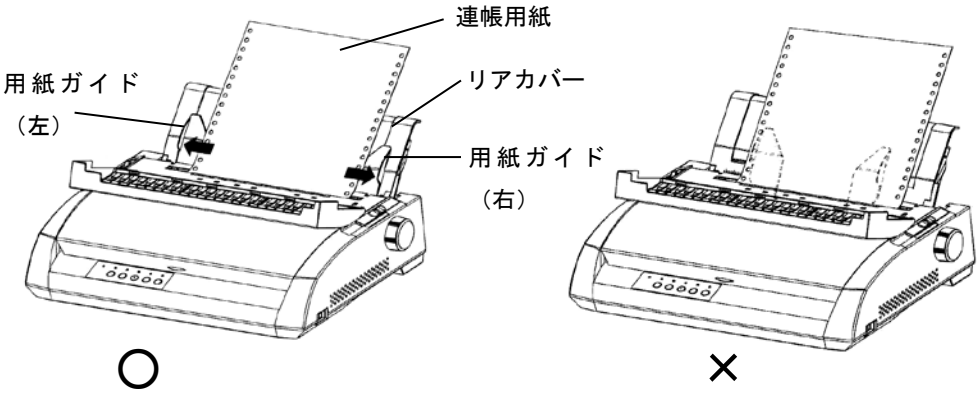


連帳用紙をセット後は、用紙の巻き込み防止のためリアカバーのフタは閉めてください。

7 連続帳票用紙を印字開始位置まで送る

オフライン状態（「オンライン」ランプが消灯した状態）で、用紙セットスイッチを押し、用紙を印字開始位置まで送ります。

連帳用紙を使用するときは、左右の用紙ガイドが紙に触れないようにしてください。
用紙ガイドは用紙の端から離した位置に移動してください。

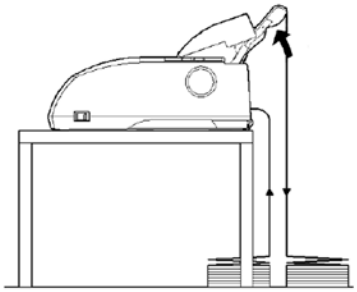
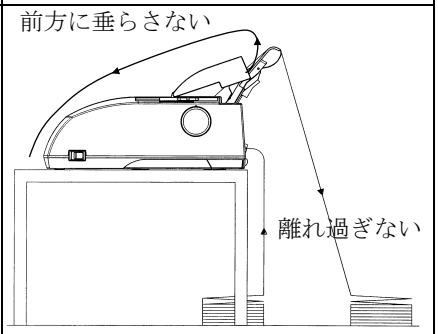
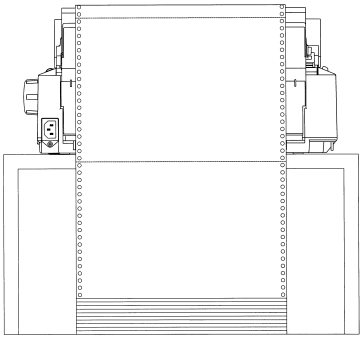
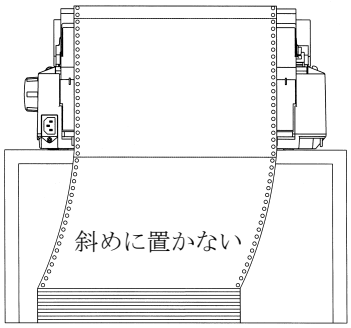


連帳用紙を吸入後は、微小改行にて用紙を送るなどして、プラテンノブを手回しで回さないでください。

連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙の流れが机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。用紙の配置に注意してください。

お願い	リアカバーを水平に倒した状態で使用すると、改行の乱れなどの原因となります。必ずリアカバーを立てた状態で使用してください。

	○	×
プリンター側面		
プリンター背面	プリンターの用紙出口と用紙の置く位置がズレないように置く。 	

連続帳票用紙の後退動作

連続帳票用紙の後退動作を連続して行うと、トラクターから用紙が外れる場合がありますので、注意して下さい。

印刷済みの用紙について

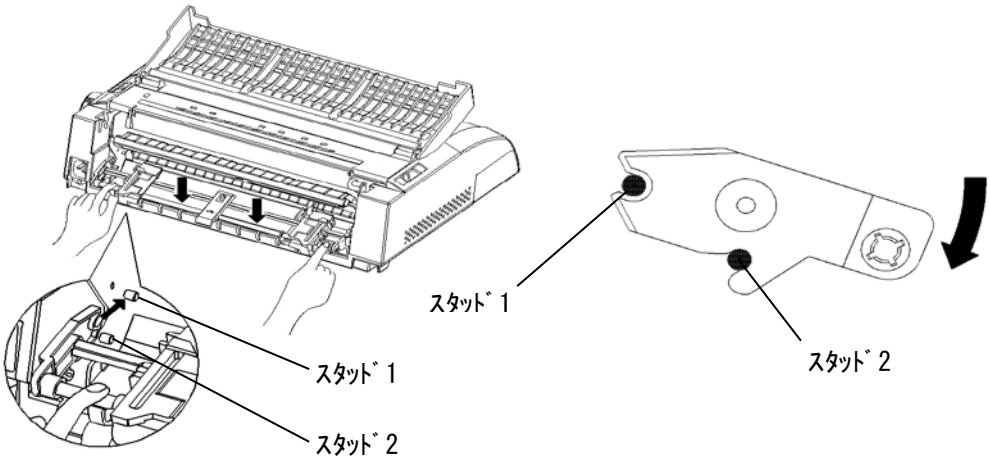
印刷済みの用紙が印字ヘッド付近に残っている状態で次の用紙をセットすると、正しく用紙をセットしない場合があります。
印刷済みの用紙を取り除いてから用紙をセットしてください。

複写用紙について

複写用紙を印刷するときは、リアカバーを立てて印刷してください。リアカバーを水平にして印刷すると、1 枚目（オリジナル）と 2 枚目以降（複写）の印字位置がズレることがあります。

トラクターユニットの取り付け

トラクターユニットが外れた場合は、以下の手順で取り付けてください。
①プリンターの電源を切る。
②リアカバー、トップカバーを開きます。
③トラクターユニットの溝をスタッド1に合わせて入れ、そのまま下に下ろしてスタッド2に
　はめ込みます。



連続用紙をカット位置に送る

連続用紙のミシン目が、カットしやすい位置（カット位置）にくるように用紙を送ります。

1 印字終了後、 用紙カット スイッチを押す

メニュー設定の「カットスイッチ動作」の設定に従い、用紙カット位置まで送られます。
メニュー設定のメニュー設定で、「1 インチカット機能」を「自動モード」に設定している場合は、印字を終了 約2秒後（または印字データを印字し終わった約2秒後）ごとに自動的に用紙カット位置まで、用紙が送られます。

2 印字済みの用紙をカットする

連続用紙のミシン目部分を押さえながら、ゆっくりカットしてください。

3 用紙を印字開始位置に戻す

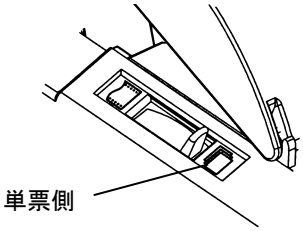
再度 用紙カット スイッチを押すと、用紙が印字開始位置まで戻ります。

単票用紙をセットする

単票用紙は、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。
単票用紙は 1 枚ずつセットしてください。
単票用紙のセットは、次の手順で行います。

紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1　連帳／単票切り替えレバーを「単票」側にセットする

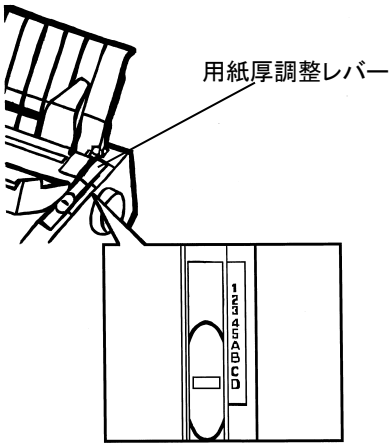


2　用紙厚レバーをセットする

使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて、用紙厚レバーをセットします。
レバーのセットは次の表を目安にしてください。

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛り
1 枚	①～②
2～3 枚	②～③
4 枚	③～④
5 枚	④～⑤
はがき	⑤※
6 枚	A～C

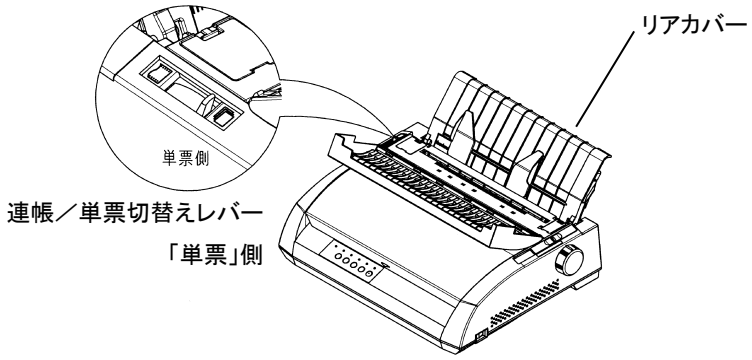
※行間ズレ（縦棒のつなぎの左右のズレ）が大きい場合には、用紙厚調整レバーの目盛りを A または B に設定してください。



お願い

用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

3 リアカバーを立てる

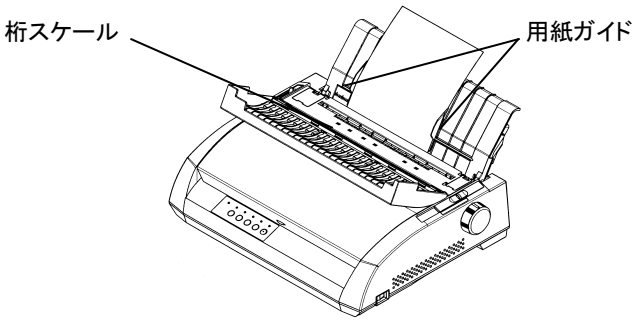


4 用紙ガイドの位置を調整し単票用紙をセットする

左側の用紙ガイドを突き当たるまで右側に寄せた位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 4～6mm）となりますので左端余白量の目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。

用紙幅が 5 インチ以下の用紙をセットする場合は、必ず用紙ガイドをこの位置に合わせて用紙をセットしてください。

右側の用紙ガイドを、用紙の幅に合わせて移動します。用紙ガイドに沿って、印刷する面を下に向け、用紙をまっすぐに入れます。

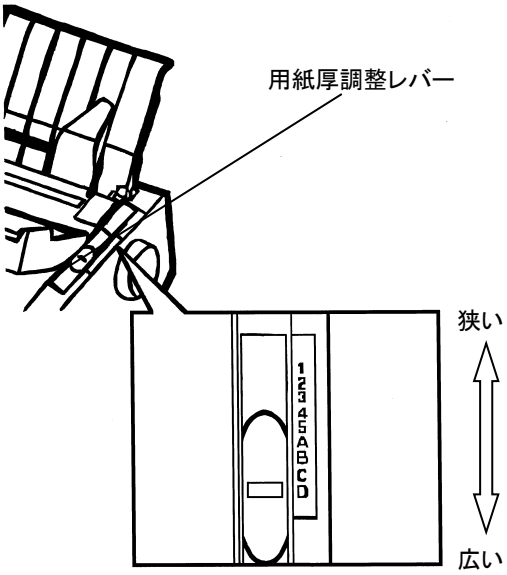


5 単票用紙を印刷開始位置まで送る

オフライン状態（「オンライン」ランプが消灯した状態）で、用紙セットスイッチを押し、用紙を印字開始位置まで送ります。

用紙厚を調整する

適切な印字をするために、用紙の厚さや枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を調整します。用紙厚調整レバーが①の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は、最も狭くなり、“D”の位置のとき最も広くなります。



用紙厚調整 レバーの目盛り	印字ヘッドとプラテンの間隔と セットできる用紙枚数 ※1
①	1 枚
②	1～3 枚
③	2～4 枚
④	4～5 枚
⑤	5 枚、官製はがき 1 枚　※2
A～C	⑤以上の広さ ⑤では印字ヘッドとプラテンの間隔が狭いときに、A～C の順に用紙厚調整レバーをセットしてみてください。
D	印字ヘッドとプラテンの間隔が最も広くなります。 リボンカセットを交換するときや、用紙詰まりを取り除くときに、用紙厚調整レバーをセットします。

※1　用紙とは、連続帳票用紙または単票用紙をさします。

※2　官製はがきは、連量 160kg とします。用紙のリボンによる汚れが気になる場合は、用紙厚調整レバーの目盛り位置をひと目盛り大きく設定してください。

お願い

使用する用紙に対して、用紙厚調整レバーのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが広すぎるとき

　印字のかすれや、印字抜けが生じることがあります。

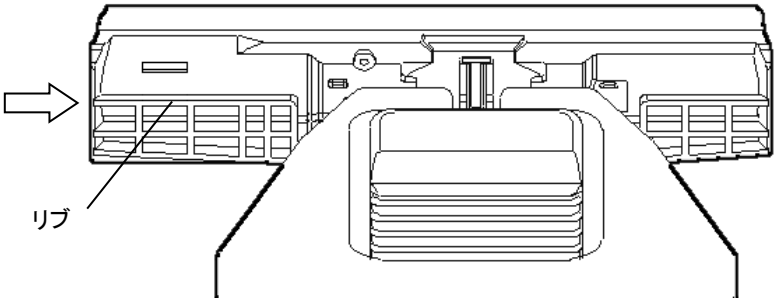
用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが狭すぎるとき

・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
・リボンによって用紙が汚れることがあります。
・用紙の送りが悪くなることがあります。
・キャリアが正常に動かないことがあります。

印字位置を微調整する

印字開始位置を微調整する

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。
印字開始位置を調整するときは、カードガイドのリブ（ ⇨ ）が文字の中心を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルのスイッチ操作で、行方向の印字位置を微調整できます。

1 プリンターをオフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 行方向の印字開始位置を微調整する

・正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

オンライン スイッチを押しながら、改　行 スイッチを押します。

正方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると、連続して正改行します。

・逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

オンライン スイッチを押しながら、改　頁 スイッチを押します。

逆方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると、連続して逆改行します。

用紙を引っ張ったり、プラテンノブを回しての微調整は行わないでください。
用紙の改行が乱れる原因となります。

行間ズレを微調整する（水平印字補正）

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。

設定の変更については、「第6章　保守と点検」の「水平印字補正」を参照ください。

カット位置を微調整する

印字を行った後、プリンターの用紙カッター位置と用紙のミシン目がずれている場合、次の方法で調整することができます。

1 用紙をカット位置まで送り出す

オンライン状態で、用紙カット スイッチを押し、用紙をカット位置まで送り出します。
カット位置を調整する場合は、用紙カット スイッチを押しつづけた状態にします。

2 カット位置を調整する

用紙カットスイッチを押したままの状態で、改　行スイッチまたは、改　頁スイッチを押し、カット位置を調整します。

改　行スイッチ ： 用紙送り量を大きくします。
改　頁スイッチ ： 用紙送り量を小さくします。
1回スイッチを押すごとに 1/180 インチ補正します。
補正できる範囲は、±63/180 インチ（約 9mm）です。

3 変更した調整を保存する

変更した調整の結果は、用紙カットスイッチから手を離すことで、プリンターに記憶されます。

第 5 章

用紙について

この章では、本プリンターで印刷できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

使用できる用紙について 5-2
手差しで使用する単票用紙 5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙 5-9
連続帳票用紙 5-15
とじ穴の開けかた 5-30
プレプリント用紙を使用するとき 5-31
取り扱い上のご注意 5-33
再生紙の利用について 5-36
使用できない用紙 5-38
帳票設計時のご注意 5-41

使用できる用紙について

本プリンターで印字できる用紙は下記の通りです。ご確認のうえご使用ください。
用紙の詳細については、「用紙の種類」をご確認ください。

使用可能用紙一覧

用紙種類 ＼ 形名・品名		普通紙		複写紙			はがき	ラベル紙	封筒用紙	宅配伝票	OA和紙
		上質紙	再生紙	裏カーボン紙	ケミカルカーボン紙	ワンタイムカーボン紙					
fit3250-H	連続紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	手差し単票	○	○	○	○	○	○	－	○	－	－
FIT3250CSF	オートシートフィーダー	○	○	－	－	－	○	－	○	－	－

(※1) ○が使用可能用紙です。

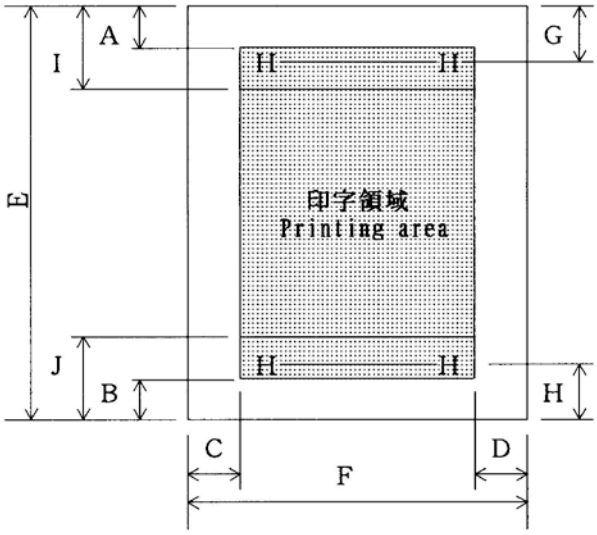
用紙の種類

用紙の種類・名称	特　　徴	
普通紙	上質紙	複写可能処理を施していない原紙。
	再生紙	古紙を利用したもの。
複写紙	裏カーボン紙	原紙の裏にカーボンを塗布して重ね合わせたもの。
	ケミカルカーボン紙（化学感圧紙）	原紙に特殊な化学薬品処理をして重ね合わせたもの。
	ワンタイムカーボン紙	複写可能処理を施してない用紙の間にカーボン紙を挟み込んであるもの。
はがき	官製はがき、往復はがき。	
ラベル紙	原紙の裏側にのりが塗布されており、剥離可能なシール状の用紙。	
封筒	用紙を張り合わせて袋状としたもの。	
宅配伝票	複写紙を張り合わせたもの。	
OA和紙	OA用の和紙。	

手差しで使用する単票用紙

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法
A	印字禁止領域	4.2mm
B	印字禁止領域	4.2 mm
C	左端印字禁止範囲	5.08 mm　注1）
D	右端印字禁止範囲	5.08 mm　注2）
E	用紙長さ	76 mm～420 mm
F	用紙幅	102 mm～420 mm
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、27.5mm ただし、0 mm～5.9mm は上端印字禁止
H	下端印字禁止範囲	5.9 mm
I，J	改行精度保証外範囲	25.4 mm

注 1）左端余白は、プリンターの第一ドットから、用紙左端までの距離です。

用紙のセット位置によって調節出来ますが、最小 5.08mm 以上確保してください。
また、用紙の幅により下記のとおり制約を受けます。
390mm 以下の用紙を使用した場合は 5.08 ～38mm
420mm の用紙を使用した場合は 38mm
また、用紙幅が 127mm 以下の媒体を使用する場合は左余白が 5.08～10mmになる位置に用紙をセットしてください。

注 2）右端余白は、印字データの最終ドット から、用紙右端までの距離です。
用紙のセット位置、用紙幅に応じて、5.08mm 以上確保してください。
用紙の幅が大きい場合、プリンターの最終ドット の位置関係により、下記の制約を受けます。
390mm 以下の用紙を使用した場合は 5.08 ～38mm
420mm の用紙を使用した場合は 38mm

注 3）用紙下端から 25.4mm の範囲内(J) では、逆改行はしないでください。

注 4）PE 検出位置は下端余白が約 4.2mm の位置です。
センサーのバラツキにより、印字途中で PE となる事が有ります。
印字途中で PE となる事を避けるため、下端余白を 8.5mm 以上としてください。
単票用紙の場合、PE 検出を無効にすることが可能です。

注 5）最大印字可能領域(幅)は 345mm です。

用紙枚数と連量

連量の単位:Kg

装置	用紙種類	複写枚数	枚数					
			１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目	６枚目
プリンター	普通紙	１枚	45～70					
	裏カーボン紙	２枚	34～55	34～70				
		３枚	34～43	34～43	34～70			
		４枚	34	34	34	34～70		
		５枚	34	34	34	34	34～55	
		６枚	(34)	(34)	(34)	(34)	(34)	(34～55)
	ケミカルカーボン紙	２枚	34～55	34～70				
		３枚	34～43	34～43	34～70			
		４枚	34	34	34	34～70		
		５枚	34	34	34	34	34～55	
		６枚	(34)	(34)	(34)	(34)	(34)	(34～55)

注 1）連量とは、四六版（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値。

注 2）裏カーボン紙及びケミカルカーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合もありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。
なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3）ワンタイムカーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4）用紙の種類及び保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうかを判断の上使用してください。

注 5）全体の用紙厚は 0.42mm 以下にしてください。

注 6）とじられた用紙の大きさは、各層ともに互いに同一になるようにしてください。

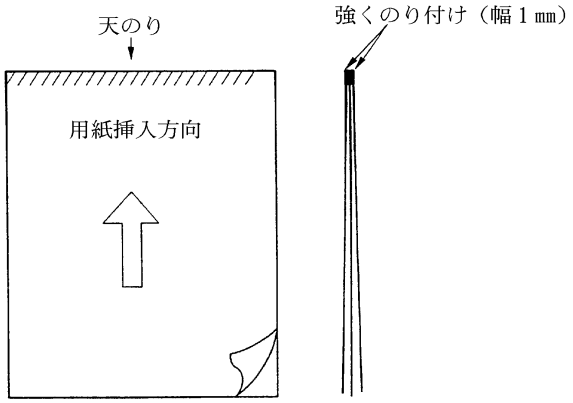
注 7）ケミカルカーボン紙の市場統一呼称として、N30(28kg 相当)、N40(34kg 相当)、 N50(43kg 相当)、N60(55kg 相当)となっていますので、いずれかを選んでください。

注 8）用紙幅が 10 インチを超える普通紙は、55kg 紙以上のものを推奨します。

注 9）（　）の用紙は高複写モードにてご使用ください。

用紙のとじ方法

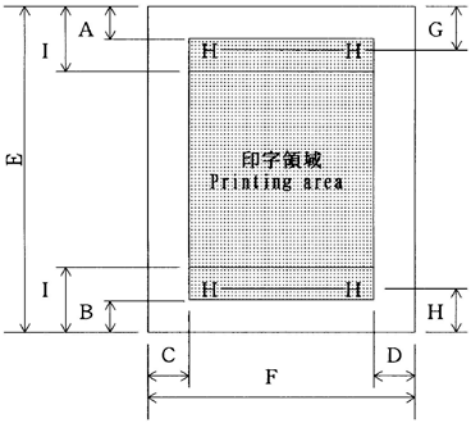
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1）のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
注 2）複写紙をする場合で、各用紙間の用紙が異なる場合、一番うすい紙を中層、次に厚い紙を上層、一番厚い紙を最下層紙としてください。

はがき

用紙サイズおよび印字領域



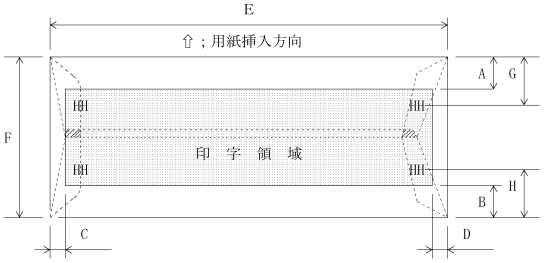
記号	項　目	寸法(mm)
A	上端余白	4.73 以上
B	下端余白	4.73 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148
G	上端打出し	6.35 以上
H	下端打出し	6.35 以上
I	改行精度 保証外範囲	25.4 以上

注 ）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

封筒

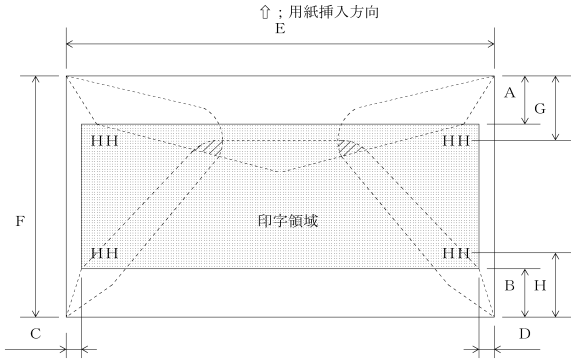
用紙サイズおよび印字領域

長形の場合



記号	項目	寸法（mm）
A	上端余白	25.4 以上
B	下端余白	25.4 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
G	上端打出し	27.1 以上
H	下端打出し	27.1 以上

洋形の場合



封筒サイズと坪量

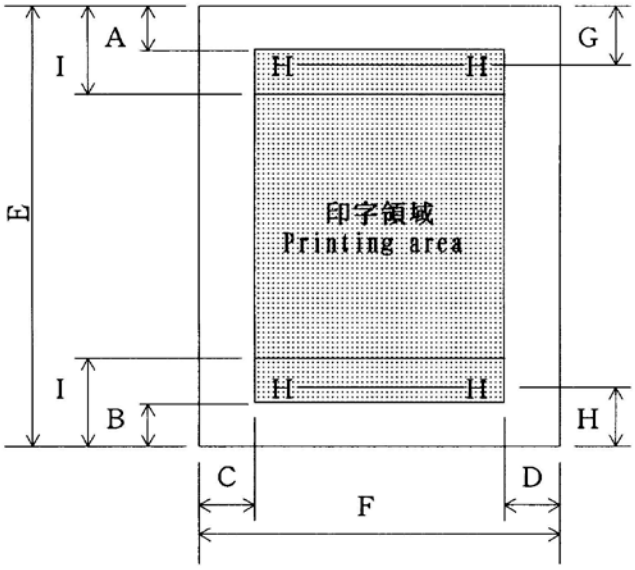
封筒の種類	寸法		坪量(g/m²)		最大用紙厚 (mm)
	E(mm)	F(mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	64	55～64	0.48
長形 4 号	205	90			
洋形 2 号	162	114		64	0.46
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ｼﾞｬｰﾏﾝﾀｲﾌﾟ	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。
注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなるため十分確認の上使用してください。
注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15㎜ 以下としてください。
注 4) のり付け部の上およびその周辺 5㎜ 以内への印字を禁止します。
注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12㎜ 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
注 9) 封筒のフラップ部（斜めの部分）は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。
注 10) 表側のみ印字可能です。裏側（フラップ側）への印字は、ジャムの原因になりますので絶対に行なわないでください。
また、印字領域の項に記載してある封筒走行方向以外の用紙送りはしないでください。
注 11) 窓付き封筒は、紙ジャムの原因になりますので使用出来ません。
注 12) 二重封筒は、リボン汚れ、紙ジャムの原因になりますので使用出来ません。

オートシートフィーダーで使用する単票用紙

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域



用紙幅	名称	寸法(mm)
A	印字禁止領域	4.2mm
B	印字禁止領域	4.2mm
C	左端印字禁止範囲	5.08mm　注 1)
D	右端印字禁止範囲	5.08mm　注 2)
E	用紙長さ	182mm～364mm
F	用紙幅	182mm～364mm
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、 14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、 25.4mm、27.5mm、 ただし、0mm～5.9mm は上端印字禁止
H	下端印字禁止範囲	5.9mm
I	改行精度保証外範囲	25.4mm

注 1）左端余白は、プリンターの第一ドットから、用紙左端までの距離です。
用紙のセット位置によって調節出来ますが、最小 5.08mm 以上確保してください。
注 2）端余白は、印字データの最終ドット から、用紙右端までの距離です。
用紙のセット位置、用紙幅に応じて、5.08mm 以上確保してください。
注 3）用紙下端から 25.4mm の範囲内(l) では、逆改行はしないでください。
注 4）PE 検出位置は下端余白が約 4.2mm の位置です。
センサーのバラツキにより、印字途中で PE となる事が有ります。
印字途中で PE となる事を避けるため、下端余白を 8.5mm 以上としてください。

ホッパー容量目安
一般用紙（55kg、1枚）　約160枚

用紙枚数と連量

自動給紙の場合

連量の単位:kg

用紙種類	複写		枚		数	
	枚数	１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目
普通紙	１枚	55～70	―	―	―	―

手差しモードの場合

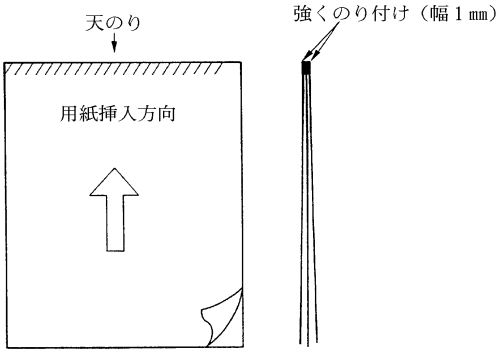
連量の単位:kg

用紙種類	複写		枚		数	
	枚数	１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目
普通紙	１枚	55～70	―	―	―	―
裏カーボン紙	２枚	34～55	34～70	―	―	―
	３枚	34～45	34～45	34～70	―	―
	４枚	34	34	34	34～70	
	５枚	34	34	34	34	34～55
ケミカル カーボン紙	２枚	34～55	34～70	―	―	―
	３枚	34～45	34～45	34～70	―	―
	４枚	34	34	34	34～70	―
	５枚	34	34	34	34	34～55

注 1）連量とは、四六版（788 ㎜×1091 ㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。
注 2）ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合もありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。
注 3）中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

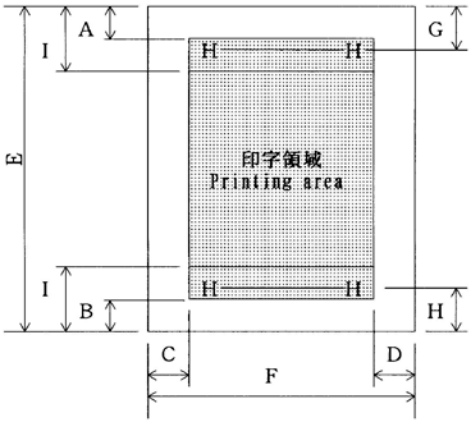


注 1）のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

注 2）束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

はがき

用紙サイズおよび印字領域



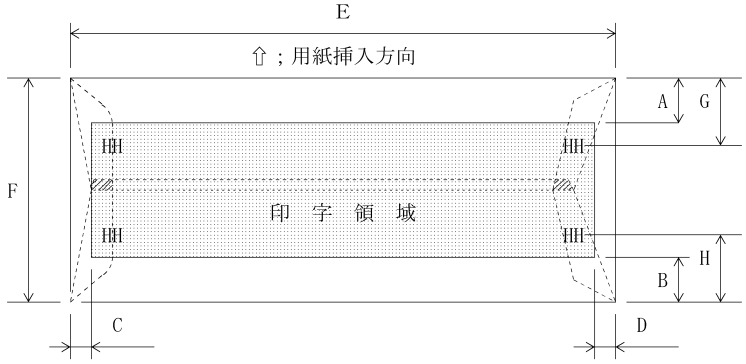
記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	4.73 以上
B	下端余白	4.73 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148
G	上端打出し	6.35 以上
H	下端打出し	6.35 以上
I	改行精度 保証外範囲	25.4

注 ）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
　　私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

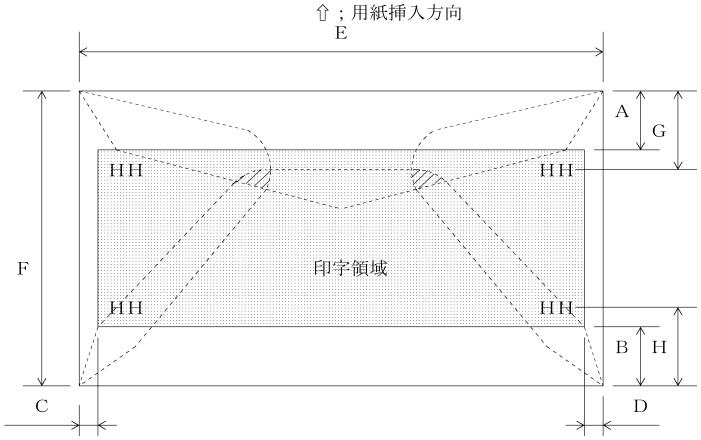
封筒

用紙サイズおよび印字領域

長形の場合



洋形の場合



記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	25.4 以上
B	下端余白	25.4 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
G	上端打出し	27.1 以上
H	下端打出し	27.1 以上

封筒サイズと坪量

封筒の種類	寸法		坪量（g/m²）		最大用紙厚（mm）
	E（mm）	F（mm）	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	64	55～64	0.48
長形 4 号	205	90			
洋形 2 号	162	114		64	0.46
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ｼﾞｬｰﾏﾝﾀｲﾌﾟ	220	111			

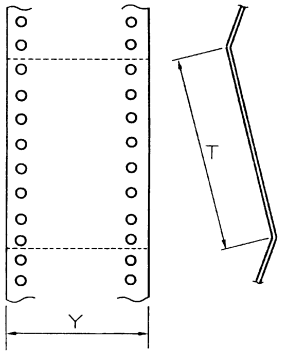
注 1）印字領域以外への印字を禁止します。
注 2）封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなるため十分確認の上使用してください。
注 3）印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 4）のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
注 5）フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
注 6）フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
注 7）切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
注 8）斜線部への印字は、リボン汚れが発生しやすいので避けてください。
注 9）封筒のフラップ部（斜めの部分）は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。
注 10)表側のみ印字可能です。裏側（フラップ側）への印字は、ジャムの原因になりますので絶対に行なわないでください。
また、印字領域の項に記載してある封筒走行方向以外の用紙送りはしないでください。
注 11)窓付き封筒は、紙ジャムの原因になりますので使用出来ません。
注 12)二重封筒は、リボン汚れ、紙ジャムの原因になりますので使用出来ません。

連続帳票用紙

このプリンターで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



記号	寸法
Y （用紙幅）	101～406 （4～16 インチ）
T （折畳み長さ）	101～356 （4～14 インチ）

用紙枚数と連量

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

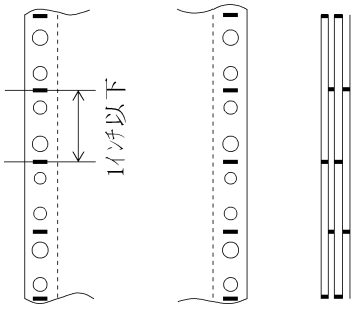
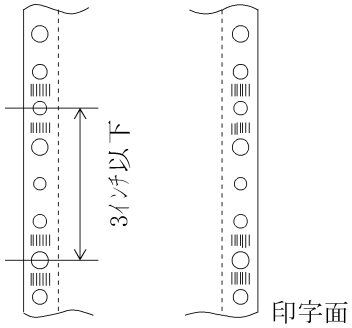
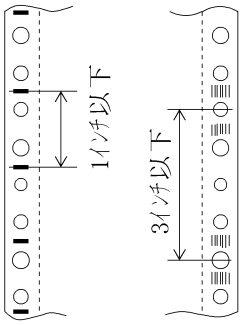
連量の単位:kg

用紙種類	複写			枚	数		
	枚数	１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目	６枚目
普通紙	１枚	45～70	―	―	―	―	―
裏カーボン	２枚	34～45	34～70	―	―	―	―
	３枚	34～45	34～45	34～70	―	―	―
	４枚	34	34	34	34～70	―	―
	５枚	34	34	34	34	34～55	―
	６枚	(34)	(34)	(34)	(34)	(34)	(34～55)
ケミカル	２枚	34～43	34～70	―	―	―	―
カーボン紙	３枚	34～43	34～43	34～70	―	―	―
	４枚	34	34	34	34～70	―	―
	５枚	34	34	34	34	34～55	―
	６枚	(34)	(34)	(34)	(34)	(34)	(34～55)
ワンタイム	２枚	30～45	30～70	―	―	―	―
カーボン紙	３枚	30～40	30～40	30～55	―	―	―
	４枚	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～55)	―	―

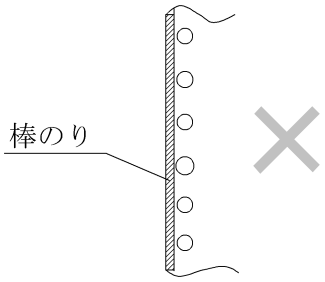
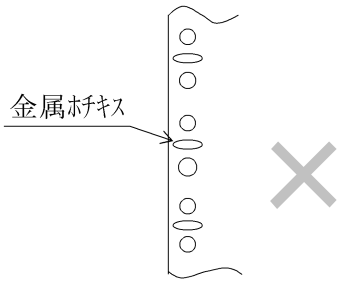
注 1) 連量とは、四六版（788 ㎜×1091 ㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値。
注 2) ケミカルカーボン紙及び裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があるため表の数値に近いものを選んでください。
なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
注 3) ワンタイムカーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4 枚までとしてください。
注 4) 用紙の種類及び保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうかを判断の上使用してください。
注 5) 全体の用紙厚さは、0.42㎜ 以下としてください。
注 6) とじられた用紙の大きさは、各層ともお互いに同一になるようにしてください。
注 7) ケミカルカーボン紙の市場統一呼称として、N30(28kg 相当)、N40(34kg 相当)、 N50(43kg 相当)、N60(55kg 相当)となっていますのでいずれかを選んでください。
注 8) 用紙幅が 10 インチを超える普通紙は、55kg 紙以上のものを推奨します。
注 9) （　）の用紙は高複写モードにてご使用ください。

用紙のとじかた

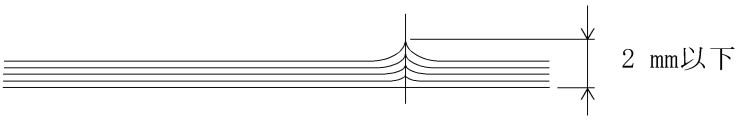
連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「のり付け両側とじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法		適用する用紙枚数	備　考
両側点のりとじ		6枚まで	・本プリンターに最も適したとじ方です。
両側紙ホチキス		3枚まで	・用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。 ・紙ホチキスがシングル閉じの場合、相間ズレや搬送不良が発生することがありますので、使用しないでください。
片側点のり＋片側紙ホチキス		3枚まで	・上記方法の組合せです。 ・片側紙ホチキスがシングル閉じの場合、相間ズレや搬送不良が発生することがありますので、使用しないでください。

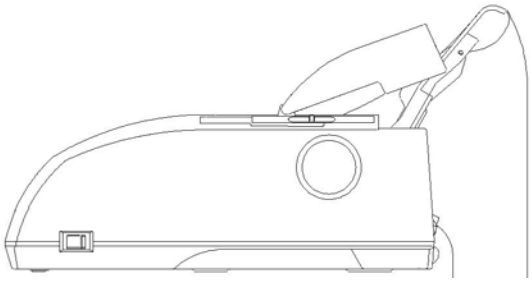
注１）用紙のとじ方法は前頁の他に下記方法がありますが、それぞれに不具合がありますので、使用しないでください。

綴じ方法		備　考
棒のりとじ		・この方法は、用紙のしなやかさが失われ、かたくなってしまうので、用紙ジャム等の原因になります。
金属ホチキス		・この方法は、用紙走行経路での引っかかりによる用紙ジャム等の原因になります。また、あやまってこの金属ホチキスの上に印字してしまった場合に、印字ヘッドのワイヤを折損させてしまう場合があります。

注２）完成した用紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように２㎜以下になるようにしてください。



注3）帳票のスプロケット穴の層間でのズレは、0.４㎜以下のものを使用してください。
注4）連続帳票使用時は、単票ガイドを立てた状態で使用してください。



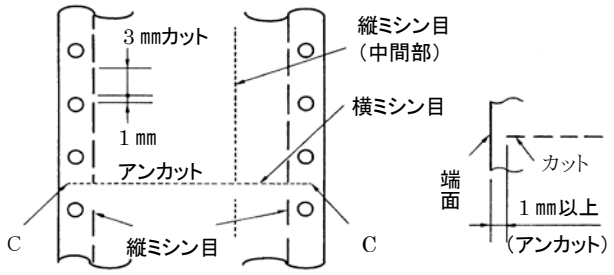
連続帳票使用例

ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に 1 枚用紙の場合、次の目安を守らないと使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

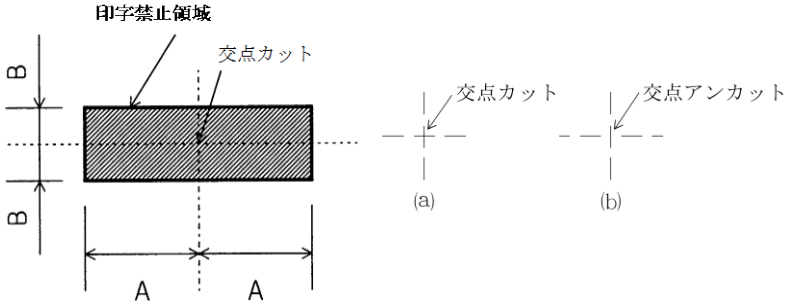
- 1 枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約 3:1 にしてください。
- 横ミシン目のアンカット寸法（両端部 C）は、1mm 以上にしてください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1）縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされている（交点カット（a））とき、下図に示す斜線部には印字しないでください。
これを守らないと、用紙にキズがついたり、プリンターが故障する場合があります。

注 2）縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない（交点アンカット（b））ときは、印字禁止領域の制限はありません。

注 3）印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも適用してください。



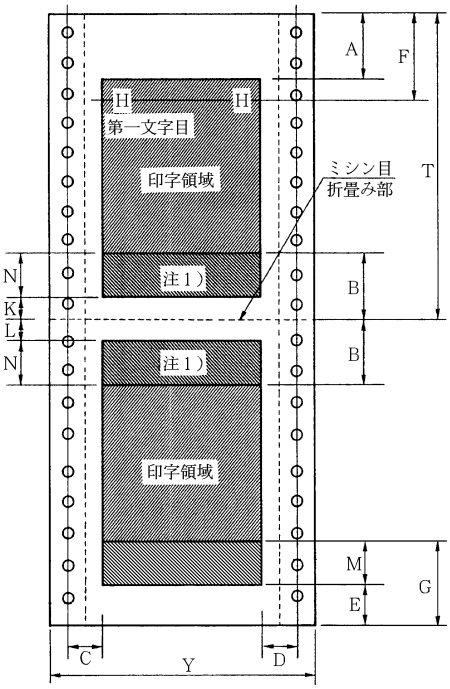
単位（㎜）

記号	A	B
寸法	28 以上	3 以上

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項目	寸法(mm)
A	印字禁止領域	4.2mm（注 2）
B	印字禁止領域	25.4mm
C	左端印字禁止範囲	12.7mm
D	右端印字禁止範囲	12.7mm
E	PE 検出（最小値）	約 4.2mm
F	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 2.1mm 、4.2mm 、6.4mm 、8.5mm 、10.6mm 、12.7mm 、14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、27.5mm、29.6mm、31.8mm ただし、0mm～5.9mm は上端印字禁止
G	PE 検出位置	約 85mm
Y	用紙幅	101mm～406mm
T	用紙長さ	101mm～356mm
K	印字ヘッド移動禁止範囲	4.2mm
L	印字ヘッド移動禁止範囲	4.2mm

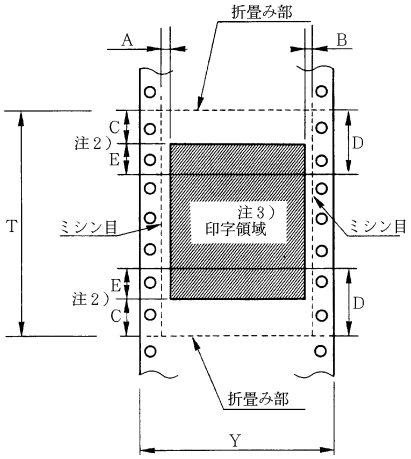
注 1）Ｎの範囲内に印字することは可能ですが、改行精度の低下がおきる場合があります。

注 2）Ａの範囲では印字ヘッドの横移動はさせないでください。
（用紙のフクラミなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）
注 3）上下端余白は最小 4.2㎜ まで印字可能ですが、改行が乱れる事があります。
（改行量が 1/6 インチ以上の場合は､隣り合う印字の文字同士が重なり合うことはありません。）
上下端余白は 25.4㎜ 以上を推奨します。
注 4）Ｃは下記のように用紙幅により範囲が限定されます。
用紙幅 15.5 インチ以下の場合 5.08 ～32 ㎜
用紙幅 16.5 インチの場合は 32㎜
また、用紙幅が 5 インチ以下の媒体を使用する場合はＣが 5.08～10ｍｍになる位置に用紙をセットしてください。
注 5）Ｄについては用紙幅と印字桁数によりますが、最小 5.08㎜ とします。
注 6）Ｍの範囲は押し込みトラクタから外れるため、改行が乱れる事が有ります。
本範囲での逆改行は禁止します。
特殊用紙を使用した場合、改行不良を起こす事が有ります。
その場合、メニュー設定でＰＥ検出位置を″80㎜ ″に変更して、印字を中止する様にしてください。
注 7）印字領域内にミシン目が有る時は、ミシン目から 5.08㎜ 以上離して印字してください。
ミシン目に印字を行なうと印字ヘッドが破損したり、リボンが破れる事が有ります。
注 8）ＰＥ検出ポイントは下端余白約 4.2㎜ の位置ですがセンサーのバラツキにより、印字途中でＰＥが発生した場合は、下端余白 4.2㎜ の位置まで、オーバーライド印字が可能です。
注 9）最大印字可能領域(幅)は 345㎜ です。

はがき用紙

このプリンターで連続帳票のはがき用紙を使用できます。

用紙サイズおよび印字領域

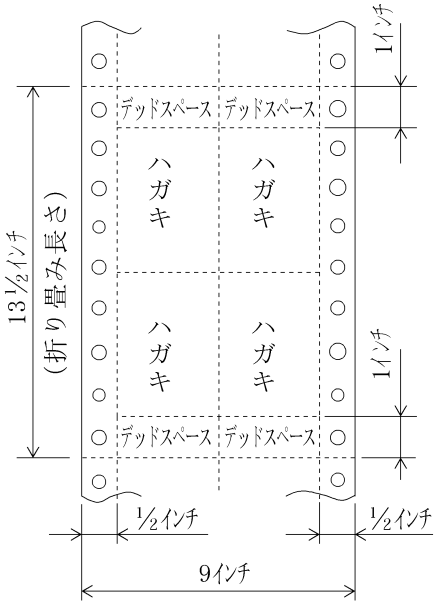


記号	項目	寸法(mm)
A	左端印字開始位置	5.08
B	右端最終印字位置	5.08
C	印字禁止領域 注 1）	8.46 注 2）
D	印字可能領域	25.4 注 2）
Y	用紙幅	229～330 （9～13 インチ）
T	用紙長さ	203～356 （8～14 インチ）

注 1）C 領域では印字ヘッドの横移動はさせないでください。
（用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）
注 2）E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。
注 3）印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。
注 4）ミシン目の入れ方は一般連続帳票と同様です。ただし、折り畳み部以外のミシン目は、カット及びアンカット比を 2:1 にしてください。
注 5）用紙連量は 135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

用紙形式について

印字行乱れや、用紙ジャム、折り畳み付近での印字音が大きくなるなどのトラブルを防止する為、下記用紙形式を推奨する。



用紙連量

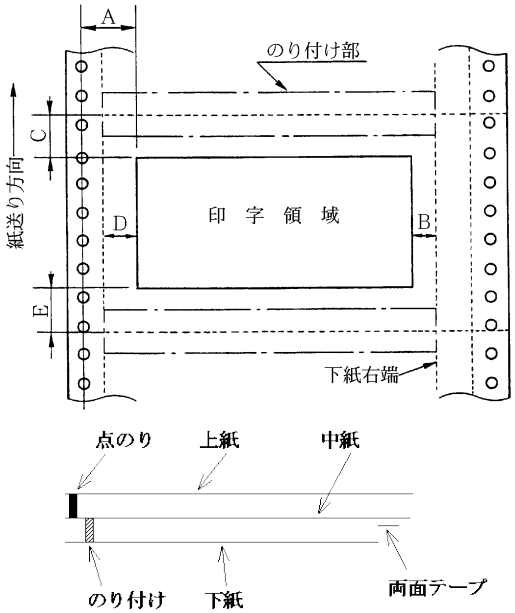
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

ミシン目の入れ方

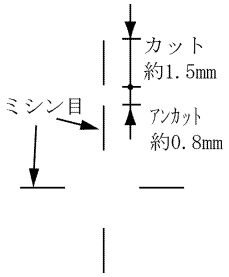
一般用紙と同様です。

封筒用紙

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	19 以上(3/4 インチ)
B	1 以上(1/25 インチ)
C	8.46 以上(1/3 インチ)注2
D	5.08 以上(1/5 インチ)注1
E	21.7 以上(5/6 インチ)

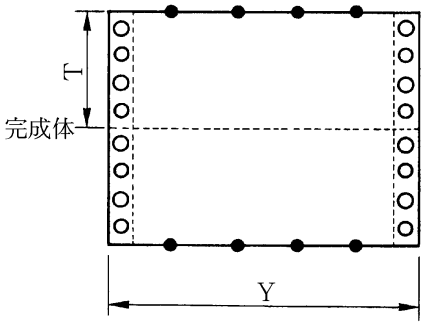


注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。
注 2) ミシン目の寸法は、右上図のとおりとしてください。
　　(ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)
注 3) のり付けの幅は、4.23mm 以下とします。
注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。
注 6) のり付け用両面テープは、印字紙送り中はずれないものとします。

紙質構成および連量

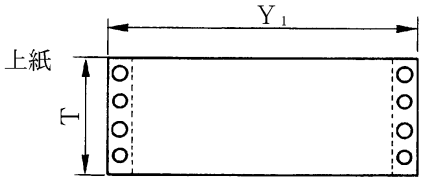
	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ケミカルカーボン紙	ケミカルカーボン紙
連量(kg)	33.5	70	70

形状および構造



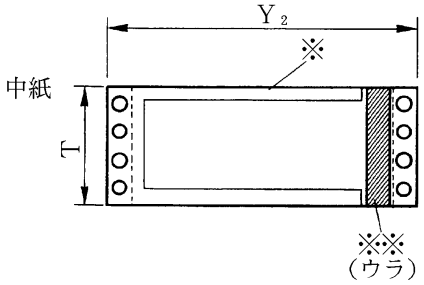
ミシン目

ミシン目＋折り目



(a)大きさ

記号	寸法(mm)
T	127(5 インチ)
Y	254(10 インチ)
Y1	254(10 インチ)
Y2	254(10 インチ)
Y3	229(9 インチ)

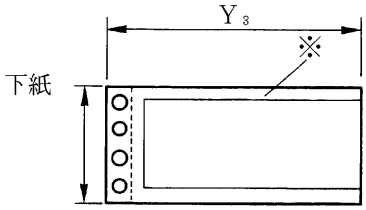


(b)とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端／ 上下端 4.23mm (※印)

両面テープ使用(※※印)

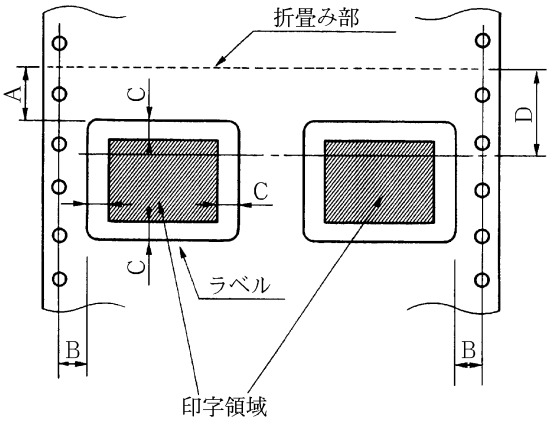
銘柄		アスコットテープ
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



ラベル用紙

ラベル用紙は、使用する環境や用紙メーカにより、特性が異なりますので、ラベルはがれがないか運用テストを実施し、問題ないことをご確認してから使用してください。

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	2.54 以上 （1/10 インチ）
B	6.35 以上 （1/4 インチ）
C	2.54 以上 （1/10 インチ）
D	25.4 （1 インチ）注 1）

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

注 1）Ｄ範囲内では印字精度が低下する場合があります。

用紙厚さ

・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。

・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。

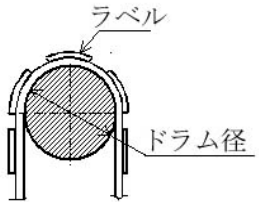
・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

ラベルの貼付け強度

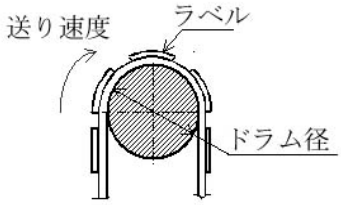
・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。

低温、低湿環境で放置したラベル紙は、はがれやすい場合があります。

印字確認の上、ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



項目	条件
巻付ドラム経	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	5～40℃
周囲湿度	30%RH



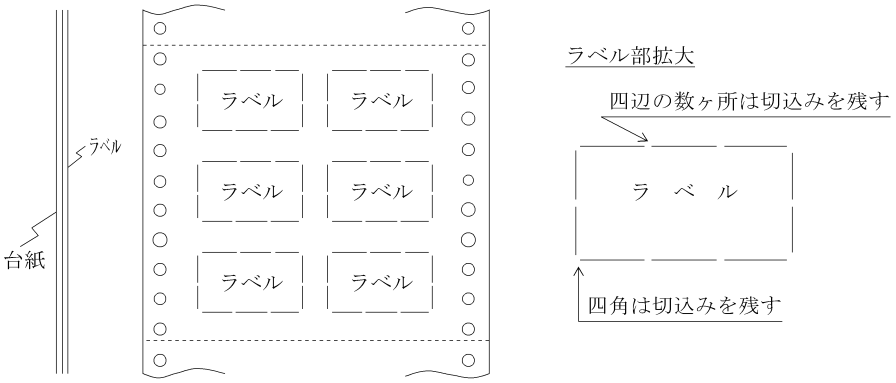
項目	条件
巻付ドラム経	φ27mm
巻付角度	180°
送り速度	5.6IPS
周囲温度	5～40℃
周囲湿度	30%RH

用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

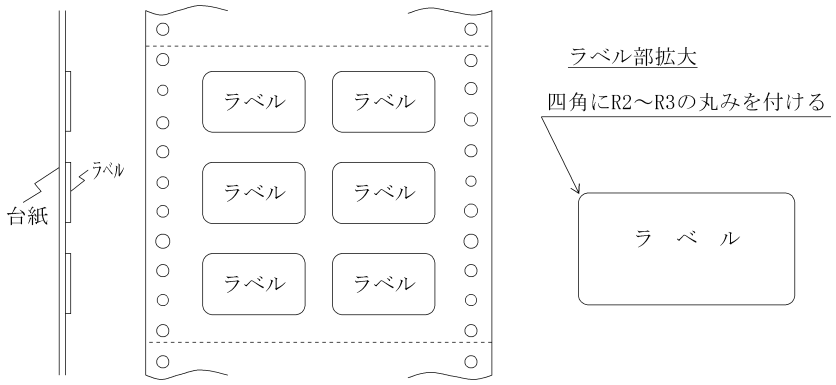
(1)カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に貼られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

(2)カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。

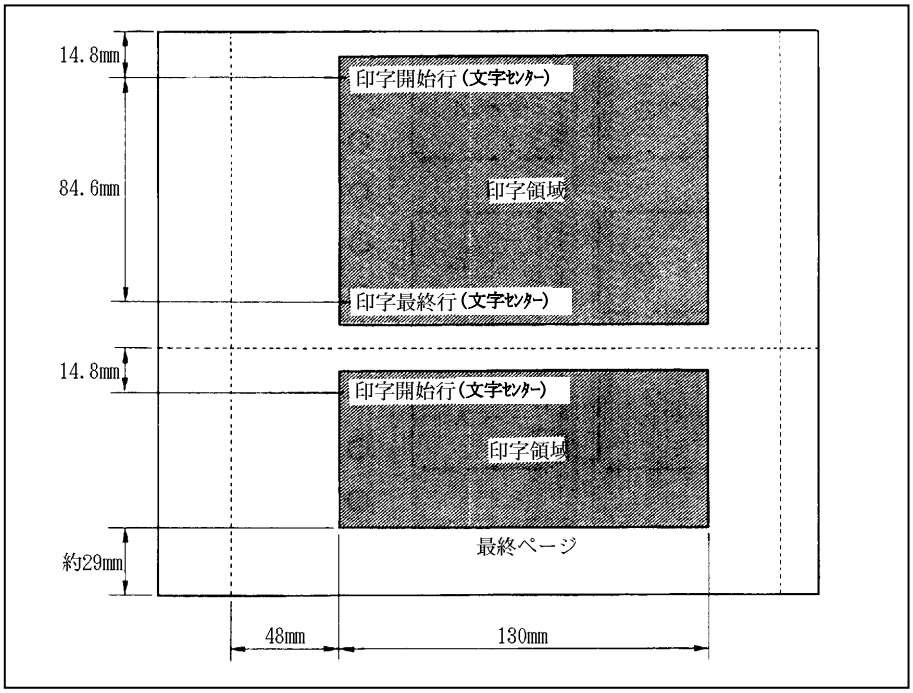


宅配伝票

ここでは宅配伝票について規定します。

宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

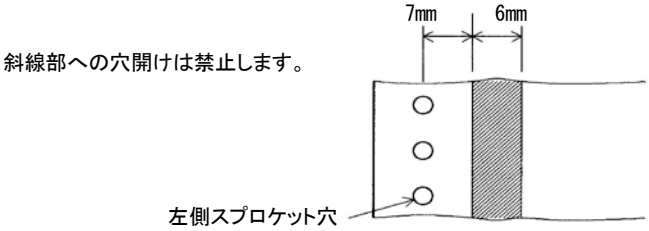
印字領域



注 1）用紙の寸法、構成枚数、用紙のとじ方は、連続帳票と同じです。
注 2）全体の用紙厚は、0.42mm 以下としてください。
注 3）はがきを含む宅配伝票は使用できません。
注 4）印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 5）印字領域外への印字は禁止します。
注 6）折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

とじ穴の開けかた

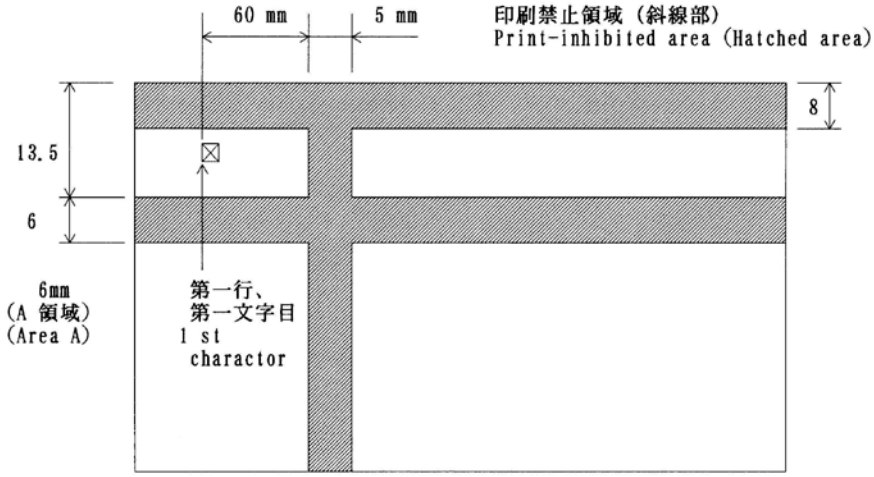
・印字領域内にとじ穴を開けないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08mm を避けて印字してください。
・とじ穴の径は 6mm 以下にしてください。長円穴の場合は長径側を 6mm 以下にしてください。
・連帳にとじ穴を開けるときは、前記以外に次の制限があります。



プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。
下記規定から外れている用紙を使用された場合には、プリンターが用紙なしを誤検出することがあります。

（1）　光反射率 60％以上のプレ印刷にしてください。
（2）　媒体に光反射率 60％以下の色（例えば黒）を印刷する場合は、下図斜線部内をさけてください。
本プリンターは、キャリッジ上にあるフォトセンサーにより用紙の幅と上下端の検出を行ないます。斜線の領域に黒色などのプレ印刷がありますと反射光量が減少し、検出できなくなる場合がありますので注意してください。

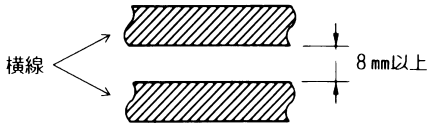


プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ず斜線部に印刷するときは、次のようにしてください。

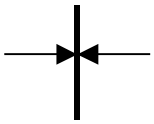
・斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。

・上記）の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを8mm 以上あけてください。



注）線の太さが 0.5㎜ 以下のときは、すきまが 4㎜ 以上でも可能です。

・ 6mm 幅の斜線内に印刷される縦線の太さについては、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。



太さ 0.5mm以下

・ 斜線内に文字を印刷する場合には、その種類、大きさ、線の太さ、並び等、種々雑多ですので、あらかじめ使用可能であることを確認してから使用してください。

・ A領域のプレ印刷制約条件は、用紙幅検出有効時のみ必要であり、用紙幅検出無効の場合はA領域の制約条件はなくなります。
（用紙幅検出はメニュー設定によって有効／無効が選択可能となっております。）

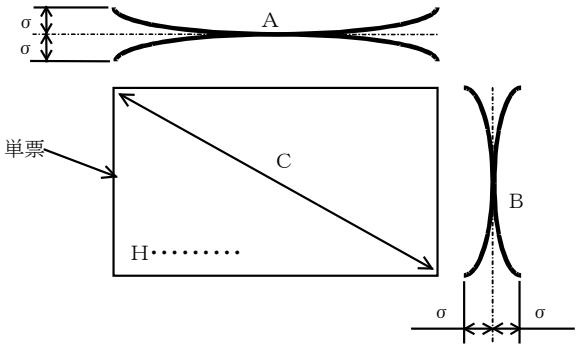
（3）単票のペーパーエンド検出機能がカットされている場合には、（2）の図で示す様に用紙上端から8mm 以上離してください。
その他の項目（用紙下端からの位置、線の太さ、間隔等）については制約は有りません。

取り扱い上のご注意

単票取り扱い上の注意

（1）用紙のセットは装置に取付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。

（2）単票のそりは、用紙の特性の他に取り扱い方の不備によって発生することがあります。単票のそりについては、下記条件を満たすものを使用してください。



記号	方向	そり量（σ）
A	幅方向	4mm 以下
B	長さ方向	4mm 以下
C	対角線方向	4mm 以下

ただし、上記の値は、単票全体にわたってのそりであり、部分的な曲がりやしわも送り不良の原因となるので、取扱い時の注意が必要です。また、1枚1枚のそりが少ない場合でも、ある程度単票を積み重ねると全体にそっていることがあります。この場合のそりは、単票を 50mm の厚さに重ねた状態で測定し、上記の規定を満たすことが必要です。

（3）用紙が大きくそっているものは、修正してから使用してください。

（4）用紙を保管する場合は水平に置き、そりが生じない様に用紙サイズよりやや大きめの平らな重りを載せて均一な圧力をかけておく様にしてください。また、単票は、1,000 枚以上積み重ねないようにしてください。

（5）用紙は風通しの良い場所に置き、直射日光や暖房器具からの副射熱が当たらない様にしてください。

オートシートフィーダー取り扱い上の注意

（1）次の用紙は、基本的に使用しないでください。使用時には事前テストを十分におこないバックアップ機の準備を行った上で使用してください。

・ラベル紙

・ミシン目、とじ穴のある用紙

・コーナーにRのついている用紙

・折れ曲がりのある用紙

・厚紙

・一度使用した裏紙　など

（2）ホッパーへの用紙セットは、装置に取り付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。

（3）ホッパーには必ず同一寸法、同一紙質の用紙をセットしてください。異なった寸法や紙質、また、縦横を混在して使用しないでください。
（ホッパー内の用紙は極力同一メーカーの同一ロットとし、スキ方向を一致させてください。）

（4）用紙が規定より大きくそっているものは、修正してください。

（5）外周切断面は凹凸がなく、直線であること。
ケバ等がある用紙は使用できません。

（6）バラバラになった用紙を集めたもの、複写用紙の裏紙などは使用しないでください。

（7）再生紙は特に痛みやすいので、取り揃える枚数は一度に 160 枚程度としてください。

（8）ホッパーへの用紙セットは、必ず裁いてから行ってください。

（9）ホッパーに用紙を補給するときは、残りの用紙を一度取り出し、補給する用紙を下側にして再セットしてください。

（10）ホッパーの用紙残量が少ないと、用紙の送りが不安定になることがあります。
最終部の用紙は使用しない様にし、用紙残量が 10 枚程度になったら補充してください。

（11）印字後用紙がカールしているときは、スタック部の印字済み用紙が 10 部程度になったら取り除いてください。

（12）用紙はローラーで搬送しているためローラーの跡がつくことがあります。

特殊用紙について

(1) 紙厚の変化する用紙(段差等のある用紙)は印字ヘッド損傷の原因となりますので使用しないでください。

(2) 裏カーボン紙の複写は、低温時において、薄くなることがあります。

(3) ラベル紙を使用する場合、ラベル紙のはがれを防止するために、プラテンに巻き付けたまま放置しないでください。また、ラベル紙をプリンターにセットした状態で単票への印字(セット)は行わないでください。

(4) この章に記述した仕様に合わない特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。

(5) 再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止して紙質の良いものに変更してください。

用紙の保管および取り扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じにないように注意してください。

・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。

　高温、多湿の場所

　直射日光の当たる場所

　火気のある場所

・用紙をプリンター内部にセットしたまま、長時間放置しないでください。

再生紙の利用について

再生紙の仕様

項　目	仕　様
用紙寸法 （用紙サイズ）	連続紙：用紙幅 254mm（10 インチ）×用紙長さ 279mm（11 インチ） 単　票：A4サイズ（210mm×297mm） A3サイズ（297mm×420mm） B4サイズ（257mm×364mm）
連　量	55kg 相当紙
用紙の重ね合わせ枚数 （用紙部数）	1部紙（オリジナルのみ）とする。
ミシン目 （中間ミシン目）	中間ミシン目（横ミシン目、縦ミシン目）は 使用しないこと。

再生紙の特徴

再生紙は、製紙会社によりかなり品質のバラツキがあります。下表に示すように、再生紙の特性上、不具合を発生させやすいため、ご使用にあたっては本書記載の上質紙での規定に加え、運用テストを充分に行って、業務に支障のない運用形態で使用してください。

特徴（上質紙との差）	不具合内容
・白色度が低い ・紙粉が多い ・温度の影響を受けやすい ・引っ張り強度、剛度が弱い ・紙厚が厚くなる ・表面強度が低い	・用紙強度、剛度が弱いため、単票紙でのカールや先端折れなどからなる改行精度への影響や用紙詰まりの発生。 ・吸湿しやすいため用紙カール量、しわ、折れが増大し、また、にじみや汚れ重送、給紙ミスや用紙詰まりの発生。 ・紙粉、抜きカスなどによる印刷品質への影響、給紙ミスや各種センサー系の誤検出。 ・用紙強度、剛度が弱いため、スタック性、折りたたみ性が劣る。

また、再生紙の取扱いにおいては、次の点もご留意ください。

再生紙の利用環境

常温、常湿の環境でご使用ください。

再生紙の取り扱い

・現状では、長期保存性に劣るため、保存文書等へのご使用は避けてください。
・変色しやすいため、できるだけ直射日光は避けてください。
・紙厚が若干厚いため、自動給紙機構への用紙セット枚数は少なくなります。
・紙粉が多いため各機種の取扱い説明書に記載されている清掃、点検を確実に実施してください。
・用紙を装置に装填したままで、長期間放置しないで下さい。印刷しない場合は用紙を取り外し、ポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。

再生紙の購入・保管

・再生紙は、原料として使用されている古紙によって品質が大きく変化します。
このため、再生紙を大量に購入される場合は、事前に実機によるテスト(運用に支障がないことの確認)を実施されることをお勧めします。
・再生紙は空調された室内に保管し、包装を開封した用紙は速やかに使用してください。
また、残った用紙はポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。
なお、空調がない場合は、使用環境で24時間以上馴染ませてからご使用ください。
・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。
　高温、多湿の場所
　直射日光の当たる場所
　火気のある場所

紙質

再生紙を使用する場合、用紙の吸湿による剛性低下、紙粉による媒体検出への影響、改行精度の低下などの問題点がありますので、十分確認の上使用してください。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。
最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

・折り目、しわのあるもの、湾曲したものは、使用しないでください。
・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
・切り抜き部分や窓のある紙
・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
・浮き彫りのある紙
・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
・複写紙において、オリジナルと複写紙で極端に大きさの異なる紙、または部分的に極端に用紙厚が異なる紙
・端または角が破れていたり、折れている紙
・表面が光沢処理されている紙
・表面がコーティングされ、絵柄などが印刷されている用紙を使用すると、用紙にインクが充分浸透しないため、印刷面が汚れるなどの給紙不良が起こる場合があります。
・一度印字した用紙は、使用しないでください。斜行、紙詰まりなどの原因になります。

制限事項

・紙質は、上質紙をご使用ください。
とじ穴つき用紙、コーナーカット帳票用紙、ミシン目付き単票用紙、色紙などは、保証外のため使用しないでください。使用して問題が発生した場合、性能は保証できません。
やむをえず使用する場合は、本章の「保証外の印字」をご参照ください。

・単票使用時、プラテンを通った用紙が再びプラテンに巻き込まれないよう、用紙の走行状態にご注意ください。

・用紙のない部分やプラテンに直接印字しないでください。印字ヘッドピンを傷つけることがあります。

・用紙をプラテンに巻き付けた状態で、長時間放置しないでください。印字された用紙が再びプリンターに巻き込まれることがあります。

保証外の印字

次の印字は、原則的に禁止です。やむをえず使用する場合は、次のようにしてください。
また、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してから、印字を行ってください。
ただし、印字性能は保証できませんのであらかじめご了承ください。

目　的	操　　作　　法
用紙の途中から 印字するには	「オンライン」＋「高速／改頁」スイッチで微小逆改行、「オンライン」＋「高複写／改行」スイッチで微小正改行を行います。また、メニュー設定で、頭出し位置を調整します。
とじ穴のある用紙に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。とじ穴が用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 ・とじ穴の周囲 6.35 ㎜以内には印字しないようにする ・とじ穴のパンチくずは取り除く
コーナーカットのある 連続用紙に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。コーナーカットが用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 ・コーナーカット端から 6.35 ㎜以内の周辺部には印字しない ・コーナーカット部のパンチくずは取り除く ・用紙のはがれを防止するために、コーナーカット部の周囲には、縦／横ミシン目を入れない
ミシン目のある単票に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 ・ミシン目の仕様は、「第5章　使用できる用紙について」を参照してください。 ・横ミシン目の上下 5.08 ㎜に印字しない ・縦ミシン目の左右 5.08 ㎜に印字しない
一度印字した用紙に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 ・用紙の連量は 55 kgとする ・連続帳票のサイズは、幅 381 ㎜、長さ 279.4 ㎜を基本とする ・単票のサイズは、A4、A3、B4とする ・用紙がカールしていないこと

帳票設計時のご注意

帳票設計時には、用紙の送り公差および印刷・裁断・温湿度・紙質による伸縮等を考慮する必要があります。

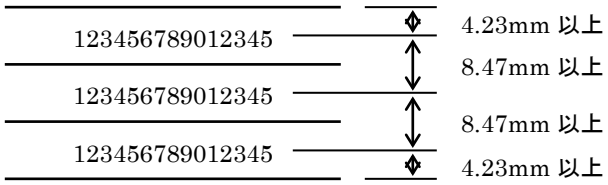
罫線の印刷、プレプリント印刷等を行う際は、以下の項目を必ず守ってください。

以下の項目を守らないと用紙セット公差（用紙セット時のバラツキ）や紙送り公差（プリンターのバラツキ）により、罫線に印字が重なったり、はみでたりする場合があります。

罫線の入れ方

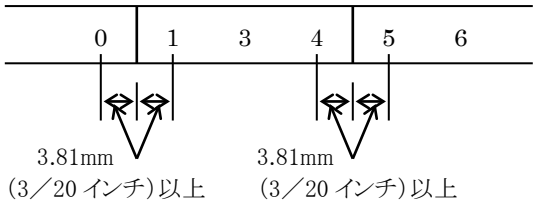
（１）横罫線の入れ方

横罫線を入れるときには、印字文字の行間隔を 8.47 ㎜（1／3 インチ）以上とし、文字は横罫線の中心としてください。



（２）縦罫線の入れ方

縦罫線を入れるときには、前後の文字中心より 3．81 ㎜（3／20 インチ）以上のスペースをとってください。



（３）罫線の色

罫線は誤読を防止するため黒以外の淡い色としてください。

（４）重ね合わせの場合

最上層と最下層では、5 部紙で約 1．5㎜ 程度の上下ズレを生じることがあります。これを考慮して下層の用紙は横罫線の印刷を避けるか、1 行おきの印字形式にするなど余裕をもったフォーマットとしてください。

用紙吸入位置の公差および、用紙送り公差(斜行)について

用紙吸入位置の公差、用紙送り公差(斜行)は使用する用紙の種類、綴じ方などの加工方法、プリンターの用紙ルート、給紙方法などにより異なります。

用紙送り精度を重視する印字を行なう場合は、余裕をもった帳票設計をしてください。

印字品質については、「付録 印字品質」を参照ください。

第 6 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンターがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットの交換 6-2
　リボンカセットの種類 6-2
　リボンカセットの交換方法 6-3
用紙づまりのとき 6-5
　連続用紙がつまったとき 6-5
　単票用紙がつまったとき 6-9
プリンターがうまく動かないとき 6-11
　用紙なしランプが点滅している 6-11
　こんなときには 6-12
保守機能 6-15
　調整値変更メニュー 6-16
　調整値変更メニュー設定項目 6-20
　テスト印字 6-23
　水平印字補正 6-24
　HEXダンプ（16進ダンプ）印字をする 6-26
清掃のしかた 6-27
プリンターを輸送するとき 6-28
アフターサービス 6-29

リボンカセットの交換

リボンカセットの種類

このプリンターで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商　品　名	商品番号	備　考
リボンカセット（黒）	0325210	黒色のリボンカセットです。
サブカセット（黒）	0325220	詰め替え用黒リボンです。

警告

インクリボンをお子さまが口に入れたりなめたりしないようにしてください。
健康を損なう原因となることがあります。

OCR で使用した場合、インクリボンの寿命が短くなります。

・リボンカセットは、純正品の使用をお奨めします。
純正品は製品とともに開発、製品の性能および品質を発揮する最適な仕様となっております。
・リボンがたるんだ状態で使用しないでください。
リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンが絡まったり、リボンの巻き取りがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

リボンカセットの交換方法

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1　印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。
（イジェクションカバーにある緑色●印まで移動します。）

2　電源を切る

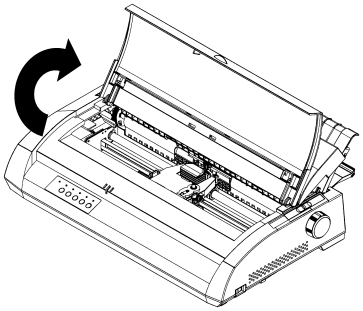
電源スイッチが（○）側に倒れた状態にします。

⚠注意

一般的禁止

リボンカセットの交換は、必ず電源を切った状態で交換してください。
印字ヘッド部が動き出し、怪我をする恐れがあります。

3　フロントカバーを開ける



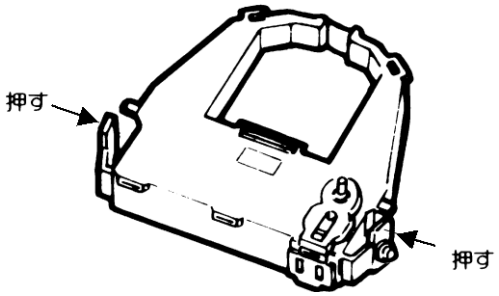
⚠注意

高温注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

4 リボンカセットを取り外す

左右のツメを押しながら、リボンカセットを外します。



5 新しいリボンカセットを取り付ける

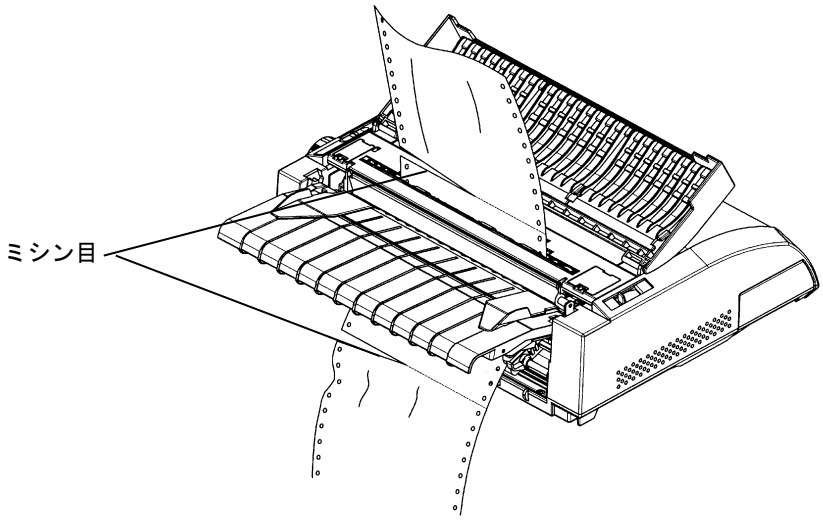
新しいリボンカセットの取り付けは、「第1章 リボンカセットの取り付け」を参照してください。

用紙づまりのとき

連続用紙がつまったとき

お願い

用紙づまりを起こした時は、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除いてください。紙づまりを起こした用紙が取り除きやすいように、はじめに連続用紙を切り離してください。



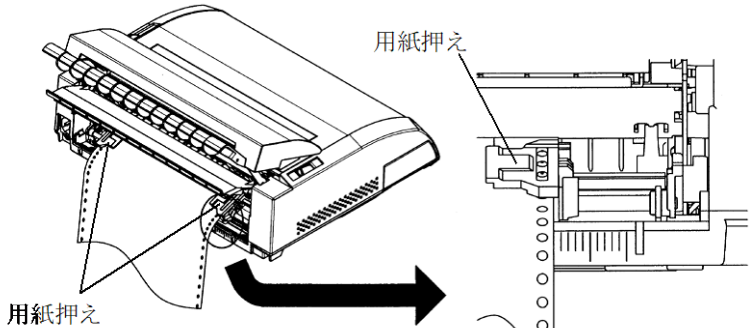
用紙の入口付近での用紙づまり

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 用紙を取り除く

用紙送りトラクタのロックレバーを解除して、用紙押さえを開き、用紙を取り除きます。



印字ヘッドとプラテンの間での紙づまり

1 微小改行で用紙を取り除く

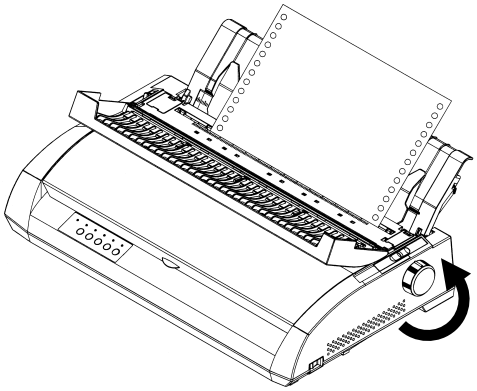
「第3章 操作パネルスイッチ」を参照して、微小改行動作を行い、用紙を取り除きます。
それでも、用紙が取り除けない場合は、2項以降の処置を行ってください。

2 電源を切る

電源スイッチが（○）側に倒れた状態にします。

3 用紙を取り除く

プラテンを逆方向に回して用紙を取り除きます。



用紙の出口付近での紙づまり

1 電源を切る

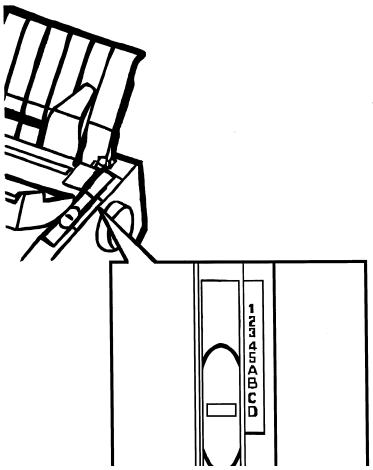
電源スイッチが（○）側に倒れた状態にします。

2 用紙押さえを開く

用紙送りトラクタのロックレバーを解除し、用紙押さえを開きます。

3 用紙厚調整レバーを解除する

用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットします。



4 用紙を取り除く

用紙が取り除きやすいように、印字ヘッドを動かし、用紙を取り除きます。

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

1～4 の手順を行っても用紙が取り除けない場合は、連続帳票用紙 4 枚を重ねたものを用紙送りトラクターにセットし、プラテンを正方向に回して用紙を取り除きます。このとき、印字ヘッドが用紙の中央部にくることを確かめてから行ってください。

単票用紙がつまったとき

お願い

用紙づまりを起こした時は、用紙を無理に引っ張らず、静かに
取り除いてください。

用紙の入口・出口付近での用紙づまり

1 オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 微小改行で用紙を取り除く

「第3章 操作パネルスイッチ」を参照して、微小改行動作を行い、用紙を取り除きます。

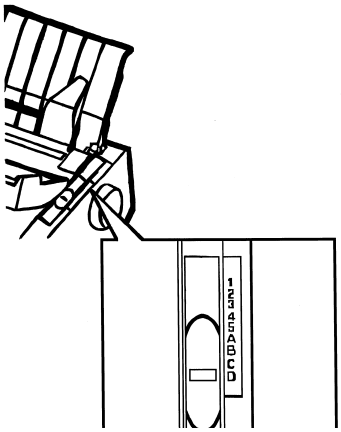
印字ヘッド付近での用紙づまり

1 電源を切る

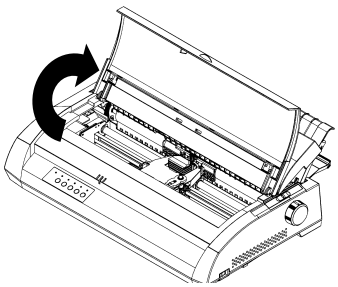
電源スイッチが（○）側に倒れた状態にします。

2 用紙厚調整レバーを解除する

用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットします。



3 フロントカバーを開ける



4 用紙を取り除く

用紙が取り除きやすいように、印字ヘッドを動かし、用紙を取り除きます。

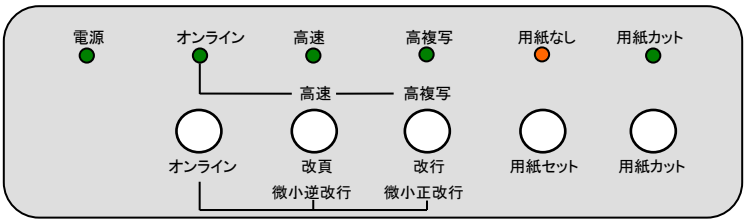
印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

プリンターがうまく動かないとき

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。処置を行っても機能が回復しない場合は、保守会社にご相談ください。

用紙なしランプが点滅している

プリンターに異常が発生すると操作パネルの用紙なしランプが点滅します。
電源をオフ、オンしてもランプが点滅する場合は、保守会社にご相談ください。



お願い

保守会社にご連絡する際には、ランプの点滅状況（どのランプが点滅しているか）をお伝えください。

こんなときには

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合は、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、それぞれの処置方法に従ってください。
処置を行っても機能が回復しない場合は、当社営業部にご相談ください。

電源ランプが点灯せず、プリンターが動作しない
プリンターの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。 （「第１章　電源コードの接続」参照）
電源投入後、一度電源ランプが点灯するが、消灯してしまう
電圧異常を検出し、電源が自動的に停止しました。 →電源を切って、5分間放置し、再度、電源を投入してください。 →再発する場合は、保守会社にご連絡ください。
用紙なしランプが点灯する
用紙がセットされていません。 →「第4章　用紙のセット」を参照し、用紙をセットしてください。
用紙なしランプが点滅する
用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっていないとき →電源を切って、もう一度電源を入れてください。
印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないとき →電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。 （「第１章　輸送用固定材の取り外し」参照）
モータやセンサ、回路の故障などを検出したとき →電源を切って、再度。電源を投入してください。 →再発する場合は、保守会社にご連絡ください。
印字ができない
「オンライン」ランプが消えているとき →「オンライン」ランプが消えているときは、印字できません。 オンライン スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
印字音はするのに印字しないとき →リボンカセットが取り付けられていません リボンカセットを取り付けてください。 （「第１章　リボンカセットの取り付け」参照） リボンカセットが取り付けてあるのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。

印字が欠ける、薄い
印字が横一列に欠けるとき →印字ヘッドのピンが折れています。 印字ヘッドを交換する必要があります。保守会社にご連絡ください。
印字の上または下の部分が欠けるとき →リボンカセットが正しく取り付けられていません。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 （「第１章　リボンカセットの取り付け」参照）
印字がムラになって欠けるとき →リボンがたるんだり、ねじれたりしています。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 （「第１章　リボンカセットの取り付け」参照）
印字が薄いとき →紙厚設定が正しく設定されていません。 使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。 （「第４章　用紙厚を調整する」参照） →リボンが古くなっています。 新しいリボンカセットと交換してください。 （「第６章　リボンカセットの交換」参照）
思いどおりに印字ができない
印字開始位置が上、または下すぎるとき →印字開始位置を調整してください。 （「第３章 メニュー設定項目」を参照し、頭出し位置を変更してください。） →ソフトウェアで上端余白の設定が必要な場合があります。 お使いのアプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
連帳用紙の印字位置がページによってズレるとき →仕様外の薄い用紙や厚い用紙を使用すると、連帳用紙の場合ページによって印字位置がズレる場合があります。 「第5章　使用できる用紙について」を参照し、仕様に合った用紙を使用してください。
印字がズレる、乱れるとき 縦罫線などを正逆両方向で印字した場合に、印字が乱れる場合があります。 →行間ズレを微調整してください。 （「第６章 水平印字補正」参照） →「第３章　メニュー設定項目」－「印字方向２」を「片方向」に設定してください。
文字化けや、意味のない文字列を印字してしまうとき →プリンタードライバーの選択機種が正しいか確かめてください。 →インターフェイスケーブルの接続状態を確かめてください。 →パソコンの画面表示、印刷プレビューが、すでにおかしい場合は、パソコンを調査してください。 →第２章に示す、プリンタープロパティメニュー内のスプール設定の内容を変更しているか確認してください。
用紙の左右端が印字できないとき →印字領域を越えているため、左右の余白量を変更してください。 →調整値変更メニューの「用紙外印字防止」の設定値を「無効」に変更してください。

うまく用紙送りができない
用紙がつまったとき →用紙を破らないように、静かに取り除いてください。 （「第6章　用紙づまりのとき」参照）
通常の給紙の場合にうまく用紙送りできないとき →用紙がきちんとセットされているかどうかを確かめてください。 （「第4章　用紙をセットする」参照） →用紙の仕様が合っていません。仕様に合った用紙を使用してください。 （「第5章　使用できる用紙について」参照） →折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。
単票が吸入されないとき →前回吸入した用紙を手で引き抜いたため、プリンターの状態が用紙有り状態となっています。［用紙セット］スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再度用紙をセットしてください。
吸入途中で用紙がつまるとき →用紙厚調整レバーの設定が正しくありません。用紙厚調整レバーの設定を確認してください。 （「第4章　用紙をセットする」参照）
オートシートフィーダー（オプション）給紙の場合にうまく用紙送りできないとき →オートシートフィーダーに用紙が正しくセットされていません。 セット枚数が多過ぎないかどうかを確かめてください。 →オートシートフィーダーがプリンターにきちんとセットされていません。 正しくセットし直してください。 （「第1章　オートシートフィーダーの取り付け」参照） →用紙の仕様が合っていません。 仕様に合った用紙を使用してください。 （「第5章　使用できる用紙について」参照） →プラテンが汚れています。 プラテンを清掃してください。 （「第6章　清掃のしかた」参照）
ユーティリティーが動作しない
ユーティリティーが起動できないエラーが表示されるとき （「第2章　ユーティリティーの設定」参照）

保守機能

ここでは、プリンターの調整値の変更について、説明します。
プリンターの調整値は、操作パネルから調整値変更メニューの設定で
変更することができます。

補正値を変更すると正しく印字できなくなることがあります。
不用意に設定の変更を行わないでください。

オートシートフィーダー接続時は、調整値変更メニューの設定変更は
できませんので、必ずオートシートフィーダーを外してから実施してください。

メニュー設定は、あらかじめ、連帳用紙（15×11　インチを推奨）、または、
単票用紙（A4を推奨）をセットしてください。

調整値変更メニュー

1 調整値変更メニュー設定モードに移行する

改　行 スイッチと 用紙セット スイッチを押しながら電源を投入すると、プリンターが調整値変更メニューで起動します。

すべてのランプが点灯 → 消灯したことを確認して、スイッチから手を離してください。

このモードで起動している間は、「オンライン」ランプが点滅します。

2 設定内容を確認する

プリンターが調整値変更メニュー設定モードで起動すると、次に示す印字例のように、現在の設定内容の一覧と先頭の設定項目を印字し、印字結果が見える位置まで用紙を送り出します。

お願い

単票用紙が排出される場合は、用紙をセットし、 用紙セット スイッチを押した後、 オンライン スイッチを押してください。

【 印字例 】

調整値変更メニュー設定開始
　水平印字位置補正（標準）
←
　水平印字位置補正（高速）
←
　水平印字位置補正（ドラフト）
←
　水平印字位置補正　高複写（標準）
←
　水平印字位置補正　高複写（高速）
←
　水平印字位置補正　高複写（ドラフト）
←

単票（手差し）改行補正	0mm
単票（ASF）改行補正	0mm
帳票改行補正	0mm
帳票最終頁補正	0mm
ASF接続時のLF	有効
単票手差しPE処理の設定	有効
ブザー機能	無効
印字モード変更契機	コマンド優先
ページ長変更契機	コマンド優先
改行スイッチ動作設定	コマンド優先
帳票改行時リボン保護制御	無効
用紙外印字防止	有効
用紙カット引き戻し制御	速度優先
双方向通信	有効

　水平印字位置補正（標準）
←

3 設定内容を変更する

設定の変更は、印字結果を確認しながら行います。

設定内容は、オンライン スイッチ、または 用紙カット スイッチを押すことで、1行づつ順番に印字されます。

オンライン スイッチを押す。

次項の「調整値設定メニュー設定モード項目」の順に、一行づつ設定項目が印字されます。

```
水平印字位置補正（標準）
→
←
```

オンライン スイッチを一度押すと、次の設定項目が印刷されます。

```
水平印字位置補正（標準）
→
←                                  ←スイッチ押下
水平印字位置補正（高速）
→
←
```

用紙カット スイッチを押す。

次項の「調整値設定メニュー設定項目」と逆の順に、一行づつ設定項目が印字されます。

```
水平印字位置補正（標準）
→
←
```

オンライン スイッチを一度押すと、次の設定項目が印刷されます。

```
水平印字位置補正（標準）
→
←                                  ←スイッチ押下
双方向通信                 有効    ←スイッチ押下
用紙カット引き戻し制御     速度優先
```

設定の変更は、改　頁スイッチと改　行スイッチで行います。
設定値は、次項の「調整値設定メニュー設定項目」に記載されている順に遷移します。
改　頁スイッチを押すと上方向、改　行スイッチを押すと下方向の設定値が印字されます。

改　頁スイッチを押すごとに、調整値設定メニュー設定項目に示す、上方向の設定値が印字されます。

単票（手差し）改行補正	0mm	
単票（手差し）改行補正	－0．5mm	←スイッチ押下
単票（手差し）改行補正	－1．0mm	←スイッチ押下

改　行スイッチを押すごとに、調整値設定メニュー設定項目に示す、下方向の設定値が印字されます。

単票（手差し）改行補正	0mm	
単票（手差し）改行補正	＋0．5mm	←スイッチ押下
単票（手差し）改行補正	＋1．0mm	←スイッチ押下

4 変更した設定値を保存して、調整値設定メニュー設定モードモードを終了する

用紙セットスイッチを押すと、変更した設定値を保存し、調整値設定メニュー設定モードを終了します。
終了時は、「調整値変更メニュー設定終了」と印字した後、改頁動作を行います。

・メモ

設定を保存せずに、調整値設定メニュー設定モードを終了する場合は、そのまま電源を切ってください。

お願い

調整値設定メニュー設定モードの途中で、用紙なしになった場合は、用紙をセットし用紙セットスイッチを押した後、オンラインスイッチを押すことで、継続することができます。

調整値変更メニュー設定項目

調整値変更メニューで設定が可能な項目は次の通りです。
アンダーラインのある設定値が初期値（工場出荷時の値）です。

設定項目名	設定値名	機　能
水平印字位置補正 （標準）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	標準印字圧モード／標準印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
水平印字位置補正 （高速）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	標準印字圧モード／高速印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
水平印字位置補正 （ドラフト）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	標準印字圧モード／ドラフト印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
水平印字位置補正 高複写（標準）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	高複写モード／標準印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
水平印字位置補正 高複写（高速）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	高複写モード／高速印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
水平印字位置補正 高複写（ドラフト）	−20〜+20 （ｽﾃｯﾌﾟ）	高複写モード／ドラフト印字速度の水平印字位置を補正します。 1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。 印字桁数は、単票モード時は 70 桁、連帳モード時は 136 桁となります。
単票（手差し）改行補正	−1.5mm −1.0mm −0.5mm 0mm +0.5mm +1.0mm +1.5mm	単票（手差し）用紙の改行誤差の補正量を設定します。 10 インチ（約 254mm）当たりの改行ずれ量を設定します。

設定項目名	設定値名	機　能
単票(ASF)改行補正	−1.5mm −1.0mm −0.5mm 0mm +0.5mm +1.0mm +1.5mm	単票(ASF)用紙の改行誤差の補正量を設定します。 10 インチ(約 254mm)当たりの改行ずれ量を設定します。
帳票改行補正	−2.0mm −1.5mm −1.0mm −0.5mm 0mm +0.5mm +1.0mm +1.5mm +2.0mm	連帳用紙の改行誤差の補正量を設定します。 用紙吸入直後から 0.5 インチ改行する毎に 1/360 インチの補正を行います。 補正量は、1/360 インチの補正を行う回数を改行量で設定します。 設定値(= 改行量 単位:mm) = 補正回数 × 25.4 / 360
帳票改行補正(最終頁)	−1.5mm −1.0mm −0.5mm 0mm +0.5mm +1.0mm +1.5mm	連帳用紙の最終頁の改行誤差の補正量を設定します。 用紙の下端がトラクターPE センサから外れてから、3 インチ(約 76mm)当たりの改行ずれ量を補正します。
ASF接続時のLF	有効 無効	ASF モード時に、用紙未吸入状態での LF 系コマンド受信により、用紙を自動給紙するかどうかを設定します。 『有効』の場合、用紙を自動給紙した後、LF コマンド動作を実行します。 『無効』の場合、用紙を給紙せずに LF 系コマンドを実行します。
単票手差しPE処理の設定	有効 無効	単票(手差し)モードの時の、用紙未給紙状態の動作を設定します。 『有効』の場合、用紙無しの状態で PE=HIGH , *ERROR=LOW となり、オフライン状態とします。 『無効』の場合、PE=LOW のままオンライン状態とします。 次の印字起動により、PE=HIGH , *ERROR=LOW となり、オフライン状態とします。
ブザー機能	有効 1 有効 2 無効	ペーパーエンド、用紙ジャム等のアラーム発生時のブザー鳴動方法を設定します。 『有効 1』の場合、2 秒鳴動 1 秒停止の連続鳴動となります。 鳴動中に何らかのスイッチを押下するとブザーが停止します。 (押下したスイッチ機能は実行しません) 『有効 2』の場合、2 秒間の単発鳴動となります。 『無効』の場合、ブザーは鳴動しません。

設定項目名	設定値名	機　能
印字モード変更契機	コマンド優先 メニュー優先	印字モードの変更を、コマンド優先とするかメニュー設定を優先とするかを設定します。 『メニュー優先』の場合、以下の印字モード変更コマンドは無効(受け捨て)となります。 a. 漢字高速指定コマンド（FS+x） b. 印字圧モード設定コマンド（ESC+|+0Eh） c. 高速印字モード設定コマンド（ESC+|+16h）
ページ長変更契機	コマンド優先 メニュー優先	ページ長の変更を、コマンド優先とするかメニュー設定を優先とするかを設定します。 『メニュー優先』の場合、ページ長設定コマンドは無効(受け捨て)となります。
改行スイッチ動作設定	コマンド優先 メニュー優先	「改行」スイッチ押下時の改行量を、メニュー設定による改行量とするか、コマンドで指定された改行量とするかを設定します。
帳票改行時リボン 保護制御	有効 無効	印字ヘッドの停止位置が、連帳用紙送り穴位置付近にある時の改行動作を回避するための制御です。 (改行動作によるリボン外れ防止) 『有効』の場合、印字ヘッドが用紙端面より n1mm～n2mm 内（n1, n2 の値は、メカ制御条件により決定されます）の停止位置で改行動作を実行する時は、印字ヘッドを左右のいずれかに退避させてから、改行動作を行います。
逆改行抑制	有効 無効	縦倍角文字やマルチパス文字を印字する際に逆改行を極力行わないように設定します。
用紙外印字防止	有効 無効	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。 『有効』の場合、印字領域（左右端面余白）を越えるデータは消去されます。 『無効』の場合、印字領域を超えたデータはそのままプラテンに印字されます。
用紙カット引き戻し制御	精度優先 速度優先	用紙カット位置からの引き戻し動作を設定します。 『速度優先』設定時は、用紙送り出しを行った分だけ引き戻しを行い、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 『精度優先』設定時は、一定量（用紙上端が TOF センサーから外れる位置まで）用紙を後退させた後、用紙送りにより元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 一定量の用紙後退により、TOF センサで用紙無しを検出した場合（用紙が切り取られた場合）は、一度用紙後退動作を行ってから用紙再吸入動作を行います。
双方向通信	有効 無効	双方向通信の動作を設定します。 『有効』の場合、双方向インタフェースとなります。 『無効』の場合、片方向インタフェースとなります。

テスト印字

テスト印字は、次の手順で行います。

1　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　改　行 スイッチを押しながら、電源を投入する

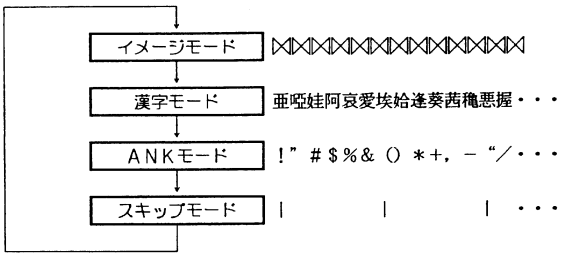
すべてのランプが点灯→消灯したことを確認して、スイッチから手を離してください。

3　印字を行う

印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。
印字を途中で終了させる場合は、オンライン スイッチを押してください。

テストモードを切り替えるとき

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したときに 用紙カット スイッチを押すと、次のようにテストモードが切り替わります。
また、高　速 スイッチを行端時に押すと、標準、高速印字の切り替えを、
高 複 写 スイッチを押すと、標準、高複写印字の切り替えを行います。



・メモ

ANK文字は、メニュー設定の設定項目によって、印字されるフォントが異なります。

4　通常の印字モードにもどる

プリンターの電源をOFF／ONすると、通常の印字モードにもどります。

水平印字補正

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを補正することができます。
補正は、標準印字圧モード時の 標準印字、高速印字、ドラフト印字と、高複写モード時の標準印字、高速印字、ドラフト印字に対して行います。
ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の3倍の速度で印字するモードです。

行間ズレは、次の手順で補正します。

お願い

行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

1 調整値変更メニュー設定モードでプリンターを起動する

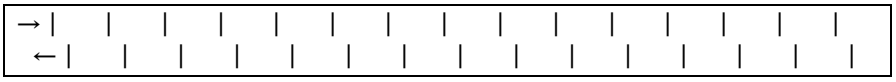
本章の「調整値変更メニュー」を参照し、プリンターを調整値変更メニュー設定モードでプリンターを起動します。

2 補正する水平印字位置を選択する

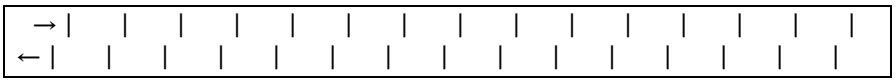
本章の「調整値変更メニュー」を参照し、補正したい水平印字位置を選択します。

3 水平印字補正を行う

印字結果が以下の場合、「改頁」スイッチを押下して補正します。



印字結果が以下の場合、「改行」スイッチを押下して補正します。



1 回のスイッチ操作で、1/900 インチ移動します。

印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。

4　変更した設定値を保存して、調整値設定メニュー設定モードモードを終了する

用紙セット スイッチを押すと、変更した設定値を保存し、調整値設定メニュー設定モードを終了します。

終了時は、「調整値変更メニュー設定終了」と印字した後、改頁動作を行います。

・メモ

設定を保存せずに、調整値設定メニュー設定モードを終了する場合は、そのまま電源を切ってください。

ＨＥＸダンプ（１６進ダンプ）印字をする

HEXダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンターへ送られてきたデータを16進数のまま印字します。
HEXダンプ印字は次の手順で行います。

1　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　HEXダンプモードでプリンターを起動する

改　行スイッチと改　頁スイッチを押しながら電源を投入すると、プリンターがHEXダンプモードで起動します。
すべてのランプが点灯 → 消灯したことを確認して、スイッチから手を離してください。
このモードは、高速印字モードで起動し、「高速」ランプが点灯します。

3　16進数で印字したいデータを印字する

上位装置から、確認したいデータを印字します。

4　HEXダンプモードを終了する

プリンターの電源をOFFにし、再度、電源を投入することで、通常の印字モードにもどります。

清掃のしかた

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

注意

高温注意

・プリンターの清掃を行う際は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
　電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
・印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。
やけどの原因となることがあります。

警告

一般的禁止

・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。
プリンターの表面が変色したり、変形したりするおそれがあります。
・プリンター内部を濡らさないでください。
電気回路がショートするおそれがあります。
・プリンターに潤滑油を補給しないでください
プリンターの故障の原因となる場合があります。
潤滑油の補給が必要な場合は、保守会社までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1　プリンターの電源を切り、電源プラグを抜く

2　トップカバーを開ける

3　プリンターを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な柔らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラーの表面を拭いてください。プリンター内の紙粉は除去してください。

接触禁止

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないでください。
　破損のおそれがあります。

4　トップカバーを閉じて電源を入れる

プリンターを輸送するとき

プリンターを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンターの電源を一旦入れた後に切る

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 用紙を取り去り、リアカバーを取り外す

3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンターケーブルをプリンターから外す

4 リボンカセットを取り外す

（第6章「リボンカセットの交換方法」参照。）

5 リアカバー3を包装する

6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8 プリンターを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと

同じ状態にして箱に入れる

⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを移動させてください。
やけどの原因となることがあります。

輸送用固定材や梱包材は必ず取り付けてください。
輸送用固定材や梱包材を取り付けずに輸送するとプリンターの部品の破損や、調整値が狂ってしまうことがあります。

アフターサービス

・ お買い求めの際に添付されている保証書は、大切に保管してください。
・ 保証書は、日本国内のみ有効です。
・ 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・ 保守部品保有期間は、製造中止後 5 年です。
・ 分解、改造などを行わないでください。
　無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・ プリンターのご使用にあたっては、純正サプライ用品の使用をお奨めします。
　非推奨品の使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。
・ 操作および機能についてのご不明な点や、修理につきましては、当社ご相談窓口に問い合わせお願いします。

●受付窓口　　富士通アイソテック株式会社
●E-mail　　fit-hansui@cs.jp.fujitsu.com

付録

プリンターの概略仕様 A-2
　印字品質 A-3
外観図 A-4
　標準外観図 A-4
　オートシートフィーダー取付け時の外観図 A-5
インターフェイス仕様 A-6
　パラレルインターフェイス A-6
　USBインターフェイス A-9
ネットワーク接続 A-10
自動検出機能 A-11
専用コマンド A-13
制限事項 A-15
消耗品の廃棄について A-17
有償交換部品のご案内 A-18

プリンターの概略仕様

<table>
<tr><th colspan="3">印字方式</th><th colspan="3">ワイヤドットインパクト</th></tr>
<tr><td rowspan="8">印字速度
[字/秒]</td><td colspan="2">文字種</td><td>通常印字</td><td>高速印字</td><td>高複写印字</td></tr>
<tr><td>漢字</td><td>24 ドット</td><td>75</td><td>150</td><td>56</td></tr>
<tr><td rowspan="3">高品位
ANK</td><td>10CPI</td><td>112.5</td><td>225</td><td>84.9</td></tr>
<tr><td>12CPI</td><td>135</td><td>270</td><td>101</td></tr>
<tr><td>15CPI</td><td>168.8</td><td>337.6</td><td>127.4</td></tr>
<tr><td rowspan="3">高速度
ANK</td><td>10CPI</td><td>360</td><td>－</td><td>254</td></tr>
<tr><td>12CPI</td><td>432</td><td>－</td><td>304</td></tr>
<tr><td>15CPI</td><td>540</td><td>－</td><td>381</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドット径</td><td colspan="3">0.2mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドットピッチ</td><td colspan="3">1／180 インチ</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷ヘッド</td><td colspan="3">24 ピン</td></tr>
<tr><td rowspan="4">最大印字数</td><td colspan="2">漢字全角
(6.7 字/インチ)</td><td colspan="3">90 （字／行）</td></tr>
<tr><td colspan="2">半角漢字</td><td colspan="3">188 （字／行）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ANK
(10 字/インチ)</td><td colspan="3">136 （字／行）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ANK
（エリート）</td><td colspan="3">163 （字／行）</td></tr>
<tr><td colspan="3">印字動作</td><td colspan="3">両方向最短距離印字</td></tr>
<tr><td rowspan="2">複写能力
（コピー能力）</td><td colspan="2">標準モード</td><td colspan="3">5枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">高複写モード</td><td colspan="3">6枚</td></tr>
<tr><td colspan="3">イメージ印字</td><td colspan="3">2448</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙送り</td><td colspan="2">用紙送り方式</td><td colspan="3">ピントラクターフィード(プッシュ)（連続帳票用紙）
フリクションフィード（単票用紙）</td></tr>
<tr><td colspan="2">改行間隔</td><td colspan="3">1／360 インチ（0.07mm）×n
（n はプログラム設定による）</td></tr>
<tr><td colspan="2">改行速度</td><td colspan="3">LF 時間：約 80ms（1／6 インチ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">手差し（単票）</td><td colspan="3">1 枚</td></tr>
<tr><td colspan="3">オートシートフィーダー
（オプション）</td><td colspan="3">ホッパー容量：160 枚（55kg 紙）、50 枚 （はがき）
スタッカ容量 ：160 枚（55kg 紙）、50 枚 （はがき）
・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティ、使用環境などにより減少します。</td></tr>
</table>

印字方式		ワイヤドットインパクト
使用環境	温度	稼動時　:　5～35℃ 非稼動時:－15～60℃
	湿度	稼動時　:30～80%RH 非稼動時:5～85%RH （ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH／日以下）
インターフェイス		セントロニクス準拠(IEEE 1284), USB2.0
電源仕様	入力電源種別	商用単相
	電源電圧	AC100V±10V
	電源周波数	50／60Hz
消費電力	最大動作時	180W 以下
	平均動作時	70W 以下
	低電力モード時	10 W 以下
外形寸法	幅	約 570mm
	奥行	約 330mm
	高さ	約 120mm
質量		約 9.7kg
稼動音（装置前面）		約 50dB
装置寿命		5 年または 500 万行のいずれか早いほう
印字ヘッド寿命		3 億打／ピン以上
リボン	種類	専用カセット(形式)　黒(リボン色)
	寿命	約 400 万字（ANK）

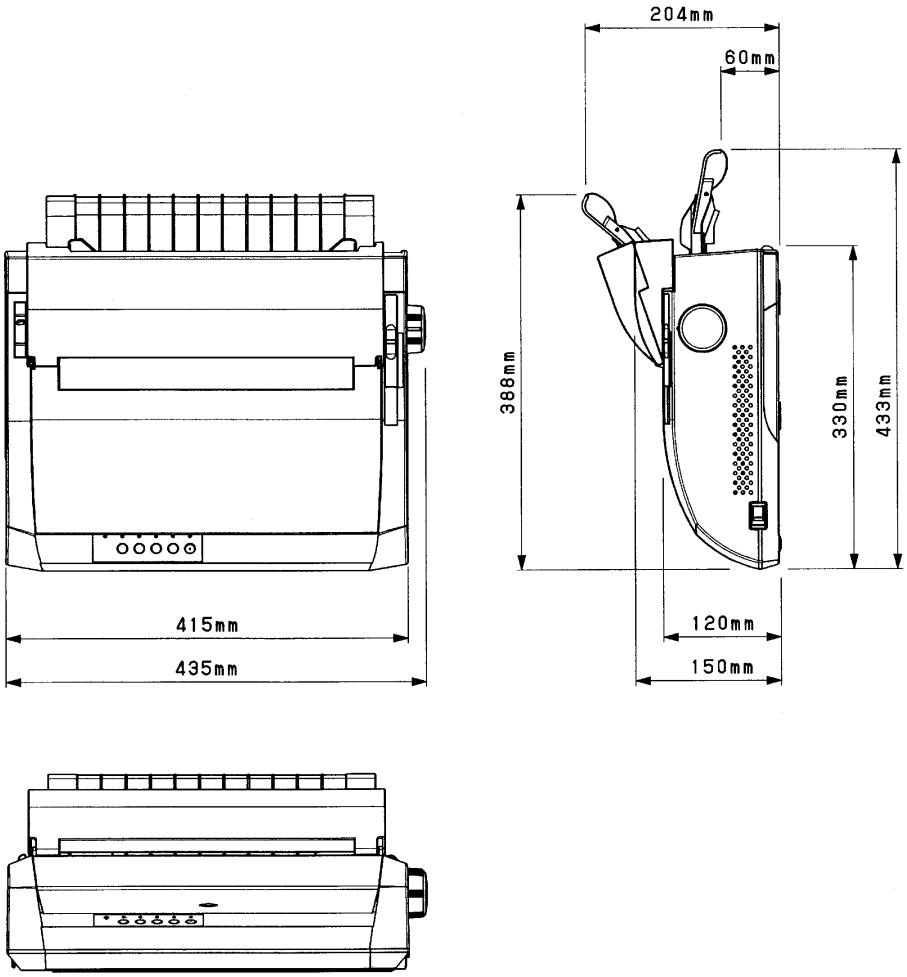
印字品質

下記範囲内で、装置ごとの個体差が生じる場合があります。

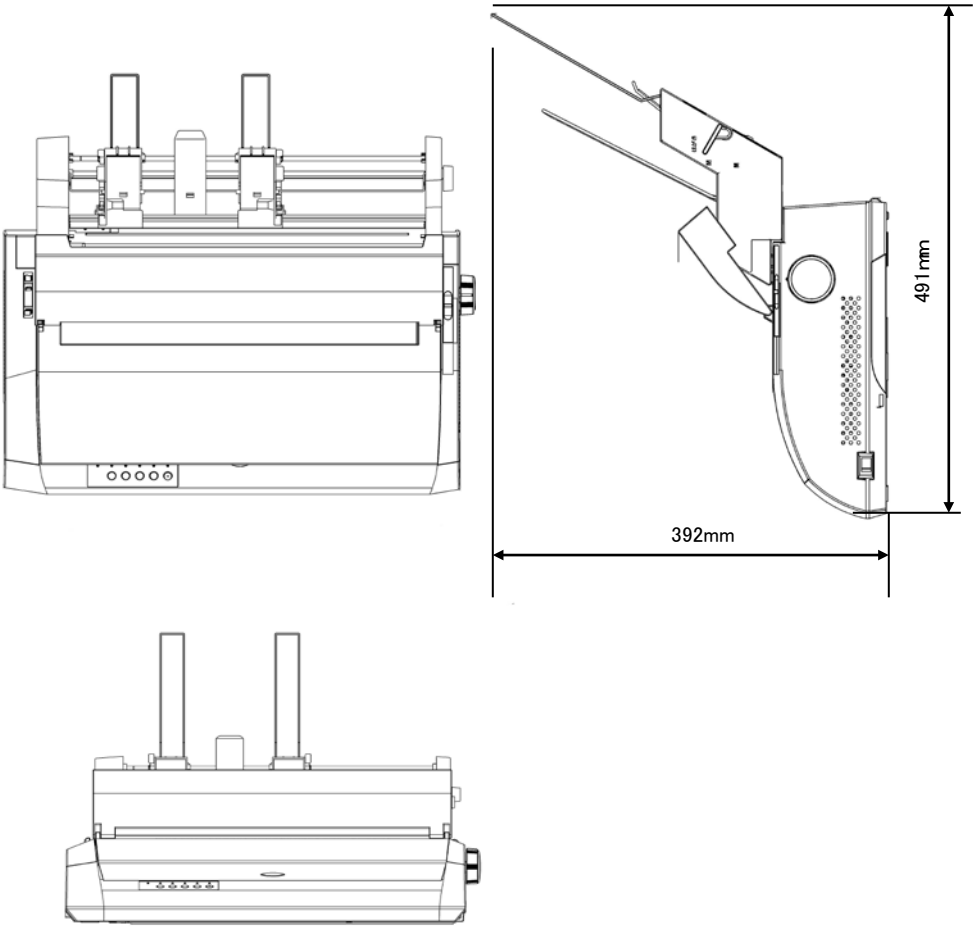
・印字ずれ(漢字、イメージ)	片方向	0.1mm 以下
(縦罫線のつなぎずれ)	両方向	0.15mm 以下
・ドットひずみ	縦横共	0.1mm 以下
・改行ピッチ	単　一	±0.3mm 以下（1 枚紙 55kg 用紙, 連帳/単票）
(1/6 インチ(4.23mm)正改行)	累　積	±0.8mm 以下(4.23mm×60 改行, 連帳 1 枚紙 55kg 紙)
・用紙吸入位置(行方向)	単　票	±2.0mm 以下　　連　帳　±1.0mm 以下
(桁方向)	単　票	±1.5mm 以下　　連　帳　±1.5mm 以下
・斜　行	0.8mm／136 桁以下（連帳 1 枚紙 55kg 用紙）	
	1.5mm／60 桁以下（単票 1 枚紙 55kg 用紙）	
・層間ずれ	2.0mm 以下	
	(両端糊付け連続帳票６枚用紙の１枚目と６枚目のズレ)	

外観図

標準外観図



オートシートフィーダー取付け時の外観図



インターフェイス仕様

パラレルインターフェイス

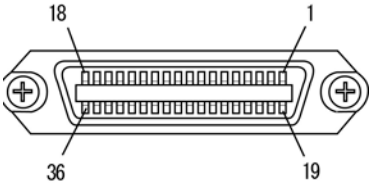
インターフェイスコネクター

プリンター側 ： レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360 相当

ケーブル側　 ： プラグ　　：アンフェノール(DDK)57-30360 相当

コネクターピン配列

インターフェイスコネクター（36 ピン）



ピン No	信　号	ピン No	信　号
1	*DSTB	19	*DSTB-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AFXT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2) （　）内の信号は、ステータス出力です。
注 3) *”は、負論理信号であることを示します。

入力信号の説明

DATA 1～8　プリンターの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*DSTB　DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*AFXT　復帰改行する信号です。
“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

*SLCT IN　DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に、“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*INIT　プリンターを初期状態にする信号です。
“L”になるとプリンターは初期状態になります。

出力信号の説明

*ACKNLG　*STROBE に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE　用紙切れを通知する信号です。

BUSY　プリンターのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは受信できません。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中。

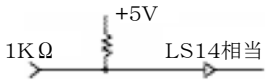
SLCT　常に“H”です。

*ERROR　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

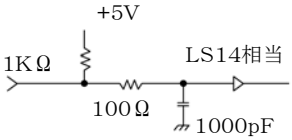
インターフェイス回路

・入力回路

ピン No.	信号
2～9 14	DATA1～8 *AFXT

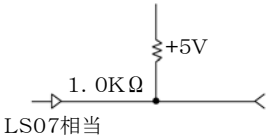


ピン No.	信号
1 31	*DSTB *INIT



・出力回路

ピン No.	信号
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC



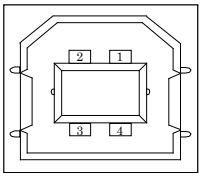
ＵＳＢインターフェイス

インターフェイスコネクター

プリンター側 ： TypeB レセプタクル（メス）

ケーブル側 ： TypeB プラグ（オス）

コネクターピン配列



No.	信号線名称	機能
1	Vbus	電源
2	D−	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

基本仕様

USBインターフェイス準拠

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード（最大12Mbps）

ネットワーク接続

ネットワーク接続用のオプションと接続することにより、本プリンターをネットワークプリンターとしてご使用いただけます。

接続方法については、LANボード添付の取扱説明書を参照ください。

ネットワーク接続用オプション

・ 内蔵型　　LANボード　　PR－LN1－H

接続時の設定

ネットワークオプションを接続する場合は、「第1章 お使いになる前に」のオプションの取り付けを参照いただき、プリンターの設定内容を確認してください。

自動検出機能

このプリンターには、次の 6 つの自動検出機能があります。

・印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、3分割印字により温度上昇を抑制します。

・ヘビーデューティ検出

高密度の印字を行うと、3分割印字により 印字ヘッド、電源を保護します。

・内部異常検出

プリンター内で、過電圧、過電流、ファイヤチェックなどの異常が発生したときは、プリンター保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約 5 分間は電源が投入できませんので、それ以降に電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンターの故障ですので、コンセントを抜いて、保守会社に相談してください。

・用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「用紙なし」ランプが点灯し、ブザーが鳴って（調整値変更メニューの設定により異なります。）オフライン状態になります。

・カバーオープン

フロントカバーが開いたことを検出した場合、スペース動作を停止します。
フロントカバーを閉じると、スイッチ操作なしで、印字を継続します。

・用紙づまり検出

連帳用紙の吸入セット時（第 4 章参照）に用紙づまりが発生した場合は、吸入動作失敗として検出し、ブザーを鳴らします。（調整値変更メニューの設定により異なります。）
単票用紙の吸入セット時（第 4 章参照）に用紙づまりが発生した場合は、用紙を自動的に排出します。
用紙づまりが発生した場合は、「第 6 章　用紙づまりのとき」を参照して、つまった用紙を取り除き、再度用紙をセットし直してください。

専用コマンド

本プリンターには、次の専用コマンドがあります。

■　コマンド仕様

ＡＳＦ特殊改行

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ａ　００　００＞

機　　能：印字バッファー内に印字データがない場合、改行量に従って１改行動作を行います。ただし、単票の給紙動作は行いません。
印字データがある場合、改行（ＬＦ）コマンドと同じ動作を行います。

ｚｚｚｚ：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０Ａ　００　００

パラメーター：なし

頭出し位置指定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｄ　０２　００　ｎ１　ｎ２＞

機　　能：用紙の頭出し位置を設定し、次に設定または解除されるまで有効です。
０ｍｍ位置以外で用紙給紙済みのときは、このコマンドを受け捨てます。
はがきモード設定コマンドで設定されているときは、頭出し位置指定を受け付けません。

入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０Ｄ　０２　００　ｎ１　ｎ２

パラメーター：２バイト
ｎ１＝００ｈ：頭出し位置を設定します
０１ｈ：頭出し位置を解除します
ｎ２：ｎ２／１８０インチで頭出し量を設定します
０≦ｎ２≦２５５

印字動作完了確認

＜１Ｂ　７Ｃ　０４　００　００＞

機　　能：印字開始コード受信に続けて受信すると、印字動作終了まで印字データを受信しません。ハードウェア設定の「受信バッファ」設定が「無効」の時に有効になります。

入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０４　００　００

パラメーター：なし

はがきモード設定

＜１Ｂ　７Ｃ　０２　０１　００　ｎ１＞

機　　能：はがきモードの設定・解除をします。
入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０２　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：解除します
０１ｈ：設定し、単票の頭出し位置を１１．５ｍｍにします

印字圧モード設定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｅ　０１　００　ｎ１＞

機　　能：印字圧を設定します。
入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０Ｅ　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：標準印字圧モードに設定します。
（高複写ランプ消灯）
０１ｈ：高印字圧モードに設定します。
（高複写ランプ点灯）

オートシートフィーダー制御

＜１Ｂ　１９　ｎ１＞

機　　能：オートシートフィーダー制御を指定します。
入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　１９　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝３０ｈ：オートシートフィーダーモードを解除します。
＝３１ｈ：前オートシートフィーダーを選択します。
＝３２ｈ：後オートシートフィーダーを選択します。
＝３４ｈ：オートシートフィーダーモードを設定します。
＝５２ｈ：単票用紙を排出します。

制限事項

■電源について

・電源は必ず AC100V(50Hz または 60Hz)を使用してください。

・電源コードの抜き差しは、電源スイッチを必ず“OFF”にして、プラグの部分を持って行ってください。電源コードは引っ張らないでください。

・電源 OFF 後再び電源 ON する場合、1 分以上間隔を開けて電源 ON してください。

■設置時

・凹凸のない水平な所に設置してください。

・机の上に置くとき、プリンターを斜めにして引きずらないでください。

・湿気の多い場所、ほこりの多い場所、潮風にさらされる場所では、使用しないでください。

・直射日光があたる場所や、ヒーターのような熱器具の近くに置かないでください。

・エアコンの前など極端に温度や湿度が変化する場所には置かないでください。

・強い振動、衝撃の伝わる場所や、強い磁界、腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

・落としたり、ぶつけたりしないでください。

・電圧、電流が急激に変動する場所は避けてください。

・プリンターのケース底面には、内部温度の上昇を防ぐため、通風孔を設けています。そのため左右の側面をふさがないでください。

■受信バッファーについて

・USBインターフェイスを選択した場合、受信バッファーは必ず有効になります。
受信バッファーを用いた非同期の印字となりますので、リカバリー印刷が正常に行えない場合があります。
リカバリー印刷を印字を行う場合は、パラレル接続で使用してください。

■使用時

・連続帳票を使用し、より用紙送り精度の高い印字を行うときは、前連帳で印字することをおすすめします。

・用紙なしで印字しないでください。また、用紙のない領域へは印字しないでださい。印字ヘッドを傷つけることがあります。

・専用リボンカセットを使用してください。ほかのリボンを使用すると、印字ヘッドピンの寿命を早める恐れがあります。

・用紙は、規格内のものを使用してください。

・リボンカセット交換時、リボンがたるんでいないことを確認してから動作させてください。

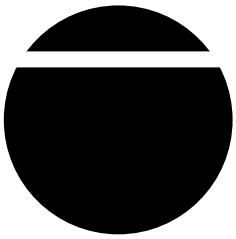
・プリンター内に、クリップや虫ピンなどの異物を落とさないようにしてください。

・動作中（電源投入時）には、プリンター内部に手や、異物を入れないでください。

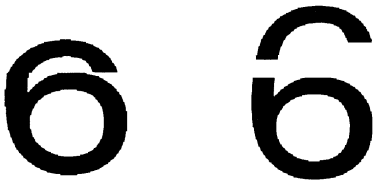
・プリンターを分解しないでください。故障の原因となる場合があります。

・印字中は、絶対にトップカバーを開けないでください。

・紙送り量のバラツキなどで、次のように一部が欠けるような印字になることがあります。ベタ印字で特に単票で目立ちますが、異常ではありません。



・縦倍角文字やイメージモードなどのように 1 つの文字が 2 行分以上にまたがると、次のようにつまったり、空いて印字されることがあります。文字内で紙送り（改行）が起こるため、用紙送り精度のわずかな誤差で発生します。
重要度の高い伝票や書類などへの数字や文字の印字は、プリンター搭載フォントを使用し 1 度で印字してください。



消耗品の廃棄について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、(財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票(産業廃棄物マニュフェスト)への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳	マニュフェスト情報			
名　称	種　類	形　状	重金属等有無	特　性
リボンカセット	廃プラスチック	固　形	無　し	―

有償交換部品のご案内

■有償部品

次に示す部品は、使用により劣化、摩耗しますので一定周期で交換する必要があります。これらの部品は有償にて交換を行います。

有償部品

部品名	交換の目安
印字ヘッド（PRINT HEAD）	約4年または約3億ドット／ピンの いずれか早いほう
電源ユニット（POWER SUPPLY） ROMボード（ROM BOARD）	約5年または約15，000時間の いずれか早いほう
メカユニット（PRINTER MECHA UNIT）	約5年または約500万改行の いずれか早いほう

・メモ

印字ヘッドが寿命の場合、印字が薄くなったり、ドット抜けが発生します。

交換時間の条件

・1日あたり8時間使用

・一ヶ月25日稼働

・A4用紙（漢字700字程度）を1日100枚プリント

■電解コンデンサーの寿命について

注意

このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。
設計寿命は、月２００時間使用で約５年です。
寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。
特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。
また、業務用など昼夜連続運転相当では５年より寿命は短くなります。

fit3250-H

オンラインマニュアル

発行日　　2026 年 3 月 第 4 版

発行責任　富士通アイソテック株式会社

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

● 無断転載を禁じます。